

平成21年度
自己点検・評価報告書

東京家政大学短期大学部

目 次

東京家政大学短期大学部の特色等	4
I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	12
【建学の精神、教育理念について】	
【教育目的、教育目標について】	
【定期的な点検等について】	
II 教育の内容	16
【教育課程について】	
【授業内容・教育方法について】	
【教育改善への努力について】	
【特記事項について】	
III 教育の実施体制	29
【教員組織について】	
【教育環境について】	
【図書館・学習資源センター等について】	
【特記事項について】	
IV 教育目標の達成度と教育の効果	42
【単位認定について】	
【授業に対する学生の満足度について】	
【退学、休学、留年等の状況について】	
【資格取得の取組みについて】	
【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】	
【特記事項について】	
V 学生支援	60
【入学に関する支援について】	
【学習支援について】	
【学生生活支援体制について】	
【進路支援について】	
【多様な学生に対する支援について】	
【特記事項について】	

VI	研究	76
	【教員の研究活動全般について】	
	【研究のための条件について】	
	【特記事項について】	
VII	社会的活動	80
	【社会的活動への取組みについて】	
	【学生の社会的活動について】	
	【国際交流・協力への取組みについて】	
	【特記事項について】	
VIII	管理運営	84
	【法人組織の管理運営体制について】	
	【教授会等の運営体制について】	
	【事務組織について】	
	【人事管理について】	
	【特記事項について】	
IX	財務	100
	【財務運営について】	
	【財務体質の健全性と教育研究費について】	
	【施設設備の管理について】	
	【特記事項について】	
X	改革・改善	107
	【自己点検・評価について】	
	【自己点検・評価の教職員の関与と活用について】	
	【相互評価や外部評価について】	
	【第三者評価（認証評価）について】	
	【特記事項について】	
	将来計画の策定	111

《東京家政大学短期大学部の特色等》

(1) 短期大学を設置する学校法人（以下「法人」という）の沿革（概要）及び短期大学の沿革（概要）。

学校法人渡辺学園は、明治14年校祖渡辺辰五郎が、本郷湯島に自宅を開放して私塾「和洋裁縫伝習所」を開設したことに始まる。明治25年には「東京裁縫女学校」と改称。数回の改称認可を経て、戦後板橋に移転し、昭和25年東京家政大学短期大学部家庭科を設置した。本学では、女性の自主自律を家政学の分野である、保育・栄養・被服の領域で追求しようとするもので、職業人として必要な技術と資格に加えて、教養の教授にも力を入れ、社会人として即戦力になる人材の育成を目指している。

学校法人渡辺学園の沿革（概要）

明治14年4月6日	校祖渡辺辰五郎本郷区湯島4丁目3番地に「和洋裁縫伝習所」を創設
明治25年4月	和洋裁縫伝習所を拡張、「東京裁縫女学校」と改称
明治44年12月27日	校長渡辺滋の寄附行為により、「財団法人私立東京裁縫女学校」設立認可
大正9年2月20日	法人名を「財団法人東京裁縫女学校」と改称認可
大正11年3月9日	専門学校令による「東京裁縫女学校専門部」を新設
大正11年12月2日	専門部を「東京女子専門学校」と改称認可
大正15年3月15日	法人名を「財団法人渡辺女学校」と改称認可
昭和5年4月1日	法人名を「財団法人渡辺学園」と改称認可
昭和19年3月31日	東京女子専門学校の組織を改め、育児科、保健科、被服科とする。
昭和21年4月1日	東京第二陸軍造兵廠板橋製造所跡（東京都板橋区板橋町6丁目3569番地）の土地、建物を借用し移転する。
昭和22年4月1日	新学制による「渡辺女子中学校」設置認可
昭和23年3月10日	新学制による「渡辺学園女子高等学校」設置認可
昭和23年5月15日	渡辺女子中学校を「渡辺学園女子中学校」と改称認可
昭和24年2月21日	東京家政大学 家政学部(生活科学科、被服科学科)（4年制）及び別科(1年生)の設置認可
昭和24年9月28日	渡辺学園女子高等学校は「東京家政大学附属女子高等学校」、渡辺学園女子中学校は「東京家政大学附属女子中学校」と改称認可
昭和25年3月14日	東京家政大学短期大学部 家庭科（2年制）の設置認可
昭和26年3月14日	法人組織を改め、「学校法人渡辺学園」と変更認可登記完了
昭和26年3月31日	東京女子専門学校廃校
昭和26年3月31日	家政学部生活科学科は児童、栄養、被服の3専攻とする。
昭和28年6月10日	東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園(2年保育)設置認可
昭和37年3月23日	家政学部生活科学科を廃し、児童学科、栄養学科、服飾美術学科とする。

昭和 61 年 4 月 1 日	埼玉県狭山市に狭山校舎を開設、東京家政大学文学部(英語英文学科・心理教育学科)を開学
平成元年 4 月 1 日	東京家政大学大学院(家政学研究科・修士課程)を開学
平成 5 年 3 月 19 日	東京家政大学大学院(家政学研究科・博士課程・3年修業・人間生活学専攻)の設置承認
平成 7 年 12 月 22 日	東京家政大学大学院(文学研究科・修士課程)設置認可
平成 8 年 12 月 19 日	東京家政大学家政学部環境情報学科設置認可
平成 14 年 7 月 30 日	東京家政大学家政学部服飾美術学科美術専攻を改組し、造形表現学科設置認可
平成 21 年 4 月 1 日	東京家政大学「文学部」を「人文学部」に、「英語英文学科」を「英語コミュニケーション学科」に改称 東京家政大学家政学部「環境情報学科」を「環境教育学科」に改称 東京家政大学家政学部児童学科児童教育専攻を改組し「児童教育学科」を設置 東京家政大学文学部心理教育学科を改組し、人文学部「心理カウンセリング学科」、「教育福祉学科」を設置

東京家政大学短期大学部の沿革（概要）

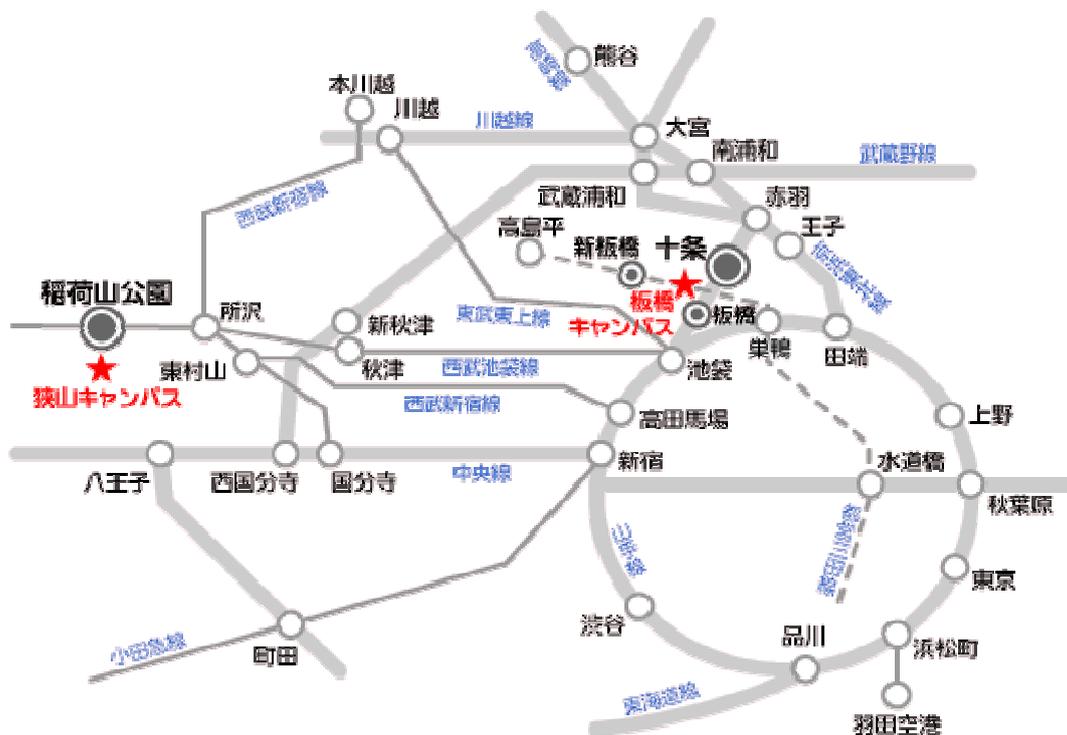
昭和25年 3月 14日	東京家政大学短期大学部 家庭科（2年制）の設置認可
昭和27年 8月 29日	東京家政大学短期大学部家庭科は栄養士養成施設として厚生省の指定を受ける。
昭和28年 3月 31日	東京家政大学短期大学部の「家庭科」を「家政科」と改称 別科（家政専修1年制）の設置認可
昭和29年 4月 1日	東京家政大学短期大学部家政科は中学校教諭（家庭・保健）の養成課程の認定を受ける。
昭和37年 3月 23日	東京家政大学短期大学部家政科の学科組織を変更し、保育科、栄養科、服飾美術科とする。
昭和38年 2月 23日	東京家政大学短期大学部保育科は保母養成施設の指定を受ける。
昭和41年 3月 5日	東京家政大学短期大学部の栄養科は「理科」、服飾美術科は「美術」について中学校教員養成課程の認定を受ける。
昭和56年 3月 31日	東京家政大学短期大学部別科（家政専修）を廃止
平成 2年 3月 26日	東京家政大学短期大学部の各学科に認定されていた教員養成課程の全部について、教育職員免許法改正に基づく新養成課程としての認定を受ける。
平成 6年 12月 21日	東京家政大学短期大学部国際コミュニケーション科設置認可
平成18年 3月 20日	東京家政大学短期大学部服飾美術科は中学校教諭（美術）の養成課程の認定を取上げる。
平成20年 4月 1日	東京家政大学短期大学部国際コミュニケーション科学生募集停止

(2)短期大学の所在地、位置（市・区・町・村の全体図）、周囲の状況（産業、人口等）等。

1. 東京家政大学短期大学部の所在地

東京都板橋区加賀1丁目18番1号

2. 位置



3. 周囲の状況

東京家政大学短期大学部は、東京都の北西部にある板橋区に位置している。板橋区は南東から北西に長い地形で、海拔 30 メートル前後の武蔵野台地と荒川の沖積低地で形成されている。本学のある板橋区加賀地区は住民ボランティアがまちづくりに熱心で、石神井川の桜など、景観に配慮したまちづくりが行われている。本学キャンパスは、都内にありながら緑に囲まれ、また、交通の便にも恵まれ、J R・私鉄等、合計 3 駅から徒歩圏内にある。周辺には、教育施設が多く、充実した文教地域であるといえる。板橋区の人口は平成 20 年 6 月 1 日現在、533,207 人となっている。

(3) 法人理事長、学長の氏名、連絡先及びその略歴、AL Oの氏名、連絡先及びその略歴。なお、連絡先としては、TEL、FAX、E-Mail等を記載して下さい。

学校法人渡辺学園理事長

氏 名 清水 司 (しみず つかさ)
住 所 東京都板橋区加賀 1-18-1
連 絡 先 TEL : 03-3961-0079 (渡辺学園 理事長室)
FAX : 03-3961-1929

〔略歴〕

生年月日 大正 14 年 1 月 22 日 (84 歳)
学 歴 昭和 23 年 3 月 早稲田大学 理工学部電気通信科卒業
昭和 28 年 3 月 早稲田大学大学院文部省特別研究生 (5 年修了)
昭和 35 年 3 月 早稲田大学 工学博士
職 歴 昭和 28 年 4 月 早稲田大学 助手
昭和 40 年 4 月 早稲田大学 教授
昭和 45 年 10 月 早稲田大学 常任理事 (昭和 53 年 11 月まで)
昭和 53 年 11 月 早稲田大学 総長(理事長・学長) (昭和 57 年 11 月まで)
昭和 59 年 4 月 日本私学振興財団 理事長 (平成 4 年 6 月まで)
平成 5 年 4 月 東京家政大学・東京家政大学短期大学部 学長
(平成 14 年 3 月まで)
平成 5 年 4 月 学校法人 渡辺学園 理事 (現在に至る)
平成 11 年 6 月 学校法人 渡辺学園 理事長 (現在に至る)
社会における活動等
平成 元年 4 月 中央教育審議会 会長 (平成 3 年 4 月まで)
平成 8 年 10 月 東京都教育委員会 委員長 (平成 16 年 10 月まで)
賞 罰 平成 9 年 11 月 文化功労者 (電波工学・教育)
平成 12 年 11 月 勲一等瑞宝章 (教育研究功労)

学長

氏 名 木元 幸一 (きもと こういち)
連絡先 TEL : 03-3961-0038 (東京家政大学短期大学部 学長室)
FAX : 03-3961-1929
E-Mail : gakucho@tokyo-kasei. ac. jp

〔略歴〕

生年月日 昭和22年 8月 8日 (61歳)
学 歴 昭和45年 3月 東京教育大学 農学部農芸化学科卒業
昭和51年 3月 東京教育大学大学院農学研究科修士課程農芸化学専攻修了
昭和61年10月 筑波大学 農学博士
職 歴 昭和46年 4月 東京家政大学 助手
昭和51年 4月 東京家政大学 講師
昭和58年 4月 東京家政大学 助教授
平成 5年 8月 東京家政大学 教授
平成11年 6月 学校法人 渡辺学園 理事 (現在に至る)
平成17年 4月 東京家政大学 家政学部長 (平成20年3月31日まで)
平成20年 4月 東京家政大学・東京家政大学短期大学部 学長 (現在に至る)

ALO

氏 名 小林 泰子 (こばやし やすこ)
連絡先 TEL : 03-3961-5603 (東京家政大学短期大学部 洗淨・染色加工研究室)
FAX : 03-3961-5603
E-Mail : ykobayas@tokyo-kasei. ac. jp

〔略歴〕

生年月日 昭和22年6月16日生 (61歳)
学 歴 昭和45年3月 お茶の水女子大学 家政学部被服学科卒業
昭和49年3月 お茶の水女子大学大学院家政学研究科被服学専攻修士課程修了
職 歴 昭和49年4月 お茶の水女子大学 助手 (昭和51年3月まで)
平成 5年 4月 東京家政大学短期大学部 服飾美術科 助教授
平成14年4月 東京家政大学短期大学部 服飾美術科 教授 (現在に至る)
平成18年4月 東京家政大学短期大学部 服飾美術科長 (~平成21年3月)

(4) 平成15年度から21年度までの学科・専攻ごとの入学定員、入学者数、入学定員充足率(%)、収容定員、在籍者数、収容定員充足率(%)の表を作成。
 廃止、募集停止等の学科等を含む。在籍者数は毎年度5月1日時点とする。

平成15年度～21年度の設置学科、入学定員 (平成21年度5月1日現在)

学科等の名称		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	備考
保育科	入学定員	200	200	200	200	200	200	200	
	入学者数	252	247	261	217	216	216	205	
	入学定員充足率(%)	126%	123%	130%	108%	108%	108%	102%	
	収容定員	400	400	400	400	400	400	400	
	在籍者数	489	501	511	481	432	430	423	
	収容定員充足率(%)	122%	125%	127%	120%	108%	107%	106%	
栄養科	入学定員	180	180	180	180	180	180	180	
	入学者数	188	189	187	188	189	199	196	
	入学定員充足率(%)	104%	105%	103%	104%	105%	110%	108%	
	収容定員	360	360	360	360	360	360	360	
	在籍者数	367	373	377	373	371	386	392	
	収容定員充足率(%)	101%	103%	104%	103%	103%	107%	110%	
服飾美術科	入学定員	135	135	135	100	70	70	70	
	入学者数	154	147	104	90	87	70	83	
	入学定員充足率(%)	114%	108%	77%	90%	124%	100%	118%	
	収容定員	270	270	270	235	170	140	140	
	在籍者数	324	296	249	197	176	157	151	
	収容定員充足率(%)	120%	109%	92%	83%	103%	112%	107%	

(5)平成18年度～20年度に入学した学生（この事項においては通信教育学科の学生を除く）の出身地別人数及び割合（10程度の区分）を下表を例に毎年度5月1日時点で作成して下さい。なお、短期大学の実態に沿って地域を区分して下さい。

出身地別学生数 (平成21年度5月1日現在)

地域	18年度		19年度		20年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
北海道・東北	26	4.5	28	4.9	22	4.5
茨城県	26	4.5	32	5.7	23	4.7
栃木県	19	3.3	19	3.4	17	3.5
群馬県	15	2.6	8	1.4	6	1.2
埼玉県	165	28.6	180	31.8	145	29.9
千葉県	60	10.4	64	11.3	67	13.8
東京都	169	29.3	146	25.8	124	25.6
神奈川県	27	4.7	13	2.3	17	3.5
甲信越・北陸	37	6.4	42	7.4	34	7.0
東海	17	2.9	13	2.3	16	3.3
その他	16	2.8	21	3.7	14	2.9
計	577	100.0	566	100.0	485	99.9

(6)法人が設置する他の教育機関の名称、所在地、入学定員、収容定員及び在籍者数をそれぞれ下表を例に平成21年5月1日時点で作成して下さい。

法人が設置する教育機関の現状 (平成21年5月1日現在)

教育機関名	所在地	入学定員	収容定員	在籍者数
東京家政大学	板橋区加賀1丁目18番1号	1,052	3,978	4,790
東京家政大学大学院	同 上	35	72	50
東京家政大学附属女子高等学校	同 上	360	1,080	1,058
東京家政大学附属女子中学校	同 上	150	450	524
東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園	同 上	3・4・5歳 各 30	90	85

(7) その他

評価員が誤解しないように事前に知ってもらいたい事項や事情があれば、記述して下さい。

1. 東京家政大学短期大学部は板橋キャンパスにあり、附属中学校・高等学校校舎、幼稚園の園舎を除き、短期大学部の専用部分以外は東京家政大学と教育施設を共用している。
2. 平成20年4月1日を以って学生募集を停止(短期大学部の沿革参照)した国際コミュニケーション科については本報告書に記載しておりません。

《Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》

【建学の精神、教育理念について】

(1) 建学の精神・教育理念を記述し、その意味するところ及び建学の精神・教育理念が生まれた事情や背景をできるだけ簡潔に記述して下さい。

東京家政大学短期大学部は、学校法人渡辺学園が設置している。学校法人渡辺学園は、1881年（明治14年）校祖渡辺辰五郎により「和洋裁縫伝習所」が本郷湯島に開設されたことにはじまる。明治25年には東京裁縫女学校と改称し、単に裁縫を教えるのではなく、裁縫を教授する女性を育てることを主眼とした。明治41年には、国語、算術、家事科、英語等の教科を加えた14科目を教え、高等師範科を設置し、実力ある教員養成校として全国にその名を知らしめた。渡辺辰五郎の教員養成にける情熱と志は極めて高く、丁寧で行き届いた指導は、教え子にしっかりと伝授された。このことは、女性が知識と技芸・技術とを身につけることにより、社会で活躍できることを、先鞭をつけて示しており、今の時代からみても何ら色あせることのない校祖の理念である。

本学園は、1949年に、大学を設置し、翌1950年には短期大学部を設置した後も、その時の教育の理念として「自主的精神に満ちた婦人の育成」、「国家及び社会の形成並びに運営に自律的に貢献できる婦人の育成」という言葉が明快に述べられており、校祖渡辺辰五郎以来の自主自律を建学の精神・理念として今日に至っている。

さらに、東京家政大学短期大学部の初代学長青木誠四郎は、東京大学から文部省に移り、我が国の戦後教育の礎を築いた人であった。特に、戦前の修身ではなく、自由で民主的な国づくりの中での道徳の確立を目指した学者であった。本学においては、「愛情」「勤勉」「聡明」を若い女性の生活信条・本学の学風として説いた。学生講話の中では、『自己愛に留まらず他者への「愛」を持つこと、そのためには身体を動かすことや勉強をすることが必要で「勤勉」な努力なくしては報いることはできない。また身体を動かし、学ぶためには考えて行わなければならない。「聡明」な考える知恵があつて、「愛情」と「勤勉」が生きてくる。『「愛情・勤勉・聡明」が一体となった生活を心がけることによって、幸福で豊かな社会と自己の満足を実現することが出来る』と説いている。この青木誠四郎の言葉は今なお広く伝えられ、本学の学風・生活信条として学生・教職員の中に生きている。

(2) 現在は建学の精神・教育理念をどのような形や方法で学生や教職員に知らせているかを記述して下さい。

建学の精神・理念等の反映

本学の建学の精神・理念である「自主自律」は教育理念として、また、生活信条の「愛情」「勤勉」「聡明」は学風として、入学式の式辞を始めとし、オリエンテーション、フレッシュマンセミナー等の各行事で、入学生に伝えている。また、新入生全員に配付する学生便覧でも、建学の精神と生活信条について記述しており、本学の教育理念・思想・精神として伝えている。

教職員については年始めの教授会・学園広報において、建学の精神や教育方針を説明している。特に新任教員に対しては辞令交付の折などを通して理事長より伝えている。建学の精神は常に教職員の念頭におかれ、短期大学の教育について共通理解が図られている。

平成20年10月からは、建学の精神・理念及び生活信条について、理事長を座長とした学園レベルでの検討会議を立ち上げた。目的は、本学は創立より127年を経過し、短期大学部設置より60年に達するのを機に、資料の整理を行い、全学園総意による位置づけを明確にし、今後もこの伝統を生かすことにある。同時に、本学学生の精神的支柱とし、学力の向上と人格の涵養に対する指針となるよう、学生への周知徹底を図る方法について検討している。

【教育目的、教育目標について】

(1) 多くの短期大学が複数の学科等を設置しています。その場合、それぞれの学科等では建学の精神や教育理念から導き出された、より具体的な教育目的や教育目標を掲げているものと思います（例えば、設置認可の際に「設置の趣旨」等で示されたもの等）。ここでは全学的に示された教育目的や教育目標ならびにそれぞれの学科等が設定している具体的な教育目的や教育目標を記述して下さい。

本学では文化と教養及び家政学に関する実践的専門的な学術技芸を教授し、その応用能力を高め、職業能力を啓培するとともに、人格の完成に努め、真に平和を愛し、民主的文化国家及び社会の形成者を育成することを目的としている。

保育科では「愛情・勤勉・聡明」という本学の教育のスローガンが、保育科の教育理念と完全に一致している。子どもを育てる愛情、子どもとかかわり続ける勤勉さ、子どもの人間性を高めるための自らの聡明さを育むことの必要性を授業を通して学生たちに伝え、社会に貢献できる人材の育成を目的としている。また、全教員が教授内容を常に見直し、時代にあった教育を行っている。

栄養科では本学の建学の精神である、専門的な知識、技能の修得と、応用力を高め、栄養士、教員等の職業能力を啓培するため、充実したカリキュラム内容により教育指導にあたっている。教育目的や教育目標として、次のように掲げている。専門教育科目を基礎科目、社会生活と健康、人体の構造と機能、食品と衛生、栄養と健康、栄養の指導、給食の運営、フードスペシャリストおよび教科関連科目に区分し、以上の科目に関する基礎知識を教授し、栄養士、教員等の専門職としての必要な資格の取得と、豊かな人間性を養い、幅広い視野から、自主的、総合的な判断が出来るような人間教育を目指している。

服飾美術科では、本学の建学の根幹と伝統の流れをくみ、伝統的な服作りの技能教育を進めながら、総合的なファッション創造教育へ転換し、充実したカリキュラム内容により、教育指導にあたっている。教育目的や教育目標として、次の文言を学則に掲げている。素材、企画、デザイン、造形、ビジネスなどの服飾に関する基礎知識を教授し、個性豊かな創造力を引き出し、総合的な視野からファッションをとらえる能力を養成し、衣服関連分野で活躍できる人材の育成を目的としている。

(2) それぞれの学科等の教育目的や教育目標を、現在はどのような方法で学生や教職員に周知し、またどのような方法で学外に公表しているかを記述して下さい。

教育目的・教育目標は、学外には受験者用の「大学で何を学び卒業後どう生きるか」の冊子やホームページに示しており、学生には入学後のオリエンテーション、学生便覧で周知している。教職員に対しては、教授会及び各科の科内会議・渡辺学園広報等で周知している。また、大学広報等でも周知している。

【定期的な点検等について】

(1) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検が、定期的に行われている場合はその概要を記述して下さい。また点検を行う組織、手続き等についても記述して下さい。

建学の精神や教育理念の解釈の抜本的な見直しに関しては、平成20年10月に「建学の精神・理念及び生活信条に関する検討委員会」を設置した。理事長を座長とした、理事、学長、教員、職員及び卒業生から構成されている。現在も進行中で、この秋までに結論を出す。内容は、その功績を再評価することと散逸している業績を揃え、内外に公開し、本学建学の精神や教育目標を本学の歴史と共に明らかにし、広めることである。この委員会発足前は、各学科の会議で、毎年次年度の科目担当者配当を行う折、カリキュラムの問題点を検討しているが、その際、建学の精神や教育理念の解釈について定期的な議論を重ねて来ている。さらに、議論の中ででてきた点検・評価された事項は、科長会、拡大協議会で審議されると同時に、全学で組織されている各種委員会（教務委員会、学生委員会、就職委員会等）において審議され、最終的に、教授会での承認を経て、理事会へ報告される。

(2) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検及びそれらを学生や教職員に周知する施策等の実施について、理事会または短期大学教授会がどのように関与しているかを記述して下さい。

前述の「建学の精神・理念及び生活信条に関する検討委員会」が中心となり、教育理念・教育目標の見直し・点検を進めるが、逐次検討内容を教授会・理事会へ報告し、全学的な検討が進められることとなる。最終的な承認機関は教授会であり、決定機関が理事会となる。

まとめられた「建学の精神・理念及び生活信条」は、本学の長い歴史の中で培われた叡知として、学生の、また、本学の歩むべき指標となる。

【特記事項について】

(1) この《I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標について努力していることがあれば記述して下さい。また短期大学で独自の使い方や別の語句を使っている場合はその旨記述して下さい。

特にない。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特にない。

〈添付資料〉 ＊建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標等についての印刷物

1. 大学で何を学びどう生きるか 2010
2. 平成21年度学生便覧
3. 女子教育の先駆者 校祖渡辺辰五郎と今日の教育
4. 「若い女性」初代学長青木誠四郎著（抜粋）
5. 渡辺学園広報
6. 本学の建学の精神・理念及び生活信条に関する検討委員会の設置について

《Ⅱ 教育の内容》

【教育課程について】

(1) 学科等の現在の教育課程を、下の表を例に作成して下さい。なお学科等に複数の履修コースを設定し、学生に別の教育課程表として提示している場合はコースごとに記載して下さい。

平成21年度に学科改組等を行った場合は、平成20年度の教育課程表を別途作成し、巻末に綴じて下さい。

保育科 教育課程表

(平成21年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数 (クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
共通科目	ジェンダー論	○				2				○	189 (1)	
	家政学原論	○				2				○	25 (1)	
	哲学	○				2				○	6 (1)	
	文学と人間	○				2				○	80 (2)	
	日本国憲法	○				2				○	213 (2)	
	現代社会の心理学	○				2				○	154 (2)	
	日本の歴史	○				2				○	34 (1)	
	音楽の世界	○				2				○	173 (1)	
	美の世界	○				2				○	2 (1)	
	家族関係学	○				2				○	124 (1)	
	生活経営学	○				2		○			93 (1)	
	生活者経済学	○				2				○	10 (1)	
	生命科学	○				2				○	7 (1)	
	自主講座	○				2		○			0 (1)	
	英語コミュニケーションⅠ		○			1				○	215 (4)	
	英語コミュニケーションⅡ		○			1				○	215 (4)	
	パソコン基礎		○			2				○	216 (4)	
	パソコン応用		○			2				○	71 (4)	
	からだとスポーツ			○		1		○		○	215 (5)	
	体育と健康	○				1		○			217 (4)	
専門教育科目	発達心理学	○			2					○	218 (2)	
	児童福祉	○			2					○	218 (2)	
	小児保健Ⅰ	○			4					○	218 (2)	
	保育原理	○			4		○				217 (2)	
	児童文化	○			2		○				218 (2)	
	児童文化実践演習A		○		2		○				— (—)	隔年開講
	児童文化実践演習B		○		2		○				12 (1)	

	器楽表現実践演習A		○		2		○		17 (1)	
	器楽表現実践演習 B		○		2		- - -		17 (1)	隔年開講
	音楽表現実践演習A		○		2			○	22 (1)	
	音楽表現実践演習B		○		2		○		20 (1)	
	造形表現実践演習A		○		2			○	19 (1)	
	造形表現実践演習B		○		2		○		20 (1)	
	演劇表現実践演習A		○		2			○	18 (1)	
	演劇表現実践演習B		○		2		- - -		- (-)	前年度中に履修希望の調査実施:希望者なし
	幼児体育実践演習		○		2		- - -		18 (1)	隔年開講
	乳児保育実践演習		○		2			○	18 (1)	
	育児支援実践演習		○		2			○	18 (1)	
	パソコン実践演習		○		2			○	13 (1)	
	国語表現	○			4			○	94 (2)	
	児童文化演習		○		2		○		194 (4)	
	児童演劇演習		○		2			○	33 (1)	
	音楽Ⅰ(器楽)		○		4		○	○	218 (24)	
	音楽Ⅱ(器楽)		○		2		○	○	187 (24)	
	造形		○		2			○	217 (4)	
専 門 教 育 科 目	幼児音楽	○			2			○	116 (2)	
	体育(リズム)		○		2			○	220 (4)	
	乳児保育	○			2			○	214 (2)	
	保育方法論	○			2		○	○	23 (2)	
	自然研究	○			2		○		30 (1)	
	乳児保育演習		○		2			○	212 (4)	
	乳幼児心理学演習		○		2			○	195 (4)	
	家族社会学	○			2			○	- (-)	隔年開講
	保育内容総論		○		2			○	212 (4)	
	保育実践演習		○		2			○	12 (1)	
	小児保健Ⅱ	○			2			○	145 (2)	
	小児栄養学演習		○		2			○	212 (4)	
	障害児保育演習		○		2		○		213 (4)	
	精神保健	○			2			○	213 (2)	
	臨床心理学演習		○		2			○	201 (4)	
	育児相談演習		○		2			○	31 (1)	
	家族援助論	○			2			○	219 (2)	
	障害児保育	○			2		○		- (-)	隔年開講
	社会福祉	○			2		○		218 (2)	
	養護原理Ⅰ	○			2			○	218 (2)	
	養護原理Ⅱ	○			2			○	165 (2)	
	社会福祉援助技術演習		○		2			○	212 (4)	
	養護内容演習		○		2			○	212 (4)	
	児童福祉演習		○		2			○	141 (4)	
	小児保健実習			○	1		○		217 (4)	
	保育実習指導			○	1		○	○	217 (4)	

教職に関する科目	保育実習Ⅰ			○		4		○		○	429 (2)	
	保育実習Ⅱ			○		2		○			202 (1)	
	保育実習Ⅲ			○		2				○	10 (1)	
	教職基礎論	○				2		○			216 (2)	
	教育概論Ⅰ	○				2				○	217 (2)	
	教育概論Ⅱ	○				2		-	-	-	- (-)	前年度中に履修希望の調査実施:希望者な
	学校教育心理学	○				2		-	-	-	- (-)	H21 入学生:H22 開講(H20 入学生:教育心理論)
	教育技術論	○				2				○	216 (2)	
	保育課程論	○				2				○	217 (2)	
	保育内容の研究(ことば)		○			2				○	212 (4)	
	保育内容の研究(人間関係)		○			2		○			217 (4)	
	保育内容の研究(環境)		○			2		○			212 (4)	
	保育内容の研究(健康)		○			2				○	212 (4)	
	保育内容の研究(表現Ⅰ)		○			2		○			212 (4)	
	保育内容の研究(表現Ⅱ)		○			2		○			217 (4)	
	保育内容の研究(表現Ⅲ)		○			2				○	173 (4)	
	幼児理解と援助	○				2		○			212 (2)	
	総合演習		○			2		○		○	212 (13)	
	教育実習(幼)の研究			○		1		○			216 (2)	
	教育実習(幼)			○		4		○			428 (2)	
教育心理論	○				2				○	212 (2)	H20 入学生:H20 開講(H21 入学生:学校教育心理学)	

栄養科 教育課程表

(平成 21 年 5 月 1 日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
共通科目	ジェンダー論	○				2				○	166 (1)	
	家政学原論	○				2				○	144 (1)	
	哲学	○				2				○	23 (1)	
	文学と人間	○				2				○	58 (1)	
	日本国憲法	○				2				○	95 (1)	
	現代社会の心理学	○				2				○	111 (2)	
	日本の歴史	○				2				○	8 (1)	
	家族関係学	○				2				○	36 (1)	
	生活経営学	○				2				○	18 (1)	
	生活者経済学	○				2				○	30 (1)	
	生命科学	○				2				○	114 (1)	
	化学	○				2				○	38 (1)	
	自主講座	○				2		○			0 (1)	

	英語コミュニケーションⅠ		○			1			○	116 (4)		
	英語コミュニケーションⅡ		○			1			○	106 (4)		
	パソコン基礎		○			2			○	195 (4)		
	パソコン応用		○			2		○	○	120 (4)		
	からだとスポーツ			○		1			○	○	120 (3)	
	体育と健康	○				1			○	119 (4)		
専 門 教 育 科 目	生物有機化学	○				2			○	218 (2)		
	食生活論	○				1			○	199 (2)		
	病理学	○				1			○	183 (2)		
	健康管理学概論	○				1			○	184 (1)		
	公衆衛生学Ⅰ	○				2			○	183 (2)		
	公衆衛生学Ⅱ	○				2			○	184 (2)		
	解剖生理学Ⅰ	○				2			○	201 (2)		
	解剖生理学Ⅱ	○				2			○	183 (2)		
	解剖生理学実験			○		1			○		182 (4)	
	生化学概論	○				2			○	○	213 (2)	
	生体分子代謝学	○				2			○	○	205 (2)	
	生化学実験			○		1			○	○	201 (4)	
	食品学総論	○				2			○	○	203 (2)	
	食品学各論	○				2			○	○	184 (2)	
	食品化学実験Ⅰ			○		1			○	○	205 (4)	
	食品化学実験Ⅱ			○		2			○	○	134 (4)	
	食品衛生学	○				2			○		184 (2)	
	食品衛生学実験			○		1			○	○	184 (4)	
	食品加工学(実習を含む)	○		○		2			○		135 (4)	
	基礎栄養学	○				2			○		201 (2)	
	栄養学各論	○				2			○	○	212 (2)	
	栄養学各論実習			○		1			○	○	183 (4)	
	臨床栄養学総論	○				2			○		183 (2)	
	臨床栄養学各論	○				2			○		183 (2)	
	臨床栄養学実習			○		1			○	○	184 (4)	
	栄養指導論	○				2			○	○	202 (2)	
	栄養指導実習			○		1			○	○	208 (4)	
	栄養カウンセリング論	○				2			○	○	183 (2)	
	栄養カウンセリング実習			○		1			○	○	183 (4)	
	公衆栄養学	○				2			○	○	184 (2)	
	給食管理学	○				2			○	○	201 (2)	
	給食管理実習			○		2			○	○	201 (4)	
	栄養士実習			○		1			○	○	- (-)	H20年度 設置科目 (H21開講)
	調理学	○				2			○	○	200 (2)	
	調理科学実験			○		1			○	○	201 (4)	
	基礎調理実習			○		1			○	○	201 (4)	
応用調理実習			○		1			○	○	184 (4)		
フードスペシャリスト論	○				2			○	○	134 (2)		
フードコーディネーター論	○				2			○	○	134 (2)		
食品流通経済論	○				2			○	○	136 (2)		

教職に関する科目	食品機能論	○			2			○	134 (2)	
	住居学概論	○			2			○	18 (1)	
	保育学概論	○			2			○	20 (1)	
	被服学概論	○			2			○	28 (1)	
	被服実習			○	1			○	31 (1)	
	学校保健	○			2			○	4 (1)	
	学校安全・救急看護法	○			2			○	4 (1)	
	栄養教諭論	○			2			○	68 (1)	
	教職基礎論	○			2			○	75 (1)	
	教育概論Ⅰ	○			2			○	30 (1)	
	教育概論Ⅱ	○			2			○	29 (1)	
	学校教育心理学	○			2			○	- (-)	H21入学生(H20入学生:教育心理論)
	保健科教育法Ⅰ	○			2			○	7 (1)	
	保健科教育法Ⅱ	○			2			○	7 (1)	
	家庭科教育法Ⅰ	○			2		○		27 (1)	
	家庭科教育法Ⅱ	○			2		○		28 (1)	
	道徳教育の研究	○			2			○	28 (1)	
	特別活動の研究	○			2			○	28 (1)	
	生徒指導論	○			2			○	27 (1)	
	スクールカウンセリング論	○			2			○	27 (1)	
	総合演習		○		2		○	○	85 (9)	
	教育実習(中)			○	4			○	18 (1)	
	教育実習の研究			○	1			○	18 (1)	
	介護等体験の研究			○	1			○	27 (1)	
	教育の基礎理論	○			2			○	50 (1)	
	教育課程論	○			2			○	67 (1)	
	生徒指導・教育相談	○			2			○	50 (1)	
栄養教諭教育実習の研究			○	1			○	67 (1)		
栄養教諭教育実習			○	1			○	- (-)	H20年度設置	
教育心理論	○			2		-	-	-	37 (1)	H20入学生:H20開講(H21入学生:学校教育心理学)

服飾美術科 教育課程表

(平成21年5月1日現在)

科目の種類	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人数(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
共通科目	ジェンダー論	○			2					○	35 (1)	
	家政学原論	○			2					○	40 (1)	
	哲学	○			2					○	55 (1)	
	文学と人間	○			2					○	26 (1)	

共通科目	日本国憲法	○			2			○	12 (1)		
	現代社会の心理学	○			2			○	70 (1)		
	日本の歴史	○			2			○	9 (1)		
	音楽の世界	○			2			○	36 (1)		
	美の世界	○			2			○	36 (1)		
	家族関係学	○			2			○	72 (1)		
	生活経営学	○			2			○	11 (1)		
	化学	○			2		○		25 (1)		
	自主講座	○			2		○		0 (1)		
	英語コミュニケーション I		○		1			○	65 (2)		
	英語コミュニケーション II		○		1			○	65 (2)		
	パソコン基礎		○		2			○	69 (2)		
	パソコン応用		○		2		○		65 (2)		
	からだとスポーツ			○	1			○	○	28 (2)	
	体育と健康	○			1			○		24 (2)	
	専門教育科目	カラーデザイン	○			2			○	70 (1)	
		カラーワーク			○	1			○	70 (2)	
ファッションデザイン画 I				○	1		○		72 (2)		
ファッション造形基礎				○	1		○		— (—)	平成 21 年度 新規科目	
被服材料学		○			2		○		71 (1)		
被服整理学		○			2		○		72 (1)		
ベーシックデザイン				○	1			○	53 (2)		
服飾文化史		○			2			○	32 (1)		
ファッション基礎デッサン				○	1		○		65 (2)		
ファッションデザイン画 II				○	1		○		38 (1)		
ファッションデザイン実習				○	1			○	32 (2)		
ファッション素材と表現				○	1		○		39 (1)		
コンピュータグラフィック基礎				○	2			○	59 (2)		
CGプリントデザイン				○	1			○	57 (1)		
CGビジュアルデザイン				○	2		○		27 (1)		
ファッション造形 I				○	2		○		71 (2)		
ファッション造形 II				○	2		○		66 (2)		
ファッション造形 III				○	2		○		27 (1)		
きもの I				○	2		—	—	—	43 (1)	隔年開講
きもの II				○	2		○			20 (1)	
アパレルCAD I				○	1		○			— (—)	H21 入学生(H20 入学生:アパレル CAD)
アパレルCAD II				○	1		○			— (—)	平成 21 年度 新規科目
ドレーピング				○	2		○			40 (2)	
ファッションプリント				○	2			○		51 (2)	
刺繍				○	1			○		46 (1)	
ニット				○	1			○		41 (1)	
レース				○	1			○		49 (1)	
帽子			○	1			○		73 (1)		
ファッション小物			○	1			○		79 (1)		

専門 教育 科目	染色加工学	○			2	○			68 (1)	
	被服繊維学	○			2	○			70 (1)	
	繊維学実験			○	1	○			60 (2)	
	材料学実験			○	1	○			60 (2)	
	被服整理学実験			○	1	○			64 (2)	
	染色加工学実験			○	1	○			60 (2)	
	ファッション情報論	○			2			○	58 (1)	
	アパレル企画			○	1			○	68 (2)	
	アパレルデザイン論	○			2			○	68 (1)	
	アパレル設計・生産論	○			2	○			61 (1)	
	プロダクトパターンメイキング			○	2	○			17 (1)	
	ファッション販売論	○			2			○	67 (1)	
	ビジュアルマーチャンダイジング	○			2			○	53 (1)	
	ビジュアルマーチャンダイジング実習			○	1			○	18 (1)	
	アパレル環境論	○			2	○			71 (1)	
	消費科学	○			2	○			68 (1)	
	消費生活論	○			2			○	80 (1)	
	ファッションキャリアデザイン			○	1	○			66 (1)	
	コーディネート			○	1			○	65 (2)	
	ファッションメイク			○	1			○	59 (2)	
	ファッションショーワーク			○	2		○	○	— (—)	H20年度 設置科目(H21開講)
	ファッションショー企画・制作			○	2	○	○	○	— (—)	H20年度 設置科目(H21開講)
	食物学概論	○			2	○			21 (1)	
	調理学実習			○	1	○			32 (1)	
	住居学概論	○			2			○	53 (1)	
	保育学概論	○			2			○	34 (1)	
	アパレルCAD			○	1	—	—	—	59 (2)	H20入学生:H20開講(H21入学生:アパレルCAD I)
アクセサリー			○	1	—	—	—	55 (2)	H20入学生のみ:H20のみ開講(カリキュラム変更)	
教職に 関する 科目	教職基礎論	○			2			○	10 (1)	
	教育概論 I	○			2			○	10 (1)	
	教育概論 II	○			2			○	10 (1)	
	学校教育心理学	○			2			○	— (—)	H21入学生(H20入学生:教育心理論)
	家庭科教育法 I	○			2		○		10 (1)	
	家庭科教育法 II	○			2		○		12 (1)	
	道德教育の研究	○			2			○	10 (1)	
	特別活動の研究	○			2			○	10 (1)	
	生徒指導論	○			2			○	10 (1)	
	スクールカウンセリング論	○			2			○	11 (1)	
	総合演習		○		2		○	○	3 (3)	
	教育実習(中)			○	4			○	3 (1)	
	教育実習の研究			○	1			○	3 (1)	
	介護等体験の研究			○	1			○	10 (1)	
教育心理論	○			2	—	—	—	13 (1)	H20入学生:H20開講(H21入学生:学校教育心理学)	

(2) 教養教育の取組み、専門教育の内容、授業形態のバランス、必修・選択のバランス、専任教員の配置等について特に強調したいことがあれば記述して下さい。

特にない。

(3) 当該教育課程を履修することによって取得が可能な免許・資格を示して下さい。また教育課程に関係なく免許・資格等を取得する機会を設けている場合は、その免許・資格名とどのような履修方法であるかを記述して下さい。

保育科の教育課程を履修することにより、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状の資格が取得できる。

栄養科の教育課程を履修することにより、栄養士資格、栄養教諭二種免許状、中学校教諭二種免許状（家庭・保健）、フードスペシャリストの資格が取得できる。

服飾美術科の教育課程を履修することにより、中学校教諭二種免許状（家庭）、2級衣料管理士資格が取得できる。また、教育課程に関係なく免許・資格等を取得する機会を設けているものには次の資格があり、それぞれ関係科目の中で、担当教員が資格取得の指導にあたっている。カラーコーディネーター検定、パターンメイキング技術検定、ファッション販売能力検定、ブロンズライセンス、商品装飾展示技能検定、色彩検定、ファッションビジネス能力検定、繊維製品品質管理士（TES）資格試験、リビングスタイリスト、刺繍ステッチインストラクター。

(4) 選択科目を学生が適切に判断して選択できるように、学生便覧やガイダンス等でのように指導しているか、また学生が希望する選択科目を履修しやすいように、時間割上どのような工夫を施しているか等について記述して下さい。

新入生全体に対して入学後オリエンテーションを実施し、教育課程の概要及びその履修方法について説明をしている。また、各学科ごとに入学直後に1泊2日でフレッシュマンセミナーを実施しており、そこで、教育目標の周知を含め、各資格取得や選択科目の履修方法について、学科長、クラス担任、授業担当者及び同行の先輩等が詳細な説明を行っている。また、本学の受験冊子では、教育課程表や履修モデルを掲載しており、入学前から選択科目を含めた履修科目をあらかじめ決定してくる学生も少なくない。入学時に配付する学生便覧では、各学科ごとの教育課程表に必修・選択別及び免許・資格必選別を明記し、学生に指導している。

また、本学では全ての選択科目を履修できるよう、時間割上で配慮している。時間割作成上では、比較的履修者が少ない選択科目については5時限目や土曜日に配置し、なるべく空き時間を少なくして学生が時間を有効に使えるような配慮をしている。

〈添付資料〉 2. 平成21年度学生便覧（P.18～19）（再掲）

〈参考資料〉 II-1 平成21年度 時間割表

(5)卒業要件単位数及びその他の卒業要件（必修単位の修得、学生納付金の納付等）を示して下さい。また学生にはどのような方法で卒業要件を周知させているかを記述して下さい。

本学の学生便覧に記載のとおり、共通科目は14単位以上修得し、専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて48単位以上修得し、共通科目及び専門科目を合わせて62単位以上修得することを卒業要件としている。卒業要件は、学生便覧、入学時のオリエンテーション、フレッシュマンセミナーでの履修ガイダンス、クラス懇談会等において、学生へ周知している。また、クラス担任や授業担当者がオフィスアワーを利用して指導している。

学生納付金については学則第43条に学費を納入した者でなければ試験等を受験することができないとしており、卒業要件となっている。

(6) 教育課程の見直し、改善について、学科等の現状を記述して下さい。なおこの項はできれば学科等の責任者（学科長、学科主任等。以下「学科長等」という）が記述して下さい。

保育科では、平成18年度よりカリキュラム編成見直しにむけたワーキンググループを立ち上げ、本格的なカリキュラム見直し作業、大学（児童学科）との差別化をはかる具体的なカリキュラム作成を経て、既に学内の承認を得ており、平成22年度から新カリキュラム実施の運びとなっている。

栄養科で取得可能な資格は栄養士資格、中学校教諭二種免許状（家庭・保健）、栄養教諭二種免許状及びフードスペシャリストである。これらの資格を学生に取得させるためには、栄養士法や教育職員免許法に定められた授業科目を開設することが必要であり、教育課程見直しの予定はない。当面は教育内容の充実に努力しているのが現状である。

服飾美術科では、毎年、カリキュラムをチェックし、理解力、技術力の低下が目立つ学生に対応した基礎力充実のための科目や、学生や社会のニーズに合わせた科目を加えるなどしている。移り変わりの激しいファッション分野のニーズに対応できる豊かな創造力、技能を身に付けた人材を育成できるような魅力ある教育内容となるよう常に点検し、改訂を視野に入れている。

【授業内容・教育方法について】

(1) シラバスあるいは講義要項を作成・配布する際に配慮していることや学生への周知方法等を記述して下さい。

本学は、シラバスをホームページ上で公開している。シラバスには、「授業の到達目標及びテーマ」「授業概要」「授業計画」「評価方法」「教科書等」「その他」の順で記載されている。「授業概要」は、当該授業科目の概要をまとめたものとし、「授業計画」は、当該授

業科目の開講期に合わせた授業回数ごとに授業の内容を記載している。「教科書等」の欄を設け、各教員が必要な教科書及び参考書等を提示している。参考文献は、特にシラバス上で表示はされていないが、「その他」の欄に各教員が必要に応じて提示している。特に授業計画については修正を可能としており、学生は最新の情報を得ることができる。3月下旬からホームページ上で公開を始め、学生は履修登録の際、Web上のシラバスを参考にしている。

学生には、Webシラバスの画面の開き方について周知をしておき、シラバス冊子は配布していない。ただし、出力したシラバスをファイリングして教育・学生支援センター窓口に設置し自由に閲覧できるようになっている。

各授業担当者は、第1回目の授業にシラバスの活用について説明を行うようにしており、学生による授業アンケートではシラバス活用の項目を設けて、学生のシラバス活用状況を把握している。

〈添付資料〉 8. 平成21年度シラバス

(2) 学生の履修態度、学業への意欲等について、学科長等はどのように把握し受け止めているか記述して下さい。

保育科では、学生それぞれの履修態度、学業への意欲等については、クラス担任、授業担当者（専任教員・非常勤教員）、助教等から情報が滞りなく学科長に届くように心がけている。学科における科内会議や教科ごとのミーティングの席上でも、出席状況、履修態度等に問題が感じられる学生については報告がなされるよう時間をとっている。

また、保育実習・教育実習の事前・事後指導においても、学生の学習意欲や態度が率直にあらわれやすいので、実習担当教員とも緊密に連携し、早めの対応を心がけている。

栄養科では、多くの学生が、栄養士等の資格を取得し、卒業後は資格を生かして働くことを目的として入学するので、ほとんどの学生の学業への意欲は旺盛である。一部の学生には意欲が感じられない傾向が見られるが、教科科目によって差があるようである。実験・実習及び演習等の少人数のグループで行う授業は、全員が意欲的に取り組んでいる。しかし、各学生の将来進みたい進路により、教科科目への意欲・熱意に差が見られることもある。

服飾美術科では、近年、四大志向の増加により、短大離れが加速している。そのような状況の中で定員確保を迫られるため、入学試験はほぼ全入に近い状況である。また、学力低下が著しく、不本意入学の学生も増えている。これらの学生に充実した教育を与えるため以下のように対処、指導を行っている。授業担当者会議を定期的開催し、学生の履修態度、学業への意欲等について、問題がある場合は話し合っている。担当教科の中で履修態度の悪い学生がいる場合は、注意を与えるが、質問をしながら興味を持たせるように努力をしている。注意のし過ぎで勉学への意欲を失わせるより、興味を引きつけるよう導いている。学習への意欲を失っている学生については、その原因を究明し、できるだけ授業に誘い、卒業させるよう努力をしている。ただし、希望大学の受験に失敗し、取りあえず入学したが、迷っている学生に対しては、進路相談を行い、学生の希望する道に進めるよう配慮している。

【教育改善への努力について】

- (1) 学生による授業評価を行っている場合はその概要を記述して下さい。行っていない場合にはその事由等を記述して下さい。

学生による授業評価は、全科目、全教員（非常勤講師含む）を対象に「学生による授業アンケート」として学期末に実施している。アンケートは、教員の授業へ臨む姿勢、教材・課題、学習効果への満足度、学生自身の学ぶ姿勢に関する項目から構成されており、設問項目及び自由記述からなっている。アンケートの集計結果は教授会で報告され、さらに各授業担当者にグラフ化した集計結果をフィードバックし、教員各自が授業内容の確認と改善に役立っている。20年度の集計結果をもとに、授業担当者が現状の分析と改善すべき内容や方策を記入したものをまとめた冊子を作成した。

また、全学的な授業評価アンケートとは別に、自らの授業改善に強い関心を持っている教員は、独自に授業評価を行っている。

〈参考資料〉Ⅱ・2 授業アンケート

- (2) 短期大学全体の授業改善（ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動等）への組織的な取組み状況について記述して下さい。また短期大学の責任者（以下「学長等」という）は授業改善の現状について、どのように受け止めているかを記述して下さい。

授業改善への組織的取組みは、平成15年度に設置した授業評価・授業改善プロジェクト、平成16、17年度に設置したFD委員会準備室、平成18年度から総合教育開発センターに2つの部門すなわち人間教育開発部門および高等教育開発支援部門を設置し、その中で高等教育開発支援部門が担ってきた。授業改善を目的として、学生による授業アンケートを実施し、教員の個人データを教員各自に戻すとともに、全体の集計結果をまとめて統計処理し、教授会及び教員の研修を目的とした教員研究会で報告し、全教員で共有する仕組みをとっている。また授業アンケート結果を踏まえて授業公開を依頼する教員を選び、前期、後期の2～3週間にわたって授業公開を行っている。

これらの取組みにより、教員は学生の評価を真摯に受け止め、授業改善を図っている。さらに、教員研究会、公開授業等を通じて、大学の教育の質の向上を図るべく努力を行っている。なお、平成21年度よりFD委員会を設置し、その取組みを実施している。

〈参考資料〉Ⅱ・3 FD委員会規程

- (3) 担当授業について教員間の意思の疎通や協力体制、または兼任教員との意思の疎通について、学科長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

保育科は、幼稚園教諭免許状および保育士資格同時取得のため履修単位数や履修内容が制限されるなか、教員の意思疎通や協力体制の充実を図ることも含めたカリキュラム検討委員会を平成18年度より設置し、将来の幼稚園教諭や保育士として求められる資質の向

上に資するような望ましいカリキュラムおよび授業内容の構築に向けた準備を進めている。

また、兼任教員との意思疎通は、各関連教科間における自主的な勉強会や検討会を適時実施し、授業内容調整および指導法の改善に向けた努力が常に行われている。

こうした教員及び兼任教員間の意思疎通や協力体制の在り方は、本学科にとって望ましい形で展開されていると受け止めている。

栄養科では、授業担当者間で、授業内容が重複しないように、また、同じ授業科目を2人以上の教員が担当する場合は、事前に打ち合わせ、調整を行っている。実験等で使用する器具、測定機等は共用するように心がけている。兼任教員は、専任教員と顔を合わせる機会が少ないので、学科内の専任教員、兼任教員全員が年に一度、12月に懇親会を催し意思の疎通を図っている。

服飾美術科では、専任教員が担当する科目については、専門性を重視し、担当教員に任せている。同じ科目をクラス別に開講し、複数の教員が担当している場合は、担当者間で打ち合わせ調整し、授業を行っている。兼任教員が担当している科目については、各分野の取りまとめ教員が兼任教員と内容を打ち合わせの上、授業を依頼している。年1回「非常勤の先生を囲む会」を開催し、兼任教員の率直な意見を伺い、可能な限り希望を受け入れるよう努力している。「ファッションショー企画・制作」の授業については、8人の教員でセクションを分担し、各セクションに所属する学生を指導し、最終的には教員と学生全員でファッションショーを創り上げる。必要に応じて会議を行い各セクションの進捗状況等を報告し、互いの意見を交換し協力しながら進めている。

【特記事項について】

(1) この《Ⅱ教育の内容》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば、他の教育機関との単位互換制度、習熟度別授業、情報・メディア教育、国際理解教育、海外研修制度、インターンシップ、女子教育の伝統継承と発展への取組み等、学科等において努力していることがあれば記述して下さい。

現在、国際交流センター主催による各種海外研修プログラムが設けられている。これらは、米国、英国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、韓国の提携校において、5～6か月(長期)、2～3か月(中期)、2～6週間(短期)にわたり学生を研修させるプログラムで、研修内容も英語集中研修のみならず、栄養、児童、服飾、美術、環境等各学科の専門分野に関するものもあり、短期大学の学生も大学の学生とともにこれらに参加することができる。

この他にも、学園の宿泊研修施設(箱根仙石セミナーハウス)における集中英語・異文化交流研修もあり、ここには韓国の提携校の学生も毎年参加している。研修プログラムに参加することにより、学生は外国語の力をつけるとともに、国際理解を深めることができる。

栄養科では、平成19年度より海外研修制度としてアメリカ合衆国シアトル市シアトルパシフィック大学での栄養&英語研修(2月に約2週間)が始まった。

その他、インターンシップは、本学全体の就職委員会が参加学生を募集し、栄養科の学

生も参加している。

服飾美術科では、夏休みを利用した4週間のイギリスヨークカレッジにおける服飾美術&英語研修がある。2年間の短い学生生活の中で、2年次の夏はファッションショーに向けての準備や就職活動があるため、参加できるのは1年次の夏になるが、入学時のオリエンテーションの際に貴重な体験となることを説明し、例年、数人が参加している。

女子教育の伝統継承と発展への取組みについては、本学の建学の根幹と伝統の流れをくみ、伝統的な服作りの技能教育を進めながら、総合的なファッション創造教育へ転換し、学生と教員の共同作業によるファッションショーを行っている。

(2) 特別の事由や事情があり、この《Ⅱ教育の内容》の評価項目や評価の観点を求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特にない。

- 〈添付資料〉
1. 学生便覧等、学習等について学生に配付している印刷物
 2. 平成21年度学生便覧(再掲)
 7. ポータルの手引き&Web教務システムの手引き(学生編)
 2. シラバスあるいは講義要項
【授業内容・教育方法について】(1)
 8. 平成21年度シラバス
- 〈参考資料〉
3. 選択科目の履修について記載している印刷物
【教育課程について】(4)
 2. 平成21年度学生便覧(P.18~19)(再掲)
 - Ⅱ-1 平成21年度 時間割表
 4. 学生による授業評価票
【教育改善への努力について】(1)
 - Ⅱ-2 授業アンケート(東京家政大学・短期大学部 FD委員会)
 5. FD活動の組織(FD委員会等)についての規程
【教育改善への努力について】(2)
 - Ⅱ-3 FD委員会規程

《Ⅲ 教育の実施体制》

【教員組織について】

(1) 現在の専任教員数を下表を例にして作成して下さい。

専任教員等の人数

(平成21年5月1日現在)

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数		助手	〔ハ〕	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	〔イ〕	〔ロ〕			
保 育 科	4	8	3	0	15	11(4)	—	1	0	教育学・保育学関係
栄 養 科	5	3	0	1	9	6(2)	—	1	2	家政関係
服飾美術科	2	2	2	0	6	4(2)	—	0	1	家政関係
(小 計)	11	13	5	1	30	21(8)	—	2	3	
[ロ]	—	—	—	—	—	—	6(2)	—	—	
(合 計)	11	13	5	1	30	21(8)	27(10)	2	3	

【注】 1. 専任教員数の助教・・・授業担当あり
2. 〔ハ〕・・・授業担当なしの助教および期限付助教

(2) 短期大学の教員にふさわしい資格と資質の有無については、訪問調査の際に、教員の個人調書（①履歴書、②研究業績書、③担当授業科目名、④その他）を提示していただきます。したがって個人調書をこの報告書に添付する必要はありません。

本学では、教員の採用時及び昇任時に履歴書、研究業績書を提出し、教員選考委員会で、短期大学の教員としてふさわしい教育・研究業績と資質について審査をしている。

〈参考資料〉Ⅲ-1 教員の個人調書

(3) 教員の採用、昇任が適切に行われている状況を記述して下さい。その際、選考基準等を示した規程等があれば訪問調査の際にご準備をお願いいたします。

教員の採用、昇任については、教員選考規程および教員選考基準に則り審査が行われている。各学科とも設置基準以上の教員数を擁し、審査の上、業績・人物ともに申し分のない教員で構成されている。

専任教員の採用は、採用委員会で枠取りをし、公募後、応募者による模擬授業等と面接

を行い、科内教授会または科内会議で十分な検討を行った上、複数候補者に優先順位をつけ、全学の教員選考委員会で審査を行っている。

〈参考資料〉Ⅲ-2-① 教員選考規程 Ⅲ-2-② 教員選考基準Ⅰ（規程集P.49～56）
Ⅲ-2-③ 教員選考基準Ⅱ Ⅲ-2-④ 教員選考基準Ⅱの運用内規

(4) 教員の年齢構成について下表を例に現状を記載して下さい。

教員の年齢構成は下表のとおりである。

専任教員等の年齢構成表（短期大学全体で作成）

（年齢は平成21年4月1日現在）

区分	年齢ごとの専任教員数(助教以上)							助手等の 平均年齢	備考
	70以上	60～69	50～59	40～49	30～39	29以下	平均 年齢		
合計人数 (30人)	0	14	9	6	1	0	55	32	
割合	0%	47%	30%	20%	3%	0%			

(5) 専任教員は、(a) 授業、(b) 研究、(c) 学生指導、(d) その他教育研究上の業務に対して意欲的に取り組んでいるか。また上記4つの分野の業務取り組み状況にはどのような傾向があるかを学長等が記述して下さい。その際、過去3ヶ年（平成18年度～20年度）程度の教員の担当コマ数（担当コマ基準、平均担当コマ数等を含む）、教員の研究業績、教員が参画する学生指導の業務、教員が参画するその他の教育研究上の業務概要を示して下さい。

授業については、学生による授業アンケート、公開授業、教員研究会、教員研究成果発表会、シラバス記載の徹底、カリキュラム改定等、授業内容改善を考える機会が多く、教員は絶えず授業内容の向上を目指し、意欲的に取り組んでいる。

教員の研究は、授業の準備、学生に対する生活指導、事務的な業務、各種委員会活動等の合間に進めていかなければならない。研究に対する意欲に個人差はあるが、研究活動について様々な支援が行われており、積極的な研究活動も行われている。

学生指導については、クラス担任制をとっており、個人面談、奨学金の面談、進学・就職に関する推薦書等で学生と接する機会も多く、また授業で学科のほぼ全員の学生と接するため、活発な指導が行われている。充実した学生生活が送れるよう指導に力を入れている。

その他の業務には研究費等の予算管理、各種委員会活動、社会的な活動等がある。いずれも意欲的に取り組んでいる。

以上4つの分野の業務取り組み状況は、授業と学生指導が中心であり、研究は研究日を使用する傾向にある。教員の資質を高めるためにも、今後研究に費やす時間を多く取れるような支援が必要である。

(6) 助手、副手、補助職員、技術職員等を十分に、あるいは可能な限り配置しているか、また助手等が教育研究活動等において適切に機能しているかを学長等が現状を記述して下さい。

助教、期限付助教、助手、期限付助手、教学助手がいるが、授業の準備・補助、実験実習室の管理、事務補助など教員の補助を行っている。実験、実習及び演習の一部にはこれらの助教、助手が配置されている。助教、期限付助教は教員研究費も支給され、研究活動も保証されており、年に一度の研究成果報告書の提出が義務となっている。助教、期限付助教、助手の学会等の出張に対する補助制度(研究活動奨励費)があり、これを受けた場合は教員研究成果発表会で発表することになっている。

(7) 2以上の校地(校地が隣接はしていないものの極めて近接しており、学生に対する日常的な学習相談、進路指導、厚生補導等が支障なく行うことができる体制にある場合など例外的な場合以外)において教育研究を行う場合においては、それぞれの校地の専任教員の配置状況について記述して下さい。

短期大学部の運動場は、狭山キャンパスにあるが、授業は大学と共用の大体育室・小体育室を備えた板橋キャンパスの体育館での授業を中心としている。平成21年度完成の板橋キャンパス新校地にも、校舎棟1階に体育施設を設け、体育施設の充実を図る。

【教育環境について】

(1) 校舎・校地一覧表を下の表を例に作成して下さい。

校舎について、まず短期大学設置基準第31条（通信教育学科を置く短期大学の場合には短期大学通信教育設置基準第10条を含む）の規定による短期大学全体の基準面積（基準面積を算出する計算式を含む）を示して下さい。また校舎を法人が設置する他の学校等と共用している場合は、他の学校の校舎の基準面積も記載して下さい。さらに校舎の配置図、用途（室名）、専用・共用の別を示した各階の図面を準備しておいて下さい。なお主要校舎については訪問調査の際にご案内いただきます。

【校地校舎一覧表】

平成21年5月1日現在

区分	収容定員	校地			校舎			備考
		基準面積	現有面積	差異	基準面積	現有面積	差異	
東京家政大学短期大学部	900人	9,000㎡	33,340.00㎡	24,340.00㎡	7,450㎡	3,855.70㎡	37,893.89㎡	
東京家政大学・短期大学部共用						41,488.19㎡		
計	900人	9,000㎡	33,340.00㎡	24,340.00㎡	7,450㎡	45,343.89㎡	37,893.89㎡	
東京家政大学専用	大学 4,328人 (院 72人)	43,280㎡	97,423.71㎡	54,217.14㎡	24,058㎡	29,838.36㎡	5,780.36㎡	
合計	5,228人	52,280㎡	130,763.71㎡	78,557.14㎡	31,508㎡	75,182.25㎡	43,674.25㎡	
校舎・校地外			13,407.50㎡			13,902.41㎡		
現有面積計			144,171.21㎡			89,084.66㎡		

【校地基準面積】

収容定員 900人×10㎡=9,000㎡ 短期大学設置基準第30条

※共用する学校→東京家政大学 収容定員 4,328人×10㎡=43,280㎡ 大学設置基準第37条

本学は主要校地を東京都板橋区と埼玉県狭山市に所有し、短期大学部は板橋キャンパスに校舎敷地 16,809㎡と、狭山キャンパスに運動場敷地 16,531㎡を保有(合計 33,340㎡)、基準面積を充足している。

板橋キャンパスは、平成19年3月に財務省から隣接地 16,354.53㎡を購入したことにより、大学・短期大学部校地、附属中学校・高等学校、幼稚園の校地と寄宿舎敷地を合わせ 88,400.08㎡を有する。

新校地は、新たに十条門を設置することで、最寄駅からのアクセスも良く、既存キャンパスへの通路を設け、通学時の混雑緩和に配慮する。

また、シンボルツリーとして高木を配置すると共に、地域への開放も考慮して多目的に

使用できる芝生の広場（キャンパスガーデン）や、隣接して地域住民の災害時の避難場所としても対応できる防災倉庫を設け、地域住民へも配慮した教育環境となる。

【校舎基準面積】

学科名	収容定員	基準校舎面積	計 算 式
保育科	400 人	3,350 m ²	短期大学設置基準第 31 条 別表第二 イ 教育学・保育学関係 適用
栄養科	360 人	2,550 m ²	短期大学設置基準第 31 条 別表第二 ロ 加算校舎面積 家政関 係 適用
服飾美術学科	140 人	1,550 m ²	短期大学設置基準第 31 条 別表第二 ロ 加算校舎面積 家政関 係 適用
	900 人	7,450 m ² 以上	

※共用する学校 → 東京家政大学

【家政学部】 $(3,218-800) \times 1,984 \div 400 + 6,942 = 18,935.28 \text{ m}^2$ (18,935)
大学設置基準第 37 条の 2 別表第三 イ適用

【人文学部】 収容定員 1,200 人まで $5,123 \text{ m}^2$
大学設置基準第 37 条の 2 別表第三 ロ適用

合計 24,058 m²

短期大学部は、板橋キャンパスに設置され、附属中学校・高等学校校舎、幼稚園の園舎を除き、大学と短期大学部で教育施設を共用している。短期大学部専用としては、教員の専用研究室の他に、講義室、実験実習室、準備室を所有、共用する講義室、演習室、実験・実習室、準備室等と、図書館の面積を合わせ、設置基準面積を充足している。

平成 21 年 7 月には、平成 20 年 11 月に着工した新校地に、最新式の視聴覚設備を備えた講義室やセミナー室、コンピュータ室や大学院施設、食堂・体育施設が完成し、教育施設と教育環境の整備と充実を図る。

〈参考資料〉Ⅲ-3 校舎の配置図、用途(室名)、専用・共用の別を示した各階の図面

(2) 校地・校舎について、他の学校等との共有部分がある場合は、教育研究上の支障が生じないように、どのような措置をとっているかについても記述して下さい。

時間割作成時に、使用する機器、実習室、実験室等を調査して大学の授業と重ならないように調整している。

また、教室には授業で使用する多様なメディアに対応できるAV機器、情報機器等を常設して教育環境を十分に整えている。

(3) 教育研究に使用する情報機器を設置するパソコン室、マルチメディア室、学内LAN、LL教室及び学生自習室の整備状況（機種、台数等を含む）について記述して下さい。またその使用状況（使用頻度等）についても記述して下さい。なお、2以上の校地において教育研究を行う場合においては、校地ごとに記述して下さい。

PC室の設備内容等

名称	面積(m ²)	収容人数	設備内容
1-3B 講義室 (PC室兼用)	72.57	62	100インチ電動スクリーン、DLPプロジェクター、DVD 一体型ビデオデッキ、資料提示装置、ダブルカセットデッキ、デスクトップPC、ノートPC×62台、モノクロプリンタ×2台
1-4A 講義室 (PC室兼用)	64.00	52	80インチ電動スクリーン、DLPプロジェクター、DVD 一体型ビデオデッキ、資料提示装置、ダブルカセットデッキ、デスクトップPC、ノートPC×52台、モノクロプリンタ×2台
104A コンピュータ室	148.55	64	デスクトップ PC×66台、センターモニター×33台、カラープリンタ、モノクロプリンタ×4台、DVD レコーダー、資料提示装置
104B コンピュータ室	167.83	64	デスクトップ PC×66台、センターモニター×33台、カラープリンタ、モノクロプリンタ×4台、DVD レコーダー、資料提示装置
104CALL 教室	156.25	64	デスクトップ PC×65台、カラープリンタ、モノクロプリンタ×4台、LL システム、LL ヘッドセット×73個、センターモニター×33台、DVD/LD/CD プレーヤー、ビデオデッキ、パワーディストリビューター、資料提示装置、ダブルカセットデッキ、MD デッキ
15C コンピュータ室	160.56	60	デスクトップ PC×61台、カラープリンタ、モノクロプリンタ×4台、110インチ電動スクリーン、DLPプロジェクター、DVD/CDレコーダー、ビデオデッキ、EduCanvas
163F 講義室 (PC室兼用)	81.70	60	52インチ液晶ディスプレイ×2台、DVD レコーダー、ビデオデッキ、カセットデッキ、資料提示装置、デスクトップ PC、ノート PC×60台、モノクロプリンタ×2台
共同グループ実習室 B	152.26	40	デスクトップ PC×41台、モノクロプリンタ×4台
コンピュータ自習室	85.00	30	デスクトップ PC×30台、モノクロプリンタ×2台
コンピュータ自習室 2	167.76	60	デスクトップ PC×61台、ノート PC×20台、カラープリンタ、モノクロプリンタ×6台

週間稼働率

名称	前期 (%)	後期 (%)	備考
1-3B 講義室 (PC室兼用)	38.8	54.2	
1-4A 講義室 (PC室兼用)	36.2	30.1	
104A コンピュータ室	46.8	41.4	
104B コンピュータ室	50.1	35.4	
104CALL 教室	48.0	46.8	
15C コンピュータ室	69.6	63.0	
163F 講義室 (PC室兼用)		—	平成21年度9月より使用開始
共同グループ実習室 B			平成21年度7月まで使用
コンピュータ自習室	—		
コンピュータ自習室 2			平成21年度9月より使用開始

※大学・短大 共有

週間稼働率 (%) = $\frac{\text{(その教室で行う授業の履修登録者の1週間分の合計)}}{\text{(その教室の収容人数)} \times \text{(1週間の時限数)}}$

1 週間の時限数

- ・前期は月曜から水曜まで5時限、木曜は4時限、金曜は5時限、土曜は2時限、合計26時間
- ・後期は月曜から水曜まで5時限、木曜は3時限、金曜は5時限、土曜は2時限、合計25時間

短期大学部と大学の共用ではあるが、教育水準の向上を図るため、平成18年度は新1号館の増築、平成19年度は6号館、8号館、10号館の視聴覚設備の増設、平成20年度は14号館、15号館を増築し、教室には、教員が授業で使用する多様なメディアに対応できるAV機器、情報機器、また、録音・録画のできる電子黒板等を常設し、それぞれの授業を行うのにふさわしい教育環境を十分に整えて、現在に至っている。

(4) 授業用の機器・備品の整備状況及び整備システム（管理の状況、整備計画等を含む）について、その概要を記述して下さい。2以上の校地において教育研究を行う場合においては、校地ごとに記述して下さい。なお機器・備品の整備状況については訪問調査の際に校舎等をご案内いただく際にご説明いただきます。

講義室には、パソコン、OHC、プロジェクター、ビデオ、DVD、CD、カセット、スクリーン、スライド、電子黒板、テレビモニターが備え付けられている。管理については、機器の故障が生じた場合、即時に教育・学生支援センターで確認後、対応が不可能であれば管財課へ確認を依頼し、さらに故障の程度によっては、管財課から納入業者へ修理依頼を行う。修理に時間がかかるようであれば代替機を入れるなど、各種の機器トラブルに対処している。その他、授業へ支障をきたさないよう、あらかじめ夏期及び春期休業中に納入業者による機器の点検を行い、授業開始に向けて支障がないように整備している。

(5) 校地、校舎の安全性、障害者への対応、運動場、体育館、学生の休息場所等について記述して下さい。訪問調査の際にご案内いただき、ご説明願います。

1. 校地、校舎の安全性

校地は、両キャンパスとも立地条件に恵まれ、安全で静かな環境である。短期大学部のある板橋校舎は、年次計画で実施してきた老朽校舎の建替やリニューアル工事、耐震改修工事がほぼ終了した。平成20年度は昭和56年の建築基準法改正前後に竣工した建物3棟の耐震診断を実施する。

2. 障害者への対応

障害者への対応については、新築建物はエレベーターや自動扉、点字ブロック、身障者トイレ、廊下手摺りを設置したバリアフリー対応になっているが、昭和40～50年代に建築した建物7棟はエレベーターの設備がないため、早急に対策に取り組む必要がある。

3. 運動場と体育館

運動場は、狭山キャンパスにあるが、授業は大学と共用の大体育室・小体育室を備えた板橋キャンパスの体育館での授業を中心としている。平成21年度完成の新校地にも、校舎棟1階にバドミントンコートを備えた中体育室を設け、体育施設の充実を図る。

4. 学生の休息場所

キャンパス屋外には創立125周年を記念して作られた芝生の庭園と昔のおもかげを残している池の周囲にはベンチを配し、学生の休息や憩いの場となっている。

また、憩いの場として緑地に散策路を設け、木陰にはベンチを設置、15号館屋上には本学ではじめての屋上庭園があり、テーブルと椅子を配置し、学生の休憩場所としている。

【図書館・学習資源センター等（以下「図書館等」という）について】

(1) 図書館等の概要について、全体の配置図、座席数、年間図書館予算、購入図書等選定システム、図書等廃棄システム、司書数、情報化の進捗状況等を含めて記述して下さい。なお図書館等には訪問調査の際にご案内いただきます。

図書館は大学図書館と共用であり、保育科・栄養科・服飾美術科の専門科目図書を中心に収集している。同時に短期大学部は保育実習や基礎調理学実習、服飾美術科におけるプレゼンテーションなどの実習・実技に即した図書も数多く揃えている。図書館は大学の情報発信機関としても使命を果たすべきものであり、施設面においては図書館・情報センター棟の一角に位置し、次頁に示すとおり地下2階より地上2階の4層部分を図書館として使用している。特に館内には閲覧室、グループ学習室、読書室のほか、ブラウジングルームや閲覧和室・AV室等も設け学生がリラックスできる空間も備えている。座席数は全体で421席となっている。図書館資料の購入は図書館規程に基づく図書館運営委員会において承認後、各学科の教員と司書により学生用図書の選書購入をしている。図書の廃棄についても同様に図書館規程に基づき、その都度または、年度末に定期的蔵書点検を行い必要に応じて廃棄処理を行っている。図書館業務について、全ての業務がコンピュータシステム化されており、遡及分図書資料の入力も完了している。また、現状に即した図書館をめざし、平成10年にシステム変更を行うと共に平成12年にバージョンアップを行い図書館の活性化を図っている。図書館開館時間も平成17年度より延長を行うと共に、近隣の地域住民にも開放している。

図書館の職員数は専任職員10人(内司書9人)、非常勤職員7人(全て司書有資格者)、派遣職員1名(司書有資格者)で業務を行っている。

図書館の年間予算や資料費は表1のようになっており、特に資料費については毎年、学生数や前年度の資料受け入れ数、過去を含めた資料の貸し出し状況等分析検討することで、予算内容の見直しを図り、資料収集にあたっている。

〈参考資料〉Ⅲ-5-① 東京家政大学・東京家政大学短期大学部図書館規程

Ⅲ-5-② 図書館規程に関する内規(抜粋)(規程集P.165～174)

表1 図書館予算・資料費

	図書館予算 (千円)	内、資料費 (千円)
平成18(2006)年度	68,371	52,840
平成19(2007)年度	89,305	57,390
平成20(2008)年度	85,877	60,093

(大学図書館と共用)

(2) 図書館等に備えられている蔵書数（和書、洋書、学術雑誌数、AV資料数等）を下
表を例に作成して下さい。

図書館の蔵書数は表 2 のようになっており、年間受け入れ冊数は約 10,000 冊あり、増
加の傾向にある。また、図書館資料の多様化と共に電子資料の占める割合が多くなってき
ており、冊子から電子資料へ移行している部分もかなりある。

表 2 図書館等蔵書数一覧

(平成 21 年 5 月 1 日現在)

区分	和書	洋書	学術雑誌	AV 資料
冊 (種)	188,180 冊	30,024 冊	535 種	2,634 点

(大学図書館と共用)

(3) 図書館等には学生が利用できる授業に関連する参考図書、その他学生用の一般図書
等は整備されているか。また学生の図書館等の利用は活発かを、図書館等の責任者
(図書館長等) が現状をどのように捉えているかを記述して下さい。

受け入れする資料は毎年、各科の教員がそれぞれの専門分野の資料購入を行うと共に、
担当司書により系統的に専門分野の図書購入に努めている。また、学生からの設置希望図
書も受け付けている。参考図書については、年鑑・白書・報告書等は継続的に受け入れると
共に、基本的な参考図書・辞典類は常に活性化に努めている。また、法規類は専門科目に加
え、一般的法令集も収集している。

購入された図書は、整理するにあたり本学の専門分野の資料数が多くなっても対応でき
るように日本十進分類法(NDC)の中を展開することで細分を図っている。従って分類付けに
際し、日本十進分類法(NDC)と東京家政大学十進分類表(TKDC)を併用し、整理・装備を行い
閲覧に供している。配架場所も、参考図書や新書、一般図書等学生が利用し易くなるよう、
サインによる案内やパンフレットなどを配備している。

電子資料は従来は CD や DVD であったが、現在は Web 資料が主流になっており、本学で
は雑誌記事索引データベースとして「CiNii」「JDream II」「大宅壮一文庫雑誌記事索引 Web
版」「メディカルオンライン」「医学中央雑誌 Web 版」等や新聞記事検索「朝日新聞聞蔵 II ビジ
ュアル」等を導入している。また、平成 20 年度より Web による法情報「D1-Law」も導入した。
この他電子ジャーナルの契約をしている。

図書館は前述のように開館時間の延長を行っており(表 3 参照)、その中でも特に授業期
間中の入館者は多く一日平均 800 人を超え、試験期間には 1,000 人を超える。卒業生や地
域住民にも登録制により開放している。

表3 図書館開館時間

	授業期間	夏休み	春休み
平日	9:00 - 19:00	9:00 - 16:00	9:00 - 17:00
土曜	9:00 - 17:00	9:00 - 12:00	9:00 - 12:00

閲覧室に資料検索用のパソコンが4台とWeb検索用パソコンが29台備えられており、学生はそれらを自由に利用でき、利用相談等も常に受け付けている。パソコン以外にも各種利用相談に応じられるよう閲覧カウンターに相談係を設けている。

表4 年間入館者数

	短大	学部	大学院生	教職員・その他	計
平成18(2006)年度	40,703	93,923	1,173	3,520	139,319
平成19(2007)年度	34,872	101,643	1,040	3,502	141,057
平成20(2008)年度	29,976	107,734	1,446	4,457	143,613

※科目等履修生・研究生は学部へ算入

表5 貸出冊数

	短大	学部	大学院生	教職員・その他	計
平成18(2006)年度	14,099	36,346	978	4,040	55,463
平成19(2007)年度	12,539	38,225	865	4,099	55,728
平成20(2008)年度	11,251	39,718	1,196	3,990	56,155

※科目等履修生・研究生は学部へ算入

※教職員のみ図書/雑誌が対象

閲覧における蔵書検索はWeb-OPACで、利用は学内はもとより学外からも広く検索でき、内容については学内全ての資料の蔵書検索を可能にしている。また、それらを学生に提供するために、図書館では数年前より図書館ホームページを開設し、広報活動の一端を担うと共に、閲覧に供している。図書館ホームページは館内職員構成によるホームページ委員会を設置し、常に新しい情報を提供できるよう定期的に更新を行っている。

館内における閲覧環境の充実にも力をいれ、学生の利用し易い環境になるよう常に努めている。中でもサインは階層別に色分けすることにより視覚的案内に心がけると共に、利用者のための案内冊子も毎年見直しを行い、館内での配付チラシや広報最新情報を盛り込むようにしている。

(4) 図書館等からの学内外への情報発信、他の図書館等との連携等、現在の図書館活動について、図書館長等がどのように受け止めているかを記述して下さい。

図書館では毎年4月に新入生対象に図書館ガイダンスとライブラリーツアーを開催し、図書館の利用がスムーズにできるよう支援している。また、従来行っていた「文献の探し方説明会」を定期的に行うことにより、より段階を踏まえた図書館の活用ができるよう指導している。また、平成20年度より学生の単位修得につながるポイント制の自主講座(2単位・共通科目)に「図書館活用法Ⅰ 図書資料の探し方」「図書館活用法Ⅱ 雑誌資料の探し方」として参加している。学生への学術情報リテラシー教育支援では司書がパワーポイント資料を作成し学生に説明を行ったり、学生へアンケートの実施をするなどして評価を行い、さらに司書同士の説明者としての評価も行い図書館活動に活かしている。

図書館における情報システムはNII(国立情報学研究所)との接続によりNACSIS-CAT/ILLに参加し、データ登録、大学間利用をしている。公私立大学図書館コンソーシアム(PULC)に参加し電子ジャーナルの共同購入も行っている。また、図書館ホームページを公開することにより、学生をはじめ学内外の人への情報提供も充実している。

大学の改組等により狭山キャンパスの学生が全て板橋キャンパスへ移動になった。学生が約3,000人近く移動したことになり、図書館も多方面より見直しを迫られている。

第一に平成21年度以降は学生数の増加と図書の蔵書構成について見直しを図る必要がある。当然それに伴う資料費の見直しを行うことにより、現在の蔵書数や書庫の収納スペースの問題、廃棄等の問題も見直しを図っていきたい。

第二に施設面として学生の閲覧環境の充実を図りたい。特に板橋キャンパスに学生数が増加したことにより閲覧座席数が不足がちで、再検討を余儀なくされる部分もあり、今後の課題となっている。さらに後述の利用者サービスに関しても施設面からもサポートしていきたくと考えている。

第三に図書館のサービス体制については平成22年度以降には開館時間の見直しを図りたい。今後は、利用者教育に重点を置き、現在行っている図書館活用法の他に教員との連携による図書館利用支援や授業支援の充実を図りたいと考えている。

第四として図書館業務システムは平成10年度に現在のシステムを導入後平成12年度にバージョンアップを行ったが、現状にそぐわない部分が出てきており、見直しを図り平成22年度導入に向けて検討に入りたいと考えている。

第五に本学で現在発行している刊行物(研究紀要、報告書等)のWeb化を図るべく学園の理解と協力を求めている。

【特記事項について】

(1) この《Ⅲ教育の実施体制》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば外国人教員の採用、授業の公開、学習評価活動等、努力していることがあれば記述して下さい。

授業公開については、学生による授業アンケート実施後、FD委員会では、授業の取組みが顕著とみられる教員に授業公開を依頼している。平成20年度は12名の教員による授業公開を延べ18回実施した。

従来は通常の授業時間帯に実施したため、参加者が少なかったが、今後は新たな方法として、特別に授業日を設定するなどの工夫が必要である。参加した教員からは、他の授業を参観し、今後に役立つとの意見があった。

(2) 特別の事由や事情があり、この《Ⅲ教育の実施体制》の評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし。

- 〈参考資料〉
1. 教員の個人調書（①履歴書、②研究業績書、③担当授業科目名等、④その他）
【教員組織について】(2)
Ⅲ-1 教員の個人調書
 2. 教員選考基準を示した規程等
【教員組織について】(3)
Ⅲ-2-① 教員選考基準Ⅰ
Ⅲ-2-② 教員選考基準Ⅱ
Ⅲ-2-③ 教員選考基準Ⅱの運用内規（規程集P. 49～56）
 3. 校舎、校地に関する図面（全体図、校舎等の位置を示す配置図、用途(室名)を示した各階の図面、校地間の距離、校地間の交通手段等）
【教育環境】(1)
Ⅲ-3 校舎の配置図、用途(室名)、専用・共用の別を示した各階の図面
 4. 図書館等の規程
【図書館・学習資源センター等（以下「図書館等」という）について】
Ⅲ-4-① 東京家政大学・東京家政大学短期大学部図書館規程
Ⅲ-4-② 図書館規程に関する内規(抜粋)（規程集P. 165～174）

《IV 教育目標の達成度と教育の効果》

【単位認定について】

(1) 次の「単位認定の状況表」を例に、単位認定の方法と評価の実態を記載して下さい。
なお、この表は平成20年度卒業生が入学時より卒業までに履修した科目について作成して下さい。

本学では前期・後期の各学期に試験等（筆記試験、口述試験及び論文試験）を実施し、授業への出席状況等を総合的に評価し、単位認定を行っている。そのため試験は原則として授業時間内に実施し、レポート提出・作品提出・平常点をもって、試験に代えることもある。また、定期試験期間を設けていないため、全学的な追試験及び再試験期間も設定していない。病気その他やむを得ない理由で試験を欠席した場合は、後日、授業担当者の指導を受けることとなっている。

試験の成績は秀・優・良・可・不可の5級に分け、秀・優・良・可を合格、不可を不合格としている。ただし、授業科目により合・否の2級に分け、合を合格、否を不合格としている。成績の評価基準は下記のとおり定め、学生便覧に明記している。

合格	秀	100～90点（当該科目履修者の5%以内）
	優	100～80点
	良	79～70点
	可	69～60点
不合格		59～0点

なお、本学の学生が他の短期大学または大学において修得した単位を、教育上有益と認めるときは、30単位を超えない範囲で、これを本学において修得したものとみなすことができる。

平成20年度卒業生単位認定状況(保育科)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)	秀	優	良	可	合	不可	備考	
共通科目	ジェンダー論	講義	326	平常点・レポート	99.08	2.46	96.32	0.31	0.00	0.00	0.92	栄養科と合同	
	家政学原論	講義	1	筆記試験・レポート提出・平常点	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	短1保育	
	哲学	講義	3	レポート・平常点	66.66	0.00	66.67	0.00	0.00	0.00	33.34	短1保育	
	文学と人間	講義	50	筆記試験・平常点	100	4.00	90.00	6.00	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	文学と人間	講義	45		97.77	4.45	88.89	4.45	0.00	0.00	2.23	短1保育CD	
	日本国憲法	講義	108	小テスト・レポート・記述試験・平常点	99.07	4.62	92.59	1.86	0	0	0.93	短2保育AB	
	日本国憲法	講義	105		99.04	2.85	68.57	22.86	4.76	0	0.96	短2保育CD	
	現代社会の心理学	講義	54	復習テスト・平常点	100	3.71	96.30	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	現代社会の心理学	講義	61		96.72	4.92	91.81	0.00	0.00	0.00	3.28	短1保育CD	
	日本の歴史	講義	51	試験・平常点	98.04	3.92	94.12	0	0	0	1.96	短2栄養 服美と合同	
	音楽の世界	講義	46	演奏・レポート	97.82	4.35	93.48	0.00	0.00	0.00	2.18	短1保育	
	美の世界	講義	1	試験・レポート・平常点	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	短1保育	
	家族関係学	講義	123	筆記試験・レポート・平常点	95.93	4.88	48.78	22.77	19.52	0.00	4.07	短1保育	
	生活経営学	講義	3		100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	生活経営学	講義	11	試験・平常点	100	0.00	90.91	9.09	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	生活者経済学	講義	33		93.94	0.00	21.22	57.58	15.16	0.00	6.06	短1保育	
	生命科学	講義	10	最終テスト・小テスト	90	0.00	90.00	0.00	0.00	0.00	10.00	短1保育	
	英語コミュニケーションⅠ	演習	54	定期試験・グループプレゼンテーション・平常点	100	0.00	72.23	22.23	5.56	0.00	0.00	短1保育A	
	英語コミュニケーションⅠ	演習	52		100	0.00	75.00	19.23	5.77	0.00	0.00	短1保育C	
	英語コミュニケーションⅠ	演習	54	期末テスト・小テスト・平常点	100	3.71	85.19	9.26	1.86	0.00	0.00	短1保育B	
	英語コミュニケーションⅠ	演習	55		98.18	3.64	89.09	1.82	3.64	0.00	1.82	短1保育D	
	英語コミュニケーションⅡ	演習	54	定期試験・グループディスカッション・平常点	100	1.86	85.19	12.97	0.00	0.00	0.00	短1保育A	
	英語コミュニケーションⅡ	演習	52		98.07	0.00	71.16	26.93	0.00	0.00	1.93	短1保育C	
	英語コミュニケーションⅡ	演習	54	期末テスト・小テスト・平常点	98.14	3.71	77.78	12.97	3.71	0.00	1.86	短1保育B	
	英語コミュニケーションⅡ	演習	55		98.18	3.64	83.64	9.09	1.82	0.00	1.82	短1保育D	
	パソコン基礎	演習	55	課題・平常点	100	3.64	92.73	3.64	0.00	0.00	0.00	短1保育A	
	パソコン基礎	演習	54		100	3.71	92.60	3.71	0.00	0.00	0.00	短1保育B	
	パソコン基礎	演習	52		100	3.85	92.31	3.85	0.00	0.00	0.00	短1保育C	
	パソコン基礎	演習	55		98.18	3.64	92.73	1.82	0.00	0.00	1.82	短1保育D	
	パソコン応用	演習	4	課題・平常点	100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育A	
	パソコン応用	演習	16		100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育B	
	パソコン応用	演習	5		80	0.00	80.00	0.00	0.00	0.00	20.00	短1保育C	
	パソコン応用	演習	6		83.33	0.00	83.34	0.00	0.00	0.00	16.67	短1保育D	
	からだとスポーツ	実習	53		100	3.78	92.46	3.78	0.00	0.00	0.00	短1保育A	
	からだとスポーツ	実習	54	技能・平常点	100	3.71	94.45	1.86	0.00	0.00	0.00	短1保育B	
	からだとスポーツ	実習	52		98.07	3.85	94.23	0.00	0.00	0.00	1.93	短1保育C	
	からだとスポーツ	実習	55		96.36	3.64	92.73	0.00	0.00	0.00	3.64	短1保育D	
	からだとスポーツ	実習	45	平常点	100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養科服飾 美術科と合同	
	体育と健康	講義	52	レポート・提出物・テスト・グループワークでの発表	98.07	3.85	94.23	0.00	0.00	0.00	1.93	短1保育C	
	体育と健康	講義	54		96.29	3.71	53.71	25.93	12.97	0.00	3.71	短1保育A	
	体育と健康	講義	54		98.14	0.00	42.60	53.71	1.86	0.00	1.86	短1保育B	
	体育と健康	講義	55	レポート・提出物・テスト	98.18	0.00	89.09	9.09	0.00	0.00	1.82	短1保育D	
	専門教育科目	発達心理学	講義	109	最終試験・課題・平常点	100	4.59	94.50	0.92	0.00	0.00	0.00	短1保育AB
		発達心理学	講義	107		98.13	4.68	92.53	0.94	0.00	0.00	1.87	短1保育CD
		児童福祉	講義	109	学期末試験・レポート・平常点	99.08	2.76	23.86	55.05	17.44	0.00	0.92	短1保育AB
児童福祉		講義	107		98.13	0.94	13.09	57.95	26.17	0.00	1.87	短1保育CD	
小児保健Ⅰ		講義	110	筆記試験・小テスト・レポート・平常点	98.18	0.00	70.00	20.91	7.28	0.00	1.82	短1保育AB	
小児保健Ⅰ		講義	107		98.13	0.00	65.42	27.11	5.61	0.00	1.87	短1保育CD	
保育原理		講義	109	最終試験・課題	99.08	4.59	94.50	0.00	0.00	0.00	0.92	短1保育AB	
保育原理		講義	107		98.13	4.68	93.46	0.00	0.00	0.00	1.87	短1保育CD	
児童文化		講義	109	レポート	100	4.59	57.80	33.03	4.59	0.00	0.00	短1保育AB	
児童文化		講義	108		97.22	2.78	38.89	50.93	4.63	0.00	2.78	短1保育CD	
児童文化実践演習B		演習	12	作品の発表・レポート	100	0	100	0	0	0	0	短2保育	
器楽表現実践演習A		演習	17	実技試験・レポート・平常点	100	5.88	41.17	52.95	0	0	0	短2保育	
器楽表現実践演習B		演習	17	実技試験・レポート・平常点	100	0	58.83	41.17	0	0	0	短2保育	
音楽表現実践演習A		演習	22	平常点	100	0	100	0	0	0	0	短2保育	
音楽表現実践演習B		演習	20	創作作品・レポート・平常点	100	0	95.00	5	0	0	0	短2保育	
造形表現実践演習A		演習	19	作品評価・平常点	100	0	100	0	0	0	0	短2保育	
造形表現実践演習B		演習	20	作品・レポート・平常点	100	5	95.00	0	0	0	0	短2保育	
演劇表現実践演習A		演習	18	レポート・平常点	94.44	0	16.66	77.78	0	0	5.56	短2保育	
幼児体育実践演習		演習	18	レポート・平常点	100	0	94.44	5.56	0	0	0	短2保育	
乳児保育実践演習		演習	18	レポート・平常点	100	0	100	0	0	0	0	短2保育	

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)	秀	優	良	可	合	不可	備考		
専門教育科目	育児支援実践演習	演習	18	レポート・平常点	94.44	5.56	88.88	0	0	0	5.56	短2保育		
	パソコン実践演習	演習	13	課題・平常点	100	0	100	0	0	0	0	短2保育		
	国語表現	講義	63	作品・レポート・発表	71.42	0	71.42	0	0	0	28.58	短2保育AB		
	国語表現	講義	63		71.42	0	71.42	0	0	0	28.58	短2保育AB		
	国語表現	講義	31		87.09	0	77.41	9.68	0	0	12.91	短2保育CD		
	国語表現	講義	31		87.09	0	77.41	9.68	0	0	12.91	短2保育CD		
	児童文化演習	演習	55		100	3.64	83.63	10.91	1.82	0	0	0	短2保育A	
	児童文化演習	演習	42	課題・各発表についてのコメント シート・レポート・平常点	97.62	2.38	90.47	4.77	0	0	2.38	短2保育B		
	児童文化演習	演習	44		97.73	0	93.18	2.27	2.28	0	2.27	短2保育C		
	児童文化演習	演習	53		100	0	73.59	26.41	0	0	0	0	短2保育D	
	児童演劇演習	演習	33	レポート・実技・平常点	69.69	3.02	66.67	0	0	0	30.31	短2保育		
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	8	初心者でバイエル100番で単位 認定・平常点	100	0.00	75.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	44.45	55.56	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	44.45	44.45	11.12	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	10		100	0.00	50.00	30.00	20.00	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	10		100	10.00	70.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	11.12	33.34	55.56	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		88.88	0.00	66.67	22.23	0.00	0.00	0.00	11.12	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	55.56	44.45	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	8		100	0.00	75.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		88.88	0.00	33.34	44.45	11.12	0.00	11.12	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	8		100	0.00	37.50	62.50	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	11.12	66.67	22.23	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	55.56	44.45	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	44.45	33.34	22.23	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	33.34	66.67	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		88.88	0.00	33.34	44.45	11.12	0.00	11.12	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	10		100	0.00	70.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	88.89	11.12	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	11.12	77.78	11.12	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		88.88	0.00	33.34	55.56	0.00	0.00	11.12	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	55.56	33.34	11.12	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	10		100	0.00	70.00	20.00	10.00	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	9		100	0.00	66.67	33.34	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育AB	
	音楽Ⅰ(器楽)	演習	8		100	0.00	50.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育CD	
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	7		チュルニー30番の5番以上の進 度と実技試験	85.71	0	28.57	57.14	0	0	14.29	短2保育AB	
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	8			100	0	25.00	25	50	0	0	0	短2保育CD
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	7			100	0	28.58	71.42	0	0	0	0	短2保育AB
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	7			100	0	57.14	14.28	28.58	0	0	0	短2保育CD
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	10			90.00	0	70.00	20	0	0	10.00	0	短2保育AB
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	9			100	0	66.67	22.21	11.12	0	0	0	短2保育CD
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	7			100	0	57.14	42.86	0	0	0	0	短2保育AB
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	6			100	0	83.34	16.66	0	0	0	0	短2保育CD
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	6			100	0	50.00	50	0	0	0	0	短2保育CD
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	6			100	0	66.66	33.34	0	0	0	0	短2保育AB
	音楽Ⅱ(器楽)	演習	9			77.78	0	44.45	33.33	0	0	22.22	0	短2保育AB
音楽Ⅱ(器楽)	演習	7	100			0	85.71	14.29	0	0	0	0	短2保育CD	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	9	100			0	44.45	44.43	11.12	0	0	0	短2保育AB	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	9	100			0	55.56	44.44	0	0	0	0	短2保育CD	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	9	88.88			0	44.44	44.44	0	0	11.12	0	短2保育AB	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	9	100			0	44.44	55.56	0	0	0	0	短2保育CD	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	8	100			0	100	0	0	0	0	0	短2保育AB	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	4	100			0	100	0	0	0	0	0	短2保育CD	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	9	88.89			0	22.22	66.67	0	0	11.11	0	短2保育AB	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	8	100			0	37.50	62.5	0	0	0	0	短2保育CD	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	9	100			0	55.56	44.44	0	0	0	0	短2保育AB	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	8	100			0	75.00	25	0	0	0	0	短2保育CD	
音楽Ⅱ(器楽)	演習	9	88.89	0		55.56	22.22	11.11	0	11.11	0	短2保育AB		
音楽Ⅱ(器楽)	演習	7	100	0		42.85	42.86	14.29	0	0	0	短2保育CD		
造形	演習	52	作品・平常点	98.07		0.00	78.85	19.23	0.00	0.00	1.93	0.00	短1保育C	
造形	演習	55		98.18		0.00	78.19	20.00	0.00	0.00	1.82	0.00	短1保育D	
造形	演習	55	作品の製作過程・提出作品・平常点	100		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育A	
造形	演習	54		100		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育B	

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)	秀	優	良	可	合	不可	備考
専門 教育 科目	幼児音楽	講義	44	試験・平常点	97.72	0.00	93.19	4.55	0.00	0.00	2.28	短1保育AB
	幼児音楽	講義	48		97.91	0.00	97.92	0.00	0.00	0.00	2.09	短1保育CD
	体育(リズム)	演習	55	小課題テスト・平常点	98.18	0.00	80.00	10.91	7.28	0.00	1.82	短1保育A
	体育(リズム)	演習	54		96.29	0.00	81.49	9.26	5.56	0.00	3.71	短1保育B
	体育(リズム)	演習	52		96.15	0.00	80.77	7.70	7.70	0.00	3.85	短1保育C
	体育(リズム)	演習	55		96.36	0.00	81.82	10.91	3.64	0.00	3.64	短1保育D
	乳児保育	講義	109	筆記試験・平常点	99.08	3.67	58.72	34.87	1.84	0.00	0.92	短1保育AB
	乳児保育	講義	107		98.13	2.81	61.69	31.78	1.87	0.00	1.87	短1保育CD
	保育方法論	講義	4	レポート・平常点	100	0	0	100	0	0	0	短2保育AB
	保育方法論	講義	19		100	0	78.95	21.05	0	0	0	短2保育CD
	自然研究	講義	7	筆記試験・スケッチ・平常点	85.71	14.29	71.43	0.00	0.00	0.00	14.29	短1保育
	乳児保育演習	演習	55	テスト・レポート作品。平常点	100	1.82	65.45	32.73	0	0	0	短2保育A
	乳児保育演習	演習	53		98.12	3.78	81.13	13.21	0	0	1.88	短2保育B
	乳児保育演習	演習	51		98.04	3.93	74.51	17.64	1.96	0	1.96	短2保育C
	乳児保育演習	演習	53		100	1.89	73.58	24.53	0	0	0	短2保育D
	乳幼児心理学演習	演習	55	課題の選択・研究の過程・発表・討議への参加・レポート	100	0	85.46	12.72	1.82	0	0	短2保育A
	乳幼児心理学演習	演習	52		98.07	0	98.07	0	0	0	1.93	短2保育B
	乳幼児心理学演習	演習	48		97.91	0	93.74	4.17	0	0	2.09	短2保育C
	乳幼児心理学演習	演習	40		100	0	75.00	17.5	7.5	0	0	短2保育D
	保育内容総論	演習	55	レポート・平常点	100	3.64	89.08	7.28	0	0	0	短2保育A
	保育内容総論	演習	53		98.12	3.78	79.24	15.1	0	0	1.88	短2保育B
	保育内容総論	演習	51		100	3.93	80.38	15.69	0	0	0	短2保育C
	保育内容総論	演習	53		100	3.77	81.13	15.1	0	0	0	短2保育D
	保育実践演習	演習	12	平常点	33.34	0	33.34	0	0	0	66.66	短2保育
	小児保健Ⅱ	講義	80	提出物・試験・平常点	97.50	2.5	26.25	45	23.75	0	2.50	短2保育AB
	小児保健Ⅱ	講義	65		98.46	0	35.38	41.54	21.54	0	1.54	短2保育CD
	小児栄養学演習	演習	55	筆記試験・レポート・平常点	100	1.81	43.63	27.28	27.28	0	0	短2保育A
	小児栄養学演習	演習	53		98.11	0	41.51	39.62	16.98	0	1.89	短2保育B
	小児栄養学演習	演習	51		98.04	0	31.38	43.14	23.52	0	1.96	短2保育C
	小児栄養学演習	演習	53		100	0	43.40	26.41	30.19	0	0	短2保育D
	障害児保育演習	演習	55	レポート・平常点	100	0	92.73	5.45	1.82	0	0	短2保育A
	障害児保育演習	演習	53		98.11	0	96.22	1.89	0	0	1.89	短2保育B
	障害児保育演習	演習	52		96.15	0	90.38	5.77	0	0	3.85	短2保育C
	障害児保育演習	演習	53		100	0	94.34	5.66	0	0	0	短2保育D
	精神保健	講義	108	レポート・平常点	98.15	0	0	0.93	97.22	0	1.85	短2保育AB
	精神保健	講義	105		98.09	0	0	0	98.09	0	1.91	短2保育CD
	臨床心理学演習	演習	55	レポート・平常点	100	0	81.82	18.18	0	0	0	短2保育A
	臨床心理学演習	演習	51		98.04	0	96.08	1.96	0	0	1.96	短2保育B
	臨床心理学演習	演習	52		100	0	57.69	40.38	1.93	0	0	短2保育C
	臨床心理学演習	演習	43		100	0	90.70	9.3	0	0	0	短2保育D
	育児相談演習	演習	31	レポート・平常点	87.09	3.23	83.86	0	0	0	12.91	短2保育
	養護原理Ⅰ	講義	107	筆記試験・小テスト・平常点	98.13	2.81	60.75	34.58	0.00	0.00	1.87	短1保育CD
	養護原理Ⅱ	講義	101	学期末試験・レポート・平常点	99.01	0	43.56	38.61	16.84	0	0.99	短2保育AB
	養護原理Ⅱ	講義	64		100	0	18.75	50	31.25	0	0	短2保育CD
	社会福祉援助技術演習	演習	55	学期末試験・レポート・平常点	100	0	40.00	43.64	16.36	0	0	短2保育A
	社会福祉援助技術演習	演習	53		98.11	1.89	37.73	49.05	9.44	0	1.89	短2保育B
	社会福祉援助技術演習	演習	51		98.04	1.96	31.38	50.97	13.73	0	1.96	短2保育C
	社会福祉援助技術演習	演習	53		100	0	24.53	45.28	30.19	0	0	短2保育D
	養護内容演習	演習	55	レポート・平常点	100	0	98.19	1.81	0	0	0	短2保育A
	養護内容演習	演習	53		98.11	0	98.11	0	0	0	1.89	短2保育B
養護内容演習	演習	51	98.04		0	96.08	0	1.96	0	1.96	短2保育C	
養護内容演習	演習	53	100		0	98.12	1.88	0	0	0	短2保育D	
児童福祉演習	演習	25	レポート・平常点	48.00	0	36.00	12	0	0	52.00	短2保育A	
児童福祉演習	演習	34		73.53	0	44.12	29.41	0	0	26.47	短2保育B	
児童福祉演習	演習	38		84.21	0	57.90	26.31	0	0	15.79	短2保育C	
児童福祉演習	演習	44		65.92	4.55	43.18	18.19	0	0	34.08	短2保育D	
小児保健実習	実習	55	レポート・ノート提出・平常点	100	0.00	98.19	1.82	0.00	0.00	0.00	短1保育A	
小児保健実習	実習	54		98.14	0.00	94.45	1.86	1.86	0.00	1.86	短1保育B	
小児保健実習	実習	52		98.07	0.00	92.31	5.77	0.00	0.00	1.93	短1保育C	
小児保健実習	実習	55		98.18	0.00	92.73	3.64	1.82	0.00	1.82	短1保育D	
保育実習指導	実習	55	課題・レポート・報告会での発表・平常点	100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育A	
保育実習指導	実習	54		98.14	0.00	98.15	0.00	0.00	0.00	1.86	短1保育B	
保育実習指導	実習	52		98.07	0.00	98.08	0.00	0.00	0.00	1.93	短1保育C	
保育実習指導	実習	55		98.18	0.00	98.19	0.00	0.00	0.00	1.82	短1保育D	

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)	秀	優	良	可	合	不可	備考
教職に関する科目	保育実習Ⅰ	実習	216	実習先評価・実習日誌・レポート・平常点	—	—	—	—	—	—	—	2年連続科目のため評価なし
	保育実習Ⅰ	実習	212		99.05	0	75.94	23.11	0	0	0.95	短2保育
	保育実習Ⅱ	実習	202	実習園の評価・課題・レポート・報告	99.01	0	59.90	39.11	0	0	0.99	短2保育
教職に関する科目	保育実習Ⅲ	実習	10		100	0	40.00	60	0	0	0	短2保育
	教職基礎論	講義	109	提出物・班学習・平常点	99.08	4.59	93.58	0.92	0.00	0.00	0.92	短1保育AB
	教職基礎論	講義	107		98.13	2.81	93.46	1.87	0.00	0.00	1.87	短1保育CD
	教育概論Ⅰ	講義	109	筆記試験・平常点	100	0.00	55.05	34.87	10.10	0.00	0.00	短1保育AB
	教育概論Ⅰ	講義	107		98.13	0.00	87.85	10.28	0.00	0.00	1.87	短1保育CD
	教育概論Ⅱ	講義	1		0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	短1保育AB
	教育概論Ⅱ	講義	3		33.33	0.00	33.34	0.00	0.00	0.00	66.67	短1保育CD
	教育心理論	講義	108	筆記試験・平常点	99.08	0	94.45	3.71	0.92	0	0.92	短2保育AB
	教育心理論	講義	104		99.03	0	93.26	4.8	0.97	0	0.97	短2保育CD
	教育技術論	講義	109	総合的評価	99.08	0.00	79.82	18.35	0.92	0.00	0.92	短1保育AB
	教育技術論	講義	107		98.13	0.00	85.05	10.28	2.81	0.00	1.87	短1保育CD
	保育課程論	講義	109	指導案の提出・筆記試験	99.08	0.00	47.71	41.29	10.10	0.00	0.92	短1保育AB
	保育課程論	講義	107		98.13	0.00	64.49	32.71	0.94	0.00	1.87	短1保育CD
	保育内容の研究(健康)	演習	55	レポート・小テスト・平常点	100	0	87.28	9.08	3.64	0	0	短2保育A
	保育内容の研究(健康)	演習	53		98.11	0	88.67	7.55	1.89	0	1.89	短2保育B
	保育内容の研究(健康)	演習	51		98.04	1.96	88.23	5.89	1.96	0	1.96	短2保育C
	保育内容の研究(健康)	演習	53		100	0	86.79	9.44	3.77	0	0	短2保育D
	保育内容の研究(人間関係)	演習	55	レポート・平常点	100	3.64	92.73	3.64	0.00	0.00	0.00	短1保育A
	保育内容の研究(人間関係)	演習	54		100	3.71	96.30	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育B
	保育内容の研究(人間関係)	演習	52		98.07	3.85	94.23	0.00	0.00	0.00	1.93	短1保育C
	保育内容の研究(人間関係)	演習	55		98.18	3.64	94.55	0.00	0.00	0.00	1.82	短1保育D
	保育内容の研究(環境)	演習	55	筆記試験・レポート・スケッチブック・平常点	100	3.64	96.36	0	0	0	0	短2保育A
	保育内容の研究(環境)	演習	53		98.11	3.78	94.33	0	0	0	1.89	短2保育B
	保育内容の研究(環境)	演習	51		98.04	3.93	94.11	0	0	0	1.96	短2保育C
	保育内容の研究(環境)	演習	53		100	3.78	96.22	0	0	0	0	短2保育D
	保育内容の研究(ことば)	演習	55	レポート・小テスト	100	0	100	0	0	0	0	短2保育A
	保育内容の研究(ことば)	演習	53		98.11	0	94.33	3.78	0	0	1.89	短2保育B
	保育内容の研究(ことば)	演習	51		98.04	0	90.20	7.84	0	0	1.96	短2保育C
	保育内容の研究(ことば)	演習	53		100	0	96.22	3.78	0	0	0	短2保育D
	保育内容の研究(表現Ⅰ)	演習	55	筆記試験・作品提出・レポート・平常点	100	3.64	94.54	1.82	0	0	0	短2保育A
	保育内容の研究(表現Ⅰ)	演習	53		98.11	3.78	83.01	11.32	0	0	1.89	短2保育B
	保育内容の研究(表現Ⅰ)	演習	51		100	0	84.32	11.75	3.93	0	0	短2保育C
	保育内容の研究(表現Ⅰ)	演習	53		100	3.78	88.67	7.55	0	0	0	短2保育D
	保育内容の研究(表現Ⅱ)	演習	55	筆記試験・レポート・作品・平常点	100	1.82	92.73	5.46	0.00	0.00	0.00	短1保育A
	保育内容の研究(表現Ⅱ)	演習	54		98.14	0.00	90.74	7.41	0.00	0.00	1.86	短1保育B
	保育内容の研究(表現Ⅱ)	演習	52		98.07	3.85	92.31	1.93	0.00	0.00	1.93	短1保育C
	保育内容の研究(表現Ⅱ)	演習	55		98.18	3.64	85.46	7.28	1.82	0.00	1.82	短1保育D
	保育内容の研究(表現Ⅲ)	演習	50	レポート・実技・平常点	96.00	0	80.00	16	0	0	4.00	短2保育A
	保育内容の研究(表現Ⅲ)	演習	32		96.87	0	68.74	28.13	0	0	3.13	短2保育B
	保育内容の研究(表現Ⅲ)	演習	44		97.73	0	70.45	27.28	0	0	2.27	短2保育C
	保育内容の研究(表現Ⅲ)	演習	47		100	0	78.73	21.27	0	0	0	短2保育D
	幼児理解と援助	講義	108	試験・課題・平常点	98.14	4.62	92.59	0	0.93	0	1.86	短2保育AB
	幼児理解と援助	講義	104		99.04	4.81	89.43	3.84	0.96	0	0.96	短2保育CD
	総合演習	演習	16	実践、平常点も含めて調査内容から報告までの総合評価	100	0	50.00	50	0	0	0	短2保育
	総合演習	演習	21		100	4.77	95.23	0	0	0	0	短2保育
	総合演習	演習	16		100	6.25	93.75	0	0	0	0	短2保育
	総合演習	演習	17		94.12	0	88.24	5.88	0	0	5.88	短2保育
総合演習	演習	18	100		5.56	94.44	0	0	0	0	短2保育	
総合演習	演習	18	100		0	100	0	0	0	0	短2保育	
総合演習	演習	9	100		0	100	0	0	0	0	短2保育	
総合演習	演習	13	100		0	100	0	0	0	0	短2保育	
総合演習	演習	16	100		0	93.75	6.25	0	0	0	短2保育	
総合演習	演習	16	100		0	100	0	0	0	0	短2保育	
総合演習	演習	18	100		0	100	0	0	0	0	短2保育	
総合演習	演習	17	100		0	94.12	5.88	0	0	0	短2保育	
総合演習	演習	17	100		0	100	0	0	0	0	短2保育	
教育実習(幼)	実習	212	実習園評価・実習日誌・レポート・平常点		99.05	1.42	86.31	10.37	0.95	0	0.95	短2保育

平成20年度卒業生単位認定状況(栄養科)

種別	科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)	秀	優	良	可	合	不可	備考		
共通科目	ジェンダー論	講義	326	レポート・平常点	99.08	2.46	96.32	0.31	0.00	0.00	0.92	保育科と合同		
	家政学原論	講義	59	筆記試験・レポート・平常点	91.52	1.70	44.07	44.07	1.70	0.00	8.48	短1栄養AB		
	家政学原論	講義	36	筆記試験・レポート・平常点	100	2.78	61.12	22.23	13.89	0.00	0.00	短1栄養CD		
	哲学	講義	84	レポート・平常点	90.48	4.76	75.00	7.14	3.58	0	9.52	短1保育短2服美と合同		
	文学と人間	講義	39	筆記試験・平常点	97.43	2.57	84.62	10.26	0.00	0.00	2.57	短1栄養		
	日本国憲法	講義	95	記述試験・レポート・小テスト・平常点	100	4.21	84.21	10.52	1.06	0	0	短2栄養		
	現代社会の心理学	講義	58	復習テスト・平常点	100	0.00	82.76	15.52	1.73	0.00	0.00	短1栄養AB		
	現代社会の心理学	講義	25	復習テスト・平常点	100	0.00	76.00	24.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養CD		
	日本の歴史	講義	51	試験・平常点	98.04	3.93	94.11	0	0	0	1.96	短2保育服美と合同		
	家族関係学	講義	36	筆記試験・レポート・平常点	75.00	2.78	8.33	25.00	38.89	0	25.00	短2栄養		
	生活経営学	講義	29	試験・発表・提出物・平常点	86.20	3.45	55.18	27.57	0	0	13.80	短2服美と合同		
	生活者経済学	講義	32	試験・平常点	78.12	0.00	25.00	40.63	12.50	0.00	21.88	短1栄養		
	生命科学	講義	100	小テスト・最終テスト	99	2.00	25.00	67.00	5.00	0.00	1.00	短1栄養		
	化学	講義	77	試験・小テスト・平常点	97.4	3.90	25.98	38.97	28.58	0.00	2.60	短1栄養		
	英語コミュニケーションⅠ	演習	50	小テスト・期末テスト・平常点	100	4.00	64.00	24.00	8.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養D	
	英語コミュニケーションⅠ	演習	49		93.87	2.04	67.35	18.37	6.13	0.00	6.13	短1栄養C		
	英語コミュニケーションⅠ	演習	26		96.15	3.85	84.62	7.70	0.00	0.00	3.85	短1栄養A		
	英語コミュニケーションⅠ	演習	25		96	4.00	84.00	8.00	0.00	0.00	4.00	短1栄養B		
	英語コミュニケーションⅡ	演習	50		98	4.00	48.00	32.00	14.00	0.00	2.00	短1栄養D		
	英語コミュニケーションⅡ	演習	47		85.1	4.26	42.56	31.92	6.39	0.00	14.90	短1栄養C		
	英語コミュニケーションⅡ	演習	13		92.3	7.70	84.62	0.00	0.00	0.00	7.70	短1栄養A		
	英語コミュニケーションⅡ	演習	24		95.83	4.17	87.50	4.17	0.00	0.00	4.17	短1栄養B		
	パソコン基礎	演習	49		課題レポート・平常点	100	4.09	91.84	4.09	0.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養D
	パソコン基礎	演習	43			97.67	4.66	88.38	4.66	0.00	0.00	2.33	短1栄養A	
	パソコン基礎	演習	41	97.56		4.88	87.81	4.88	0.00	0.00	2.44	短1栄養B		
	パソコン基礎	演習	51	96.07		3.93	88.24	3.93	0.00	0.00	3.93	短1栄養C		
	パソコン応用	演習	40	97.5		0.00	70.00	27.50	0.00	0.00	2.50	短1栄養A		
	パソコン応用	演習	38	97.36		0.00	84.21	13.16	0.00	0.00	2.64	短1栄養B		
	パソコン応用	演習	21	95.23		0.00	57.15	28.58	9.53	0.00	4.77	短1栄養D		
	からだとスポーツ	実習	25	課題・レポート・平常点	82.35	0.00	58.83	11.77	11.77	0.00	17.65	短1栄養C		
	からだとスポーツ	実習	92		100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養AB	
	からだとスポーツ	実習	45		98.91	4.35	89.13	4.35	1.09	0.00	1.09	短1栄養CD		
	からだとスポーツ	実習	45		100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	保育科服飾美術科と合同	
	体育と健康	講義	46	レポート・提出物・テスト	100	4.35	30.44	65.22	0.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養D	
	体育と健康	講義	11		100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養A	
	体育と健康	講義	11		100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養B	
	体育と健康	講義	49		89.79	2.04	79.60	8.17	0.00	0.00	10.21	短1栄養C		
	専門教育科目	生物有機化学	講義	101	筆記試験・宿題・レポート	96.04	0.00	31.69	34.66	29.71	0.00	3.96	短1栄養CD	
		生物有機化学	講義	89		78.65	0.00	4.50	16.86	57.31	0.00	21.35	短1栄養AB	
		食生活論	講義	88	筆記試験・レポート・平常点	98.86	3.41	31.82	62.50	1.14	0.00	1.14	短1栄養AB	
		食生活論	講義	101		99.01	1.98	44.56	52.48	0.00	0.00	0.99	短1栄養CD	
		病理学	講義	85	試験・平常点	98.82	1.18	28.24	47.05	22.35	0	1.18	短2栄養AB	
		病理学	講義	98		100	1.02	38.78	43.87	16.33	0	0	短2栄養CD	
		健康管理学概論	講義	184	記述試験	98.91	2.72	27.72	27.17	41.30	0	1.09	短2栄養	
		公衆衛生学Ⅰ	講義	85	試験・平常点	98.82	4.71	35.29	40.00	18.82	0	1.18	短2栄養AB	
		公衆衛生学Ⅰ	講義	98		100	4.09	35.71	45.92	14.28	0	0	短2栄養CD	
		公衆衛生学Ⅱ	講義	86	期末試験・中間試験・平常点	97.67	4.66	24.41	26.75	41.85	0	2.33	短2栄養AB	
公衆衛生学Ⅱ		講義	98	98.98		3.07	32.65	24.49	38.77	0	1.02	短2栄養CD		
解剖生理学Ⅰ		講義	87	筆記試験・平常点	97.7	4.60	18.39	65.52	9.20	0.00	2.30	短1栄養AB		
解剖生理学Ⅰ		講義	101		96.04	4.95	21.79	65.35	3.96	0.00	3.96	短1栄養CD		
解剖生理学Ⅱ		講義	85	筆記試験・レポート・平常点	97.64	2.36	15.29	23.52	56.47	0	2.36	短2栄養AB		
解剖生理学Ⅱ		講義	98		98.98	2.04	14.28	20.41	62.25	0	1.02	短2栄養CD		
解剖生理学実験		実習	42	レポート・試験・平常点	100	0	47.62	38.09	14.29	0	0	短2栄養A		
解剖生理学実験		実習	43		97.67	2.33	27.90	41.85	25.59	0	2.33	短2栄養B		
解剖生理学実験		実習	47		100	0	36.17	25.53	38.30	0	0	短2栄養C		
解剖生理学実験		実習	50		98.00	2.00	20.00	38.00	38.00	0	2.00	短2栄養D		
生化学概論		講義	87		試験・平常点	87.35	0.00	52.88	25.29	9.20	0.00	12.65	短1栄養AB	
生化学概論		講義	102	94.11		0.00	64.71	20.59	8.83	0.00	5.89	短1栄養CD		
生体分子代謝学		講義	88	93.18		0.00	36.37	22.73	34.09	0.00	6.82	短1栄養AB		
生体分子代謝学		講義	103	95.14		0.00	69.91	9.71	15.54	0.00	4.86	短1栄養CD		
生化学実験		実習	45	95.55		0.00	44.45	42.23	8.89	0.00	4.45	短1栄養B		
生化学実験		実習	51	レポート・試験・平常点	92.15	3.93	35.30	39.22	13.73	0.00	7.85	短1栄養C		
生化学実験		実習	50		100	4.00	34.00	52.00	10.00	0.00	0.00	短1栄養D		
生化学実験		実習	44		97.72	0.00	93.19	4.55	0.00	0.00	2.28	短1栄養A		
食品学総論	講義	88	定期試験・中間試験・レポート・平常点	97.72	4.55	55.69	19.32	18.19	0.00	2.28	短1栄養AB			
食品学総論	講義	101		94.06	2.97	30.70	36.64	23.77	0.00	5.94	短1栄養CD			

種別	科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)	秀	優	良	可	合	不可	備考	
専門教育科目	食品学各論	講義	86	試験	98.83	4.66	62.79	11.62	19.76	0	1.17	短2栄養AB	
	食品学各論	講義	98		100	2.04	31.64	33.67	32.65	0	0	短2栄養CD	
	食品化学実験Ⅰ	実習	46		84.78	2.18	26.09	30.44	26.09	0.00	15.22	短1栄養B	
	食品化学実験Ⅰ	実習	44		97.72	2.28	68.19	27.28	0.00	0.00	2.28	短1栄養A	
	食品化学実験Ⅰ	実習	50		100	4.00	48.00	34.00	14.00	0.00	0.00	短1栄養D	
	食品化学実験Ⅰ	実習	51		92.15	0.00	37.26	27.45	27.45	0.00	7.85	短1栄養C	
	食品化学実験Ⅱ	実習	39		100	0	46.15	46.15	7.70	0	0	短2栄養A	
	食品化学実験Ⅱ	実習	31		83.87	3.23	51.61	19.35	9.68	0	16.13	短2栄養B	
	食品化学実験Ⅱ	実習	36		91.66	0	61.11	16.67	13.88	0	8.34	短2栄養C	
	食品化学実験Ⅱ	実習	28		96.42	0	67.85	25.00	3.57	0	3.58	短2栄養D	
	食品衛生学	講義	86	筆記試験	98.83	2.33	53.48	29.06	13.96	0	1.17	短2栄養AB	
	食品衛生学	講義	98		100	4.09	57.14	16.32	22.45	0	0	短2栄養CD	
	食品衛生学実験	実習	44		100	0	40.91	31.81	27.28	0	0	短2栄養A	
	食品衛生学実験	実習	43		97.67	2.33	39.53	44.18	11.63	0	2.33	短2栄養B	
	食品衛生学実験	実習	47		100	0	8.51	63.83	27.66	0	0	短2栄養C	
	食品衛生学実験	実習	50		98.00	4.00	40.00	30.00	24.00	0	2.00	短2栄養D	
	食品加工学(実習を含む)	講義	39		100	2.57	71.79	25.64	0	0	0	短2栄養A	
	食品加工学(実習を含む)	講義	31		96.77	3.23	70.96	19.35	3.23	0	3.23	短2栄養B	
	食品加工学(実習を含む)	講義	36		91.66	2.76	77.78	5.56	5.56	0	8.34	短2栄養C	
	食品加工学(実習を含む)	講義	29		89.65	3.45	75.86	0	10.34	0	10.35	短2栄養D	
	栄養学総論	講義	87	定期試験	98.85	4.60	39.08	29.89	25.29	0.00	1.15	短1栄養AB	
	栄養学総論	講義	103		96.11	3.89	55.34	25.25	11.65	0.00	3.89	短1栄養CD	
	栄養学各論	講義	88	試験・レポート・平常点	86.36	0.00	46.59	21.59	18.19	0.00	13.64	短1栄養AB	
	栄養学各論	講義	102		95.09	0.98	33.34	36.28	24.51	0.00	4.91	短1栄養CD	
	栄養学各論実習	実習	43		100	0	88.37	11.63	0	0	0	短2栄養A	
	栄養学各論実習	実習	43		97.67	0	88.37	4.65	4.65	0	2.33	短2栄養B	
	栄養学各論実習	実習	47		100	4.26	68.08	23.40	4.26	0	0	短2栄養C	
	栄養学各論実習	実習	50		100	4.00	54.00	30.00	12.00	0	0	短2栄養D	
	臨床栄養学総論	講義	85		98.82	1.18	62.35	31.76	3.53	0	1.18	短2栄養AB	
	臨床栄養学総論	講義	98		100	2.04	56.12	38.78	3.06	0	0	短2栄養CD	
	臨床栄養学各論	講義	85		98.82	3.53	36.46	49.41	9.42	0	1.18	短2栄養AB	
	臨床栄養学各論	講義	98		98.98	2.04	27.55	53.07	16.32	0	1.02	短2栄養CD	
	臨床栄養学実習	実習	43	筆記試験・レポート・平常点	100	2.33	76.74	20.93	0	0	0	短2栄養A	
	臨床栄養学実習	実習	43		100	2.33	76.75	20.92	0	0	0	短2栄養A	
	臨床栄養学実習	実習	43		97.67	0	6.98	39.53	51.16	0	2.33	短2栄養B	
	臨床栄養学実習	実習	43		97.67	0	6.98	39.53	51.16	0	2.33	短2栄養B	
	臨床栄養学実習	実習	48		100	0	18.75	58.34	22.91	0	0	短2栄養C	
	臨床栄養学実習	実習	48		100	0	18.75	58.34	22.91	0	0	短2栄養C	
	臨床栄養学実習	実習	50		100	2.00	74.00	22.00	2.00	0	0	短2栄養D	
	臨床栄養学実習	実習	50		100	2.00	74.00	22.00	2.00	0	0	短2栄養D	
	栄養指導論	講義	89		試験・提出物・平常点	95.5	4.50	33.71	56.18	1.13	0.00	4.50	短1栄養AB
	栄養指導論	講義	101			96.04	4.95	51.49	22.78	16.84	0.00	3.96	短1栄養CD
	栄養指導実習	実習	45	試験・レポート・発表内容・平常点	95.55	2.23	31.12	46.67	15.56	0.00	4.45	短1栄養A	
	栄養指導実習	実習	44		97.72	4.55	27.28	43.19	22.73	0.00	2.28	短1栄養B	
	栄養指導実習	実習	51		92.15	3.93	23.53	29.42	35.30	0.00	7.85	短1栄養C	
	栄養指導実習	実習	50		86	2.00	22.00	36.00	26.00	0.00	14.00	短1栄養D	
	栄養カウンセリング論	講義	86		98.83	3.49	20.93	69.76	4.65	0	1.17	短2栄養AB	
	栄養カウンセリング論	講義	97	100	4.13	41.24	52.57	2.06	0	0	短2栄養CD		
	栄養カウンセリング実習	実習	43	試験・課題レポート・平常点	100	0	53.49	44.18	2.33	0	0	短2栄養A	
	栄養カウンセリング実習	実習	43		100	0	53.49	44.18	2.33	0	0	短2栄養A	
栄養カウンセリング実習	実習	43	97.67		0	32.56	65.11	0	0	2.33	短2栄養B		
栄養カウンセリング実習	実習	43	97.67		0	32.56	65.11	0	0	2.33	短2栄養B		
栄養カウンセリング実習	実習	47	100		0	46.81	40.43	12.76	0	0	短2栄養C		
栄養カウンセリング実習	実習	47	100		0	46.81	40.43	12.76	0	0	短2栄養C		
栄養カウンセリング実習	実習	50	100		4.00	52.00	34.00	10.00	0	0	短2栄養D		
栄養カウンセリング実習	実習	50	100		4.00	52.00	34.00	10.00	0	0	短2栄養D		
公衆栄養学	講義	86	筆記試験・平常点		98.83	0	34.89	30.23	33.71	0	1.17	短2栄養AB	
公衆栄養学	講義	98			98.98	1.02	39.80	29.59	28.57	0	1.02	短2栄養CD	
給食管理学	講義	88	定期試験・提出物	97.72	3.41	31.82	36.37	26.14	0.00	2.28	短1栄養AB		
給食管理学	講義	101		97.03	1.98	16.84	26.74	51.49	0.00	2.97	短1栄養CD		
給食管理実習	実習	44	提出物・平常点	97.72	2.28	77.28	11.37	6.82	0.00	2.28	短1栄養A		
給食管理実習	実習	44		97.72	4.55	20.46	70.46	2.28	0.00	2.28	短1栄養B		
給食管理実習	実習	51		92.15	3.93	66.67	17.65	3.93	0.00	7.85	短1栄養C		
給食管理実習	実習	50		100	4.00	64.00	20.00	12.00	0.00	0.00	短1栄養D		
給食管理実習	実習	50		100	4.00	64.00	20.00	12.00	0.00	0.00	短1栄養D		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	43	実習ノート・各実習課題・報告・平常点	100	0	69.77	30.23	0	0	0	短2栄養A		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	43		100	0	69.77	30.23	0	0	0	短2栄養A		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	43		97.67	4.66	37.20	55.81	0	0	2.33	短2栄養B		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	43		97.67	4.66	37.20	55.81	0	0	2.33	短2栄養B		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	47		100	4.26	61.70	34.04	0	0	0	短2栄養C		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	47		100	4.26	61.70	34.04	0	0	0	短2栄養C		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	50		100	4.00	46.00	44.00	6.00	0	0	短2栄養D		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	50		100	4.00	46.00	44.00	6.00	0	0	短2栄養D		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	50		100	4.00	46.00	44.00	6.00	0	0	短2栄養D		
栄養士実習(校外実習を含む)	実習	50		100	4.00	46.00	44.00	6.00	0	0	短2栄養D		

種別	科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)	秀	優	良	可	合	不可	備考
専門教育科目	調理学	講義	88	筆記試験・レポート・平常点	98.86	0.00	39.78	40.91	18.19	0.00	1.14	短1栄養AB
	調理学	講義	101	試験・提出物	97.03	4.95	62.38	18.82	10.90	0.00	2.97	短1栄養CD
	調理学実験	実習	44	レポート・平常点	97.72	0.00	40.91	29.55	27.28	0.00	2.28	短1栄養A
	調理学実験	実習	50		100	4.00	70.00	12.00	14.00	0.00	0.00	短1栄養D
	調理学実験	実習	51		94.11	0.00	39.22	27.45	27.45	0.00	5.89	短1栄養C
	調理学実験	実習	44		100	4.55	65.91	27.28	2.28	0.00	0.00	短1栄養B
	調理学実験	実習	44		97.72	0.00	43.19	52.28	2.28	0.00	2.28	短1栄養A
	基礎調理実習	実習	44	筆記試験・レポート・実技試験・平常点	97.72	4.55	47.73	45.46	0.00	0.00	2.28	短1栄養B
	基礎調理実習	実習	50		100	4.00	38.00	46.00	12.00	0.00	0.00	短1栄養D
	基礎調理実習	実習	51		94.11	0.00	27.45	17.65	49.02	0.00	5.89	短1栄養C
	応用調理実習	実習	44		100	4.55	72.73	20.45	2.27	0	0	短2栄養A
	応用調理実習	実習	43		筆記試験・実技試験・レポート・平常点	97.67	4.66	48.84	37.20	6.97	0	2.33
	応用調理実習	実習	47	平常点	100	0	42.56	17.02	40.42	0	0	短2栄養C
	応用調理実習	実習	50		98.00	0	16.00	26.00	56.00	0	2.00	短2栄養D
	フードスペシャリスト論	講義	70		試験・レポート・平常点	100	4.29	48.58	35.71	11.42	0	0
	フードスペシャリスト論	講義	64	93.75		0	29.69	20.32	43.74	0	6.25	短2栄養CD
	フードコーディネータ論	講義	70	100		2.86	28.57	38.57	30.00	0	0	短2栄養AB
	フードコーディネータ論	講義	64	筆記試験・レポート・平常点	95.31	1.57	34.37	34.37	25.00	0	4.69	短2栄養CD
	食品流通経済論	講義	72		98.61	4.17	72.23	5.55	16.66	0	1.39	短2栄養AB
	食品流通経済論	講義	64		95.31	4.69	87.50	3.12	0	0	4.69	短2栄養CD
	食品機能論	講義	70	試験・小テスト	91.42	1.43	18.57	37.14	34.28	0	8.58	短2栄養AB
	食品機能論	講義	64		90.62	3.13	39.06	29.69	18.74	0	9.38	短2栄養CD
	住居学概論	講義	18	筆記試験・実習課題	100	0	33.34	61.10	5.56	0	0	短2栄養
	保育学概論	講義	20	小テスト・平常点	100	0	85.00	10.00	5.00	0	0	短2栄養
	被服学概論	講義	23	筆記試験・平常点	91.3	0.00	91.31	0.00	0.00	0.00	8.70	短1栄養
	被服実習	実習	22	作品提出・レポート・平常点	81.81	4.55	50.00	27.28	0.00	0.00	18.19	短1栄養
	学校保健	講義	4	筆記試験・レポート	100	0	25.00	50.00	25.00	0	0	短2栄養
	学校安全・救急看護法	講義	4	筆記試験・実技試験	100	0	75.00	25.00	0	0	0	短2栄養
	栄養教諭論	講義	89	小テスト・資料作成・レポート	94.38	4.50	85.40	4.50	0.00	0.00	5.62	短1栄養
	教職に関する科目	教職基礎論	講義	95	レポート・提出物・平常点	93.68	4.21	38.95	40.00	10.53	0.00	6.32
教育概論Ⅰ		講義	33	筆記試験・総合的評価	90.91	0.00	60.61	18.19	12.13	0.00	9.09	服飾美術科と合同
教育概論Ⅱ		講義	33		90.91	0.00	63.64	24.25	3.03	0.00	9.09	服飾美術科と合同
教育心理論		講義	46		筆記試験・提出物・平常点	89.13	2.18	86.96	0.00	0.00	0.00	10.87
保健科教育法Ⅰ		講義	4	筆記試験・レポート	100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養CD
保健科教育法Ⅱ		講義	4	学習指導案の作成・模擬授業の指導力	100	25.00	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1栄養CD
家庭科教育法Ⅰ		講義	25	筆記試験・レポート	92	4.00	16.00	48.00	24.00	0.00	8.00	服飾美術科と合同
家庭科教育法Ⅱ		講義	25	筆記試験・レポート・模擬授業・授業中の発表	76	0.00	60.00	4.00	12.00	0.00	24.00	服飾美術科と合同
道德教育の研究		講義	26	筆記試験	80.77	0.00	57.70	15.39	7.70	0.00	19.23	服飾美術科と合同
特別活動の研究		講義	25	レポート・提出物・平常点	92	12.00	28.00	48.00	4.00	0.00	8.00	服飾美術科と合同
教育課程論		講義	90	小テスト・レポート・平常点	92.22	0.00	80.00	11.12	1.12	0.00	7.78	短1栄養CD
生徒指導論		講義	26	「何度かのまとめ(小テスト等)の総合評価	88.46	0.00	57.70	30.77	0.00	0.00	11.54	服飾美術科と合同
スクールカウンセリング論		講義	27	論述試験・レポート	88.88	0.00	88.89	0.00	0.00	0.00	11.12	服飾美術科と合同
総合演習		演習	10	課題研究報告書・プレゼンテーション・平常点	100	0	90.00	10.00	0	0	0	短2服美と合同
総合演習		演習	8		87.50	0	62.50	25.00	0	0	12.50	短2服美と合同
総合演習		演習	13		100	0	84.62	7.69	7.69	0	0	短2服美と合同
総合演習		演習	7		100	0	85.72	14.28	0	0	0	短2服美と合同
総合演習		演習	7		100	0	42.86	57.14	0	0	0	短2服美と合同
総合演習		演習	10		100	10.00	30.00	40.00	20.00	0	0	短2服美と合同
総合演習		演習	11		100	0	100	0	0	0	0	短2服美と合同
総合演習		演習	12		100	0	100	0	0	0	0	短2服美と合同
総合演習		演習	10		100	0	100	0	0	0	0	短2服美と合同
教育実習(中)		実習	21		教育実習校「教育実習成績評価」に基づく教育実習手帳・学習指導案の内容と併せて総合的に判断する	100	0	28.58	71.42	0	0	0
教育実習の研究		実習	21	授業内容のレポート・教育実習のレポート・教育実習体験発表・平常点	100	4.77	71.43	9.52	14.28	0	0	短2服美Bと合同
教育実習の研究		実習	21	平常点	100	4.77	71.43	9.52	14.28	0	0	短2服美Bと合同
栄養教育実習の研究		実習	81	指導資料・指導案、レポートや課題への取り組み・発表・討議・平常点	100	0	27.16	53.09	19.75	0	0	短2栄養CD
栄養教育実習の研究		実習	81	平常点	100	0	27.16	53.09	19.75	0	0	短2栄養CD
学校栄養教育実習		実習	81	記録ノート・実習後の報告・実習校の成績や事前・事後指導	98.76	3.71	23.45	51.85	19.75	0	1.24	短2栄養CD
介護等体験の研究		実習	24	体験報告書・平常点	91.66	0.00	91.67	0.00	0.00	0.00	8.34	服飾美術科と合同
教育の基礎理論		講義	73	小テスト・レポート	90.41	0.00	71.24	19.18	0.00	0.00	9.59	短1栄養CD
生徒指導・教育相談	講義	73	小テスト・レポート・平常点	90.41	1.37	67.13	21.92	0.00	0.00	9.59	短1栄養CD	

平成20年度卒業生単位認定状況(服飾美術科)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)	秀	優	良	可	合	不可	備考	
共通科目	ジェンダー論	講義	326	レポート・平常点	99.08	2.46	96.32	0.31	0.00	0.00	0.92	保育科 栄養科と合同	
	ジェンダー論	講義	52		88.46	1.93	7.70	51.93	26.93	0.00	11.54	短2服美と合同	
	家政学原論	講義	16	筆記試験・レポート・平常点	87.5	0.00	0.00	87.50	0.00	0.00	12.50	短1服美	
	哲学	講義	84	レポート・平常点	90.47	4.76	74.99	7.15	3.57	0	9.53	短1保育 短2栄養合同	
	文学と人間	講義	40	筆記試験・平常点	100	5.00	65.00	22.50	7.50	0.00	0.00	短1服美	
	日本国憲法	講義	12	小テスト・レポート・筆記試験・平常点	91.66	8.34	58.33	24.99	0	0	8.34	短2服美	
	現代社会の心理学	講義	70	復習テスト・平常点	68.57	4.29	51.42	7.15	5.71	0	31.43	短2服美AB	
	日本の歴史	講義	51	試験・平常点	98.04	3.93	94.11	0	0	0	1.96	短2保育栄養と合同	
	音楽の世界	講義	41	演奏・レポート	100	4.88	39.03	51.22	4.88	0.00	0.00	短1服美	
	美の世界	講義	40	試験・レポート・平常点	52.50	0	40	10.00	2.5	0	47.5	短1保育合同	
	家族関係学	講義	72	筆記試験・レポート・平常点	88.89	0	5.56	11.11	72.22	0	11.11	短2服美	
	生活経営学	講義	29	試験・発表・提出物・平常点	86.20	3.45	55.17	27.58	0	0	13.8	短2栄養服美	
	化学	講義	25	試験・平常点	76.00	4.00	32.00	36.00	4.00	0	24	短2服美	
	英語コミュニケーションⅠ	演習	40		100	0.00	92.50	5.00	2.50	0.00	0.00	短1服美A	
	英語コミュニケーションⅠ	演習	42		100	0.00	90.48	9.53	0.00	0.00	0.00	短1服美B	
	英語コミュニケーションⅡ	演習	38	期末テスト・小テスト・平常点	97.36	0.00	86.85	10.53	0.00	0.00	2.64	短1服美A	
	英語コミュニケーションⅡ	演習	42		100	0.00	95.24	2.38	2.38	0.00	0.00	短1服美B	
	パソコン基礎	演習	43	課題・平常点	100	4.66	90.70	4.66	0.00	0.00	0.00	0.00	短1服美A
	パソコン基礎	演習	43		100	4.66	90.70	4.66	0.00	0.00	0.00	0.00	短1服美B
	パソコン応用	演習	81	課題提出・平常点	97.53	4.94	91.36	1.24	0.00	0.00	2.47	短1服美	
	からだとスポーツ	実習	19	オリエンテーション・学科講習・学	100	0.00	84.21	15.79	0.00	0.00	0.00	0.00	短1服美
	からだとスポーツ	実習	45	科試験・実技講習	100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1保育栄養服美
	体育と健康	講義	25	試験・レポート・提出物	100	4.00	32.00	44.00	20.00	0.00	0.00	0.00	短1服美A
	体育と健康	講義	26		100	0.00	96.16	3.85	0.00	0.00	0.00	0.00	短1服美B
	カラーデザイン	講義	87	レポート・試験・平常点	98.85	1.15	62.07	34.49	1.15	0.00	1.15	短1服美	
	カラーワーク	実習	44	課題作品・平常点	97.72	2.28	36.37	59.09	0.00	0.00	2.28	短1服美A	
	カラーワーク	実習	43		100	2.33	53.49	44.19	0.00	0.00	0.00	0.00	短1服美B
	ファッションデザイン画Ⅰ	実習	44	課題・平常点	97.72	0.00	15.91	75.00	6.82	0.00	2.28	短1服美A	
	ファッションデザイン画Ⅰ	実習	43		97.67	2.33	27.91	51.17	16.28	0.00	2.33	短1服美B	
	ファッション造形Ⅰ	実習	44	作品・部分縫い・平常点	100	0.00	81.82	13.64	4.55	0.00	0.00	0.00	短1服美A
	ファッション造形Ⅰ	実習	43		97.67	4.66	44.19	48.84	0.00	0.00	2.33	短1服美B	
	被服材料学	講義	88	筆記試験・小テスト・平常点	97.72	2.28	63.64	22.73	9.09	0.00	2.28	短1服美	
	被服整理学	講義	88	筆記試験・平常点	95.45	4.55	43.19	37.50	10.23	0.00	4.55	短1服美	
ベーシックデザイン	実習	40	課題作品・平常点	95	2.50	32.50	57.50	2.50	0.00	5.00	短1服美A		
ベーシックデザイン	実習	39		97.43	0.00	20.52	76.93	0.00	0.00	2.57	短1服美B		
服飾文化史	講義	46	筆記試験・教場小試験	91.3	2.18	21.74	45.66	21.74	0.00	8.70	短1服美		
ファッション基礎デッサン	実習	41	作品提出	100	0.00	53.66	34.15	12.20	0.00	0.00	0.00	短1服美A	
ファッション基礎デッサン	実習	33		100	3.03	66.67	21.22	9.09	0.00	0.00	0.00	短1服美B	
ファッションデザイン画Ⅱ	実習	38	作品提出・平常点	92.10	2.64	39.5	44.7	5.26	0	7.90	短2服美		
ファッションデザイン実習	実習	20	課題・平常点	90.00	5.00	60.0	15.0	10.0	0	10.00	短2服美A		
ファッションデザイン実習	実習	12		91.66	0	91.66	0	0	0	8.34	短2服美B		
ファッション素材と表現	実習	39	作品・平常点	64.10	0	35.90	28.2	0	0	35.90	短2服美		
コンピュータグラフィック基礎	実習	40	課題・平常点	100	5.00	82.50	10.00	2.50	0.00	0.00	0.00	短1服美A	
コンピュータグラフィック基礎	実習	35		94.28	2.86	82.86	8.58	0.00	0.00	5.72	短1服美B		
CGプリントデザイン	実習	28		89.28	3.58	75.00	7.15	3.58	0.00	10.72	短1服美A		
CGプリントデザイン	実習	20		70	5.00	55.00	5.00	5.00	0.00	30.00	短1服美B		
CGビジュアルデザイン	実習	27	リサーチ提出・作品提出・平常点	70.38	3.71	59.25	3.71	3.71	0	29.62	短2服美		
ファッション造形Ⅱ	実習	28	作品提出・提出期限・平常点	89.28	0.00	64.29	25.00	0.00	0.00	10.72	短1服美A		
ファッション造形Ⅱ	実習	40		87.5	2.50	70.00	15.00	0.00	0.00	12.50	短1服美B		
ファッション造形Ⅲ	実習	27	作品・部分縫い・平常点	88.88	3.71	59.24	22.23	3.70	0	11.12	短2服美		
きものⅠ	実習	16	作品・定期試験・平常点	75	6.25	18.75	43.75	6.25	0.00	25.00	短1服美A		
きものⅠ	実習	22		77.27	4.55	45.46	22.73	4.55	0.00	22.73	短1服美B		
きものⅡ	実習	20	作品・レポート・平常点	75.00	5.00	40.00	25.00	5.00	0	25.00	短2服美		
ファッションリメイク	実習	32	作品・平常点	96.87	0.00	62.50	34.38	0.00	0.00	3.13	短1服美A		
ファッションリメイク	実習	43		95.34	0.00	65.12	30.24	0.00	0.00	4.66	短1服美B		
アパレルCAD	実習	28	作成したパターンをファイルで提出・シルエットパターンのシーチング組み立て・平常点重視	96.42	0.00	92.86	3.58	0.00	0.00	3.58	短1服美A		
アパレルCAD	実習	40		87.5	0.00	75.00	12.50	0.00	0.00	12.50	短1服美B		
ドレーピング	実習	17	作品とパターン・平常点	70.58	0	58.82	11.76	0	0	29.42	短2服美A		
ドレーピング	実習	23		56.52	0	47.83	8.69	0	0	43.48	短2服美B		
ファッションプリント	実習	27	課題作品・提出作品・平常点	85.18	3.71	44.45	18.51	18.51	0	14.82	短2服美A		
ファッションプリント	実習	24		95.83	4.16	58.33	16.67	16.67	0	4.17	短2服美B		

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)	秀	優	良	可	合	不可	備考	
専門教育科目	刺繍	実習	34	作品・レポート・平常点	97.05	0.00	85.30	11.77	0.00	0.00	2.95	短1服美A	
	刺繍	実習	20		100	0.00	65.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1服美B
	ニット	実習	29		93.1	0.00	72.42	20.69	0.00	0.00	6.90	短1服美A	
	ニット	実習	27		96.29	0.00	74.08	22.23	0.00	0.00	3.71	短1服美B	
	レース	実習	49		93.88	0	65.31	28.57	0	0	6.12	短2服美	
	帽子	実習	73	作品のデザイン性・縫製	76.71	1.37	10.95	46.58	17.81	0	23.29	短2服美	
	ファッション小物	実習	79	課題作品・平常点	69.62	1.27	30.38	36.71	1.26	0	30.38	短2服美	
	アクセサリ	実習	25	作品・レポート・平常点	100	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	短1服美B
	アクセサリ	実習	42		97.62	4.77	85.72	7.15	0.00	0.00	2.38	短1服美A	
	被服繊維学	講義	74	筆記試験・小テスト・平常点	97.29	2.71	60.81	24.33	9.46	0.00	2.71	短1服美	
	繊維学実験	実習	26	実験レポート・平常点	92.31	0	69.23	19.23	3.85	0	7.69	短2服美A	
	繊維学実験	実習	34		94.12	0	73.53	17.65	2.94	0	5.88	短2服美B	
	材料学実験	実習	26		80.77	0	53.84	19.23	7.7	0	19.23	短2服美A	
	材料学実験	実習	34		91.18	0	79.41	11.77	0	0	8.82	短2服美B	
	被服整理学実験	実習	29	レポート・ノート提出・平常点	96.55	3.45	75.86	13.79	3.45	0	3.45	短2服美A	
	被服整理学実験	実習	35		97.15	2.85	88.58	5.72	0	0	2.85	短2服美B	
	染色加工学	講義	79	筆記試験・平常点	97.46	3.80	44.31	32.92	16.46	0.00	2.54	短1服美	
	染色加工学実験	実習	26	レポート・ノート提出・平常点	76.92	3.85	50.00	23.07	0	0	23.08	短2服美A	
	染色加工学実験	実習	34		88.24	2.95	82.35	2.94	0	0	11.76	短2服美B	
	ファッション情報論	講義	76	成績・資料活用方法・課題・平常点	97.36	1.32	78.95	15.79	1.32	0.00	2.64	短1服美	
	アパレル企画	実習	40	企画マップの内容によって評価	95	5.00	57.50	30.00	2.50	0.00	5.00	短1服美A	
	アパレル企画	実習	41		97.56	4.88	58.54	31.71	2.44	0.00	2.44	短1服美B	
	アパレルデザイン論	講義	84	筆記試験・レポート・平常点	98.81	4.77	55.96	23.81	14.29	0.00	1.19	短1服美	
	アパレル設計・生産論	講義	80	小テスト	100	3.75	50.00	40.00	6.25	0.00	0.00	短1服美	
	プロダクトパターンメイキング	実習	17	作製物・行程表・仕様書	64.71	0	64.71	0	0	0	35.29	短2服美	
	ファッション販売論	講義	85	課題提出・平常点	98.82	0.00	98.83	0.00	0.00	0.00	1.18	短1服美	
	ビジュアルマーチャンダイジング	講義	70	筆記試験・課題	85.71	0.00	12.86	50.00	22.86	0.00	14.29	短1服美	
	ビジュアルマーチャンダイジング実習	実習	18	1項目ごとに最終回におさらい演習を行い講評・採点。パースプランは提出課題として講評採点・グループ作品	77.78	0	0	77.78	0	0	22.22	短2服美	
	アパレル環境論	講義	71	筆記試験・平常点	97.19	4.23	43.66	32.4	16.9	0	2.81	短2服美	
	消費科学	講義	68	試験・レポート・平常点	79.42	2.95	11.77	20.58	44.12	0	20.58	短2服美	
	消費生活論	講義	80	レポート・小テスト・平常点	92.50	5	77.50	6.25	3.75	0	7.5	短2服美	
	ファッションキャリアデザイン	実習	77	レポート・平常点	94.8	3.90	44.16	23.38	23.38	0.00	5.20	短1服美	
	コーディネート	実習	31	提出課題・平常点	29.03	0	6.45	6.45	16.13	0	70.97	短2服美A	
	コーディネート	実習	34		61.77	2.94	29.41	14.71	14.71	0	38.23	短2服美B	
	ファッションメイク	実習	40	作成作品・平常点	82.50	2.5	50.00	25	5	0	17.5	短2服美A	
	ファッションメイク	実習	19		73.68	5.26	42.11	26.31	0	0	26.32	短2服美B	
	ファッションショー企画・制作	実習	36	作品・レポート・平常点	91.67	0	80.55	5.56	5.56	0	8.33	短2服美	
	調理学実習	実習	32	筆記・実技試験・実習ノートの提出・平常点	75.00	0	21.88	15.62	37.5	0	25	短2服美	
	住居学概論	講義	53	筆記試験・実習課題の図面提出	79.24	3.78	13.21	18.86	43.39	0	20.76	短2服美	
	保育学概論	講義	34	小テスト・平常点	79.42	2.94	55.89	17.65	2.94	0	20.58	短2服美	
教職に関する科目	教育概論Ⅱ	講義	33	筆記試験・総合的評価	90.91	0.00	63.64	24.25	3.03	0.00	9.09	栄養科と合同	
	教育心理論	講義	46	筆記試験・提出物・平常点	89.13	2.18	86.96	0.00	0.00	0.00	10.87	栄養科と合同	
	家庭科教育法Ⅰ	講義	25	筆記試験・レポート	92	4.00	16.00	48.00	24.00	0.00	8.00	栄養科と合同	
	家庭科教育法Ⅱ	講義	25	筆記試験・レポート・模擬授業・授業中の発表	76	0.00	60.00	4.00	12.00	0.00	24.00	栄養科と合同	
	道德教育の研究	講義	26	筆記試験	80.77	0.00	57.70	15.39	7.70	0.00	19.23	栄養科と合同	
	特別活動の研究	講義	25	振り返り小レポート・2回のまとめの評価・提出物の実態・平常点・班活動の学習状況	92	12.00	28.00	48.00	4.00	0.00	8.00	栄養科と合同	
	生徒指導論	講義	26	何度かのまとめ(小テスト等)の総合評価	88.46	0.00	57.70	30.77	0.00	0.00	11.54	栄養科と合同	
	スクールカウンセリング論	講義	27	論述試験・レポート	88.88	0.00	88.89	0.00	0.00	0.00	11.12	栄養科と合同	
	介護等体験の研究	実習	24	体験報告書・平常点	91.66	0.00	91.67	0.00	0.00	0.00	8.34	栄養科と合同	
	総合演習	演習	10	課題研究報告書・プレゼンテーション・平常点	100	0	90.00	10	0	0	0	短2栄養服美	
	総合演習	演習	8		87.50	0	62.5	25	0	0	12.5	短2栄養服美	
	総合演習	演習	13		100	0	84.62	7.69	7.69	0	0	短2栄養服美	
	総合演習	演習	7		100	0	85.72	14.28	0	0	0	短2栄養服美	
	総合演習	演習	7		100	0	42.86	57.14	0	0	0	短2栄養服美	
	総合演習	演習	10		100	10.00	30.00	40.00	20	0	0	短2栄養服美	
	総合演習	演習	11		100	0	100	0	0	0	0	短2栄養服美	
	総合演習	演習	12		100	0	100	0	0	0	0	短2栄養服美	
	総合演習	演習	10		100	0	100	0	0	0	0	短2栄養服美	
	教育実習(中)	実習	21		教育実習校「教育実習成績評価」・教育実習手帳・学習指導案の内容	100	0	28.58	71.42	0	0	0	短2栄養CD服美
	教育実習の研究	実習	21	レポート・教育実習体験発表	100	4.77	71.43	9.52	14.28	0	0	短2栄養CD服美B	
教育実習の研究	実習	21	100		4.77	71.43	9.52	14.28	0	0	短2栄養CD服美B		

(2) 学科長等がそれぞれの学科について、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状についてどのように受け止めているかを記述して下さい。

保育科は近接領域の教員で授業内容の重複がないよう話し合っており、評価方法についても同様である。授業科目は、講義・演習・実技・実習とバリエーションが広いため、授業形態等に応じた適切な評価法が採用されている。

栄養科の授業の単位認定は、試験、出席状況、レポート等により各担当教員が適切に学生の学習評価を行っている。試験については、担当教員により方法が異なるが、授業期間中に数回試験を行い、さらに一定の基準に達しない学生には再度試験を行うなどして単位認定を行っている。

服飾美術科の単位認定は、シラバスの各教科の評価方法に示してあり、授業形態により違いはあるが、出席状況、授業中の態度、レポート・作品の提出状況と内容、試験（ミニテストを含む）の点数を総合して評価している。

単位の取得状況については、学生に配布前の成績表を予めチェックし、取得単位数の少ない学生には、注意を促している。

担当教員による評価の現状については同じ教科で評価に偏りが生じないように配慮している。

(3) 学長等は、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状について、短期大学全体の状況をどのように受け止めているかを記述して下さい。

単位認定の方法はシラバス中の評価方法、学生便覧の学則第5章第43条～45条にも示してあり、学生にも周知されている。また、初回授業の冒頭でも学生に説明している。従って、単位認定の方法については徹底されていると受け止めている。

保育科、栄養科は保育士、栄養士、フードスペシャリスト等の資格必修科目が多いため、単位の取得状況は90%を超える科目が多い。服飾美術科は他科と比較し国家資格を持たず、選択科目が多いため、特に2年次については、卒業要件を満たすように多目に履修登録をしている傾向がみられる。従って、単位の取得状況は他科に比較し90%未満の科目が多くなっているが、卒業要件以上の単位を取得しているため問題ないと考える。現在、履修登録が年次の初めに行われており、途中で履修中止ができないため、今後システムを検討したい。担当教員による評価の現状は、授業形態等により異なると考え、各教員の評価を信頼している。

【授業に対する学生の満足度について】

(1) 各授業について、終了後に「学生の満足度」の調査を実施していればその調査の概要を記述して下さい。また調査票の様式等を訪問調査の際にご準備下さい。

「学生による授業アンケート」を各学期末に実施している。設問10に「あなたはこの授業に満足できましたか」があり、この結果により「学生の満足度」を知ることができる。
 (参考資料) II-2 授業アンケート (東京家政大学・短期大学部 FD委員会) (再掲)

(2) 担当教員が授業終了後の学生の満足度に配慮しているかについて、学科長等が現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

保育科の学生による授業評価は、概ね満足と評価している。学生個人の感想や意見、そして評価については学科長が特に知ることはないが、各授業担当者と話し合う機会が多いため、授業担当者に直接尋ねることで、状況の把握や確認を行っている。

栄養科の学生による評価は、平均より高いと思われるので、満足と評価している。FD委員会の授業評価アンケート結果を参考に、各教員とも授業改善に努めている。学生個人の感想や意見は、各授業担当者（特に実験及び演習など）と話す機会があり、状況が把握できている。

服飾美術科では、学生による授業評価を参考に各教員とも授業改善に努めている。

(3) 学長等は短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

平成18年度から毎年組織的に行われている授業評価アンケートの結果が、年々少しずつ向上していることにより、学生の満足度もある程度の域に達していると考えられる。平成20年度の授業アンケートの結果に対するそれぞれの教員のコメントをまとめた報告書が教員に配布される。この報告書が学生の満足度の高い授業への更なる取組みに役立てられると考える。今後も、短期大学部教員の教育に対する工夫と努力及び学生指導の比重は高くなり、さらに重要になってくる。

【退学、休学、留年等の状況について】

(1) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の退学、休学、留年等の数を、次の表を例にして学科等ごとに記載し、学科等の状況を明らかにして下さい。

(平成21年3月31日現在)

保育科の退学・休学・留年者等一覧表

区 分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備 考
入学者数	217	215	216	
うち退学者数	3	4	1	※19年度退学者に除籍者2名含む
うち休学者数	1	2	0	
休学者のうちの復学者数	1	1	0	
うち留年者数	0	3	0	※平成21年3月31日現在在籍者中の留年者
卒業生数	214	208		

栄養科の退学・休学・留年者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

区 分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備 考
入学者数	188	189	199	
うち退学者数	12	4	4	※18・19年度退学者に除籍者各1名含む
うち休学者数	5	3	0	
休学者のうちの復学者数	0	3	—	
うち留年者数	0	5	0	※平成21年3月31日現在在籍者中の留年者
卒業生数	176	180		

服飾美術科の退学・休学・留年者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

区 分	18年度入学	19年度入学	20年度入学	備 考
入学者数	91	87	70	
うち退学者数	10	4	3	※平成19年度定員変更：100→70 ※18・19年度退学者に除籍者各1名含む
うち休学者数	2	0	0	
休学者のうちの復学者数	1	—	—	
うち留年者数	0	1	0	※平成21年3月31日現在在籍者中の留年者
卒業生数	81	82		

(2) 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向及び退学者、休学者（復学者を含む）及び留年者に対する指導（ケア）の現状について学科等ごとに記述して下さい。

保育科の退学理由割合

区 分	18年度入学	19年度入学	20年度入学
経済的理由	0人 0%	2人 50%	0人 0%
進路変更	3人 100%	0人 0%	1人 100%
健康上の理由（勉学意欲喪失を含む）	0人 0%	2人 50%	0人 0%

栄養科の退学理由割合

区 分	18年度入学	19年度入学	20年度入学
経済的理由	3人 25%	1人 25%	1人 25%
進路変更	1人 8%	3人 75%	3人 75%
健康上の理由（勉学意欲喪失を含む）	8人 67%	0人 0%	0人 0%

服飾美術科の退学理由割合

区 分	18年度入学	19年度入学	20年度入学
経済的理由	4人 40%	1人 25%	0人 0%
進路変更	4人 40%	2人 50%	1人 33%
健康上の理由（勉学意欲喪失を含む）	2人 20%	1人 25%	2人 67%

保育科では経済的理由、進路変更及び健康上の理由による退学等があるのは事実であるが、極めて少数である。各クラス担任や授業担当者と学科長が連携をとり、学生や保護者との対応を行っている。ケアだけでなく、予防的な観点から、学習や生活につまづきのあ

る学生の情報を収集し、早期に対応している。

栄養科の過去3年間の退学者は20名、休学者は8名であるが、退学者、休学者ともに年々減少の傾向にある。退学理由は、健康上の理由、進路変更が多く、経済的理由は少ない。退学、休学、留年者には友達などがこまめに連絡を取り、また当該学生や保護者に対し、クラス担任を中心に教職員及び保健センター等が懇切丁寧に相談及びアドバイス等を行っている。

服飾美術科の退学理由は、多くは勉学意欲を失ったことによるものか、進路変更である。退学、休学、留年者に対し、個々の事情に応じて、クラス担任を中心に問題解決に向けた指導、カウンセリングにより、できけるだけ卒業させる方向で努力している。留年者は、ともすると勉学意欲を喪失しがちであるが、できるだけ声をかけ、連絡を密にし登校を促している。授業を2回以上続けて欠席する学生がいる場合は、長期欠席にならないよう各教員が注意を払っている。

(3) 退学、休学、留年等の現状を、学科長等がどのように受け止めているかを学科等ごとに記述して下さい。

保育科では経済的事情、進路変更及び健康上の理由による退学等が、実数としては少ないが、存在するのは事実である。原因としては、近年、幼稚園教諭免許状や保育士資格の取得のための科目履修が厳しくなっており、精神的・身体的適応力の低い学生は学業を継続しにくくなっていること。また、甘やかされて育った学生は、厳しい学業についていくだけの心構えが未形成な場合が多い。さらに、高校での進路指導が、「子ども好きなら保育科」という単純な方針で行われている場合が多く、現代の教育・保育・福祉職への理解が追いついていないことなどがあげられる。

栄養科では少数ではあるが入学前から心の問題を抱えている学生が見受けられる。これは、現代社会の多様化、家庭環境・友人関係の複雑化等によるストレスが原因になっているものと思われる。

服飾美術科では最近、精神的に不安定な学生が増え、些細なきっかけで不登校になる学生もいる。親元を離れて一人で生活し、相談相手もない寂しさからという場合もあるが、このような学生は往々にして入学前からその傾向にあったと考えられる。

(4) 学長等は、短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

近年、学習意欲の欠如、精神的未発達等の学生が増加し、社会問題化しているが、本学においても、その傾向がある程度認められる。また、大学との併願で大学の受験に失敗し短大に入学してくる学生が多くなっている。そのため、入学当初から本学への入学を不本意と考え、進路変更を望む学生も少なからず存在する。これは、全国の短大においても同様のことと考えられる。しかし、このような状況に甘んじるのではなく、学生の状況に応じて対処すべきであると考えている。精神的な理由により登校できない学生に対しては、クラス担任や学科長を中心に、保健センターとも連携して問題解決にあたっているが、今後の対応として、全学的な組織の設置も必要であると考えている。また、進路変更を望む

学生に対しては、学内での解決策として、他学科への転科や本学の学部への編入を勧めたり、外部の大学進学等の相談にも応じている。入学を許可した学生に対しては、学習意欲を失わず卒業後の進路に向かって努力させ、一定の学力・人間力を身につけて卒業させるのが大学としての責務であると考えているので、各教員には理解と協力をお願いしている。

【資格取得の取組みについて】

(1) 《Ⅱ教育の内容》の【教育課程について】(3)(8ページ)で報告頂いた取得が可能な免許・資格、また教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格の取得状況(取得をめざした学生数、取得者数、取得割合等)を学科等ごとに示して下さい。

保育科の教育課程で取得が可能な免許・資格の取得状況

免許	区 分	18年度	19年度	20年度
幼稚園教諭 二種免許状	取得をめざした学生数	257人	213人	212人
	取得者数	255人	213人	208人
	取得割合	99%	100%	98%
保育士	取得をめざした学生数	258人	214人	212人
	取得者数	256人	211人	208人
	取得割合	99%	99%	98%

栄養科の教育課程で取得が可能な免許・資格の取得状況

免許	区 分	18年度	19年度	20年度
中学教諭 二種免許状 (保健)	取得をめざした学生数	1人	6人	4人
	取得者数	1人	6人	4人
	取得割合	100%	100%	100%
中学教諭 二種免許状 (家庭)	取得をめざした学生数	15人	23人	18人
	取得者数	15人	23人	18人
	取得割合	100%	100%	100%
栄養教諭 二種免許状	取得をめざした学生数	35人	59人	82人
	取得者数 ※	34人(5人)	59人(18人)	81人(15人)
	取得割合	97%	100%	98%
栄養士	取得をめざした学生数	177人	180人	184人
	取得者数	173人	174人	181人
	取得割合	98%	97%	98%
フードス ペシャリ スト	取得をめざした学生数	115人	144人	133人
	取得者数	107人	123人	107人
	取得割合	93%	85%	80%

※ 栄養教諭二種免許状取得者数欄の()内は東京都への一括申請者数で内数

服飾美術科の教育課程で取得が可能な免許・資格の取得状況

免許	区 分	17年度入学	18年度入学	19年度入学
中学教諭 二種免許状 (家庭)	取得をめざした学生数	3人	9人	3人
	取得者数	3人	9人	2人
	取得割合	100%	100%	67%
衣料 管理士	取得をめざした学生数	29人	44人	45人
	取得者数	29人	44人	45人
	取得割合	100%	100%	100%

服飾美術科では、教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格については、担当教員が受験の指導を行うが、各自で受験手続を行うため、試験結果をすべては把握していない。

平成 20 年度についてみると、ブロンズライセンスは受験者 11 名、合格者 11 名、取得割合 100%で、カラーコーディネーター検定、色彩検定、商品装飾展示技能検定、ファッションビジネス能力検定の合格者はそれぞれ 6 名、2 名、1 名、1 名であった。

(2) 今後導入を検討している免許・資格があれば記述して下さい。

保育科ではベビーシッター、社会福祉主事任用資格、児童厚生指導員等の資格の取得も視野にいたカリキュラム編成を模索しているが、まずは現行の幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の取得にむけた指導・学習体制の充実が緊要の課題となっている。

【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】

(1) 学科等ごとに専門就職（当該学科等で学習した分野に関連する就職）の状況（専門就職数、割合等）について記述して下さい。また学科等ごとに専門就職先からの卒業生に対する評価について何か文書や資料があれば参考資料として準備して下さい。

過去 3 年間の専門職就職率の平均は就職希望者に対して、保育科が 9 割、栄養科が 6 割、服飾美術科が 7 割となっており、毎年、高い数値を維持している。

平成 20 年度卒業生の専門職就職状況は、保育科では就職希望者 189 人中の 182 人（96%）が保育士、幼稚園教諭に、栄養科では就職希望者 148 人中の 80 人（56%）が栄養士、商品開発、品質管理に従事。さらに服飾美術科では就職希望者 44 人中の 32 人（73%）が服飾販売、ファッションアドバイザー、繊維品質管理の職に従事した。

〈参考資料〉IV-1 アンケート（私立保育園・幼稚園対象）

(2) 卒業生に対する就職先（専門就職に限らない）及びその他の進路先（編入先等）からの評価をどのように受け止めているかについて、短期大学全体については学長等が、学科等については学科長等が記述して下さい。

各学科は目的養成・実学教育を行っているが、就職先からは『専門技術と知識を生かして活躍し、応用する力』が期待されている。就職先へのアンケートや企業等採用担当者との懇談会では、「真面目で責任感が強い、明るく、人当たりがよい、人とのコミュニケーションが取れるが、やや積極性が不足している」等と言われているが、全体評価は「おおむね良い」と受け止めている。

編入学の大半は東京家政大学であるが、大学からの評価はとても高い。編入学への目標を持って 2 年間学び、さらに編入後も努力を続け、管理栄養士国家試験での編入生全員合格や公務員、教員、専門職での高い就職決定率とその意欲は高く評価されている。

保育科の就職先はほぼ全員が幼稚園教諭・保育士の専門職であるが、2年間で多くのことを学び早く社会にでて活躍したいという意欲の高さは、就職したのちも保育現場での即戦力として高い評価を得ている。栄養科は6割が専門職、3割が食品関係企業の一般職として勤務している。栄養士の場合、明け方からの始業等不規則な仕事でもあるが、真面目に喜びを持って働く姿は高く評価されている。服飾美術科の堅実で真面目、穏やかな気質は、専門職での縫製や衣料管理士、販売の仕事に適しており、連続で求人や採用があることは評価されていると受け止めている。

(3) 卒業生に対して「学生時代についてのアンケート(卒業後評価等)」等を実施している場合はその概要とその結果を記述して下さい。また教育の実績や効果を確認するための卒業生との接触、同窓会等との連携等を行っている場合もその取組みの概要と結果について記述して下さい。

1. 卒業生へのアンケート

平成18年度より卒業後3年目の卒業生に「卒業後の追跡調査」を実施し意見を聞いている。回収率は約10%、回答者の大半が保育科、栄養科の卒業生であった。「短大での学びが役立っている」と答えている者も多いが、「現場で役立つ具体的な知識・技術をもっともっと学びたかった」等の意見も多く、これらは各科のカリキュラム見直しの際、考慮している。

2. 卒業生との接触

入口(入試)・出口(就職)を担当する進路支援センターに組織変更をした10年前から、卒業生からの就職相談の受け入れや専門職中心の既卒者求人の受け入れ・紹介を積極的に行っている。これらは卒業して数ヶ月後と2~3年目の卒業生の利用が多くみられる。現場で役立つ知識・技術講習会の開催(8月)も毎年実施し、参加者の意見を聞きながら再教育の充実をはかっている。さらに、栄養士、保育士、幼稚園、服飾関連など『専門職の会』を設立し、専門職レベルアップと相互交流を目的とした活動も行っている。

3. 同窓会との連携

本学の同窓会「緑窓会」と学園が共催で、毎年10月にホームカミングデーを開催し、母校に戻る機会を設けている。さらに48都道府県に支部を持つ同窓会員組織と進路支援センターが連携して求人紹介を行っている。

<参考資料>IV-2 卒業後の追跡調査について(ご依頼)

(4) 卒業生が社会からどのように評価されているか、学科長等、学長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

本学は昭和25年の創立から平成20年に至るまで48,000人の卒業生を社会に送り出しており、卒業生の『真面目で責任感の強い資質』は社会で高く評価されている。特に、着実に仕事をこなしていくことや、栄養士や保育者、服飾関係などの専門職として人に関わりながら仕事を進めることへの評価が高い。

このことは卒業生が社会から一定の評価を得ているものと受け止めているが、今後とも

社会から必要とされる卒業生を輩出するべく教育効果の向上に真摯に取り組んでいきたい。

【特記事項について】

(1) この《IV教育目標の達成度と教育の効果》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教育目標の達成度と教育の効果について努力していることがあれば記述して下さい。

保育科は、全科目のシラバスが公開されて、なおかつ毎年シラバスの見直しが行われており、教育目標や授業方法、成績評価の手続き等が学生に明示されている。

成績評価は最終授業で1回の試験で行われることはほとんどなく、多くの授業では、小テストや複数回の試験を実施することで、学生の理解度をチェックし、授業期間中に全学生あるいは個別に形成的な評価と指導を実施している。また、出席状況や成績の記録はできる限り保存するような努力がなされている。

成績評価に関しては、教育・学生支援センターを通じて、学生からの質問・問い合わせを教員が受けることによって、教員・学生双方が成績評価について納得を深める制度を有している。

栄養科では、本学のヒューマンライフ支援センター（ヒューリップ）の主催のもと、東武デパート池袋店のレストラン街、数十店舗とスパイスをテーマにしたコラボレーションが毎年（年2回数か月間）行われているが、この企画では栄養科の学生が献立作成に参加し、大変好評を得ている。

服飾美術科は、2年次にファッションショーを開催している。1年次にデザインや造形の基礎を学び、それを応用し、各ユニットが教員の指導のもとに衣装を創り、その他ショーに関わる舞台、照明、音効、演出、メイク、プレス、会場等を分担し、創り上げる。1人ではなしえない協同作業により、協調性、他人への思いやりなども身に付き、短い学生時代の貴重な経験となる。教員にとっては、2年間の教育目標の達成度と教育の効果を確認することができる。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特にない。

- 〈参考資料〉
- 【授業に対する学生の満足度について】(1)
 - II-2 授業アンケート（東京家政大学・短期大学部 FD委員会）（再掲）
 - 2. 専門就職先からの卒業生に対する評価についての文書や資料
 - 【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】(1)
 - IV-1 アンケート（私立保育園・幼稚園対象）
 - 3. 卒業生アンケートの調査票等
 - 【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】(3)
 - IV-2 卒業後の追跡調査について（ご依頼）

《V 学生支援》

【入学に関する支援について】

- (1) 入学志願者に対し、短期大学は建学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像をどのような方法、手段で明示しているかを記述して下さい。なおそれらが記載されている短期大学案内等の印刷物を添付して下さい。

本学の建学の精神・教育理念は、学校案内パンフレット「大学で何を学び卒業後どう生きるか」に学長メッセージで説明している。また、各学科の教育目的・教育目標や求める学生像は、学校案内パンフレットの各学科紹介ページで説明し、あわせて本学のホームページにも明示している。本学は昭和 25 年「自主自律」の建学の精神のもと、職業人養成を目的として設立された。パンフレットやホームページでは受験生に“生き方モデル、ロールモデル”を提示するため数多くの在學生や職業人として卒業生を紹介している。

〈添付資料〉 1. 大学で何を学び卒業後どう生きるか2010 (再掲)

- (2) 入学志願者に対し、入学者選抜の方針、選抜方法（推薦、一般、AO入試等）をどのような方法、手段で明示しているかその概要を簡潔に記述して下さい。なおそれらが記載されている募集要項等の印刷物を参考資料としてご準備下さい。

入学者選抜の方針や選抜方法等は、①学校案内のパンフレット「大学で何を学び卒業後どう生きるか」②合格応援BOOK ③本学ホームページ ④入試募集要項に明示している。

〈参考資料〉 V-1 平成21年度（2009年度）入学試験要項

- (3) 広報及び入試事務についての体制（組織等）の概要を記述して下さい。また入学志願者、受験生等からの問い合わせにはどのような体制で応じているかを記述して下さい。

入試・広報業務は、進路支援センターが行っている。本学は入学時・卒業後の目標が明確で、卒業後の専門職を希望して受験をする者が大半である。これらのことから、入学前（パンフレットの作成、受験生からの問い合わせ、学校見学対応、オープンキャンパスの開催、入学試験の実施）から入学後、在学中の進路選択サポートから卒業後の再就職やリカレント教育まで一貫して進路支援センターで対応している。

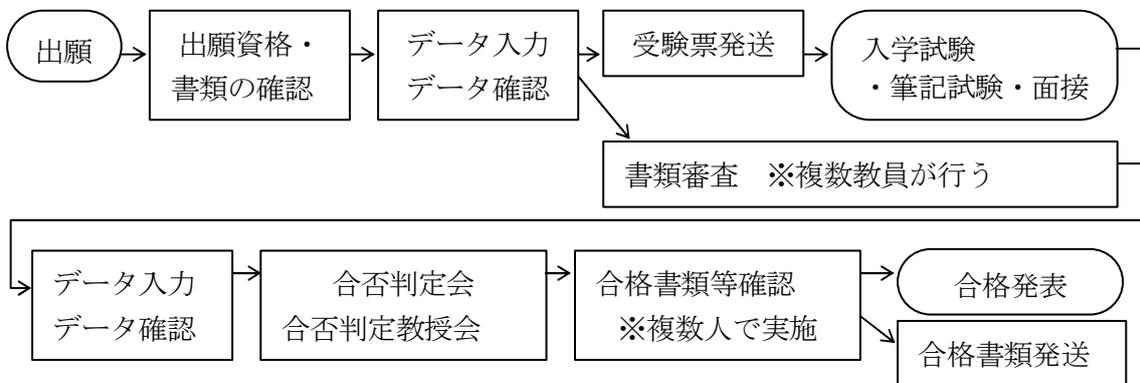
- (4) 願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れについて、選抜方法ごとにその概要を記述して下さい。また多様な選抜を公正かつ正確に実施しているかどうか、入試事務の責任者は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。入学願書等を参考資料としてご準備下さい。

入学選抜は、①一般推薦入試（公募）②自己推薦型AO入試③指定校推薦入試（1期、2期）④附属高校推薦入試⑤特別選抜入試（短期大学士、社会人、帰国子女、留学生）⑥一般入試（1期、2期、3期）⑦センター利用入試（A日程、B日程、C日程）の7種類を実施している。

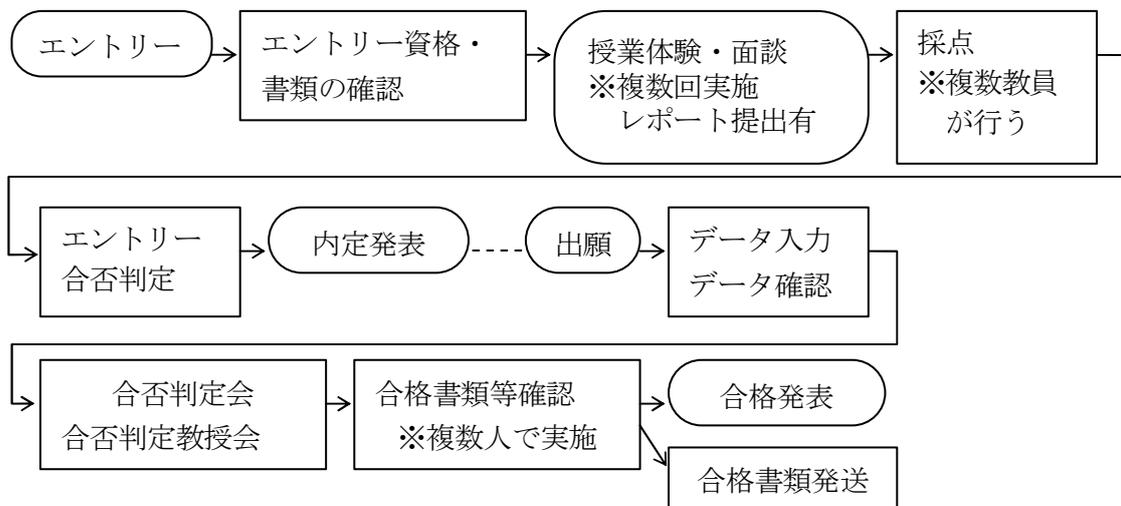
入試種別ごとに合否判定基準を策定し、多様な人材の選抜に注力し、公正・正確な入試が運営されている。入試のプロセス全体でミスを防止するために、各業務は複数人で実施し、相互に確認する体制をとっている。一般入試はマークシート方式とし、システムの事前チェック・事後チェックを実施している。

それぞれの入学試験の流れは以下のような手順で行っている。

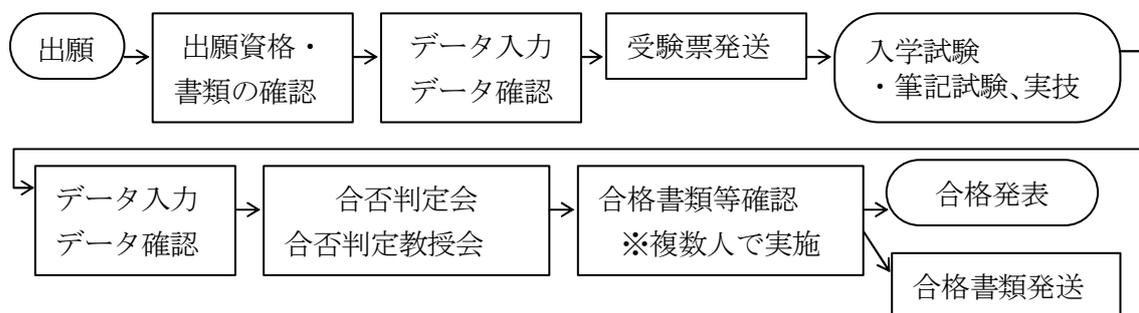
1. ①一般推薦入試、③指定校推薦入試、④附属高校推薦入試、⑤特別選抜入試



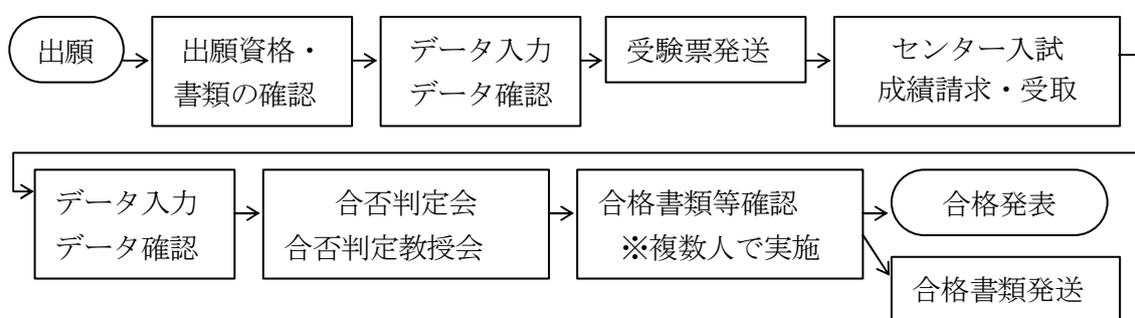
2. ②自己推薦型AO入試



3. ⑥一般入試（1期、2期、3期）



4. ⑦センター利用入試（A日程、B日程、C日程）



〈参考資料〉 V-1 平成21年度(2009年度)入学試験要項(入学願書を含む。)

(5) 合格者もしくは入学手続き者に対し、入学までの間、授業や学生生活についてどのような方法、手段で情報の提供を行っているかを記述して下さい。なおそのための印刷物等があれば参考資料としてご準備下さい。

合格者には入学までの間に必要な手続きや入学式の案内などを書類送付している。

推薦入試等で早い段階に入学が決定した受験生には、4月の入学時まで入学前準備教育を実施している。さらに合格者からの授業に関する問い合わせや相談についてはその都度、当該学科が口頭で回答したり、プリント等の課題をホームページにおいて提示している。

また、学生生活、学寮や下宿の案内等も口頭やプリント等で随時対応している。

〈参考資料〉 V-2-① 平成21年度入学手続きの手引き

V-2-② 平成21年度入学後の提出書類

V-2-③ アパート・学生マンション・学生会館等に関する案内

(6) 入学後（入学直前を含む）、入学者に対して行っている学業や学生生活のためのオリエンテーション等の概要を示して下さい。

入学後のオリエンテーションは3日間行われ、1日目は、新入生全体に対して、学生が接する部署より学生生活上での活用方法の説明を行っている。図書館から効果的な利用方

法、保健センターから学生相談室の利用方法、国際交流センターから海外研修の概要、進路支援センターから就職活動について説明している。その後、学科に分かれたガイダンスでは、教員の紹介、学科の特色やカリキュラムの概要、フレッシュマンセミナーについて説明を行い、さらにクラス単位に分かれ、クラス担任からクラスの活動について、また、個々の学生のオリエンテーション内容の理解度を確認しながら、補足説明を行っている。2日目は、学科ごとに教育・学生支援センターから、カリキュラムの説明、資格取得方法、Webによる履修方法の説明を行っている。3日目は、健康診断を行っている。

さらに、新入生行事として1泊2日のフレッシュマンセミナーを実施し、新入生相互の交流と、教員とのコミュニケーションの充実を図っている。セミナーの内容は、各学科で企画されるが、全体セミナー、講演会、クラスセミナー、学科の教育に役立つ見学や体験実習などのプログラムが実施される。学生の事後アンケートからは、「早い時期に友人ができて良かった」「先生や先輩と話しができた」「大学生としての意識が持てた」等の高い評価を得ている。

近年、短期大学の場合は入学の当該年から就職活動の開始となるため、自分の力で努力して進路決定ができるよう、入学式当日に、入学生と保護者を対象とした就職ガイダンスを実施し、就職活動について保護者にも理解・協力を得ている。

【学習支援について】

(1) 入学時もしくは学期ごとに行っている学習や科目選択のためのガイダンス等の概要を示して下さい。

上述オリエンテーション1・2日目に行われる各学科ガイダンスは、学科長が教育理念を踏まえた学科の教育目的、学習内容について説明を行う。特にフレッシュマンセミナーにおいては、学生便覧や時間割を使用した履修計画の立て方について指導を行い、クラス担任による学生個別の履修相談・指導の時間を設けている。

学科別では、保育科においては、学科長と教務委員が、各授業や各実習のオリエンテーションで、これから必要とされる学習スキル等の説明をし、学習支援を行っている。栄養科においては、フレッシュマンセミナーを、「資格取得への意欲を高め、新入生に対する学習の動機づけと学生生活の適切なスタート」として位置づけ実施している。服飾美術科においては、入学時にキャリアプランを配布し、将来の進路にあわせた科目履修について説明している。2年始めのクラス懇談会においては、全員3月卒業を目指した単位の履修について説明を行っている。

(2) 学習や科目選択のための印刷物（学生便覧等を除く）があれば参考資料としてご準備下さい。

〈参考資料〉 II-1 平成21年度 時間割表(再掲)

〈添付資料〉 7. ポータルの手引き&Web教務システムの手引き（学生編）(再掲)

(3) 基礎学力不足の学生に対し補習授業等の取組みを行っている場合は、その概要を記述して下さい。

基礎学力が不足している学生に対し特別な補習授業は設定していないが、科目ごとに求められる知識や技能に大きな問題がある場合は、個別に課題を与え、指導をするなどして対応している。また、成績が芳しくない学生については、再試験やレポート提出を指導している。授業担当者は、学生の学習状況を把握し、授業や個人面談で対応している。学生の学力の多様化が進む中、今後は能力別授業も視野に入れ、基礎学力の向上に向けた対応について検討することが課題である。

(4) 学生の学習上の問題、悩み等に対し指導助言のための取組みや体制があれば記述して下さい。通信教育学科を置く場合には、添削等による指導の学習支援、教育相談の体制及び運営状況を記述して下さい。

本学では、クラス担任制度を設けている。原則、入学から卒業まで同一のクラス担任により、学習上の問題、悩みなどに対し指導助言を行っている。クラス担任のみならず、科長や授業担当者も、オフィスアワーを設定し公開しており、学生の利用に供している。また、学生相談室においても、学習上の問題点について、教育・学生支援センターやクラス担任と連携をとりながら相談に応じている。学生相談室は心の悩みに限らず学生同士で問題解決が出来るようコミュニティ・ルームを開放しており、専門スタッフを常駐させている。このような、学習上の問題等の指導助言のシステムは、教職員と学生の信頼関係を築くために大切であり、効果を上げていると考える。

(5) 進度の早い学生や優秀学生に対する学習上の配慮や学習支援を行っていれば、記述して下さい。

優秀な学生、学習に対して意欲的な学生には、授業内で別の課題を与えている。また、授業外でも学習意欲を持たせるため、ボランティア活動や学外の講習会等の紹介をしている。今後も学生の個人差は大きくなることが考えられるため、進度の速い学生や優秀学生に対し、一層の配慮や支援が必要であり、その検討が今後の課題である。

【学生生活支援体制について】

(1) 学生生活を支援するための組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）の現状を示して下さい。

学生生活の様々な問題解決や学生生活を支援するための事務組織として、教育・学生支

援センターに学生支援課を組織している。また、教員組織として、教授会の諮問機関である学生委員会を設置している。さらにクラス担任制を実施し、教員によるきめ細かい指導をしている。教育・学生支援センター学生支援課においては、学生と教員、学生と学生委員会とのパイプ役となり指導・支援も行っている。本学では、学生が充実した学生生活を送れるよう学生相談室も設置し、問題が起きた時は速やかに対応するシステムができている。

(2) クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事（学園祭、短大祭等）の実施の状況を、その指導体制及び学生の活動状況を含めて記述して下さい。

1. サークル活動

サークルは、文化部、体育部、同好会に分かれており、平成 21 年度に活動しているサークルは 63 団体である。現在の社会情勢からくる経済的理由により、加入率は減少傾向にある。本学では学生側からサークル活動を自主的に行うことを目的として、サークル連合会が設立された。サークル連合会は、様々な場面で日常の成果を発表するなど活動が徐々に活発になりつつある。毎週木曜日の 3 時限目以降をサークル活動のための時間としているが、サークルによっては授業時間以外を活動に当てている。この他、新入生歓迎会、サークルガイドブックの作成や地域行事にも積極的に参加し、地域と大学との連携の一助となっている。活動が顕著なサークルには、公認サークル表彰制度により表彰を行っている。組織的な指導としては、サークル部長等を対象に「各サークルリーダーのリーダーシップ養成とサークル相互の連携を図りサークル活動を活発にする」ことを目的として、サークルリーダートレーニングを年 1 回実施している。これにはサークル顧問、サークル連合会指導者、学生委員会委員及び教育・学生支援センター学生支援課職員が参加し、それぞれに指導と助言を行っている。このトレーニングにより、リーダーとしての自覚を促し、習得した知識をサークル部員に伝えるなどの成果が表れている。今後は学生が自主的に活動を行えるような経済的支援を行い、サークル活動がより活発になることを期待したい。

2. 緑苑祭（学園祭）

緑苑祭は公募による緑苑祭実行委員会を中心に企画を取りまとめ、毎年 10 月下旬に実施している。公募により決められた統一テーマのもと、サークル、各学科、クラス等が日頃の活動を発表している。企画には「本部企画」「学科企画」及び「一般企画」があり、大学は学生・教職員全員が参加できる充実した緑苑祭を目指し、緑苑祭委員の募集、委員会の発足等の準備段階から、全日程終了まで一連の活動について、指導と助言を行っている。

3. クラス活動

各クラスにクラス委員をおき、クラス活動を奨励している。5 月にはクラス委員会を実施し、充実した学生生活を送れるようクラス担任との連携を図ることを周知している。クラス活動を行うための経費として、クラス活動費を支給している。クラス活動として、学園祭などの学校行事に積極的参加するよう指導している。

4. その他の行事

毎年 2 回の教養講座とテーブルマナー講座の各講座を実施している。テーブルマナー講座では、マナーを学びながら、学生・教職員のコミュニケーションを図る機会として学生

からは高い評価を得ている。

(3) 学生の休息のための施設・空間、保健室、食堂、売店の設置の概要について記述して下さい。なお訪問調査の際にご案内いただきます。

板橋キャンパスには大学・短期大学の教育施設のほか、中学・高等学校校舎や幼稚園園舎があるが、建物間の間隔は広く、建物周辺には可能な限りベンチスペースを設け、屋外の休息場所として確保している。

また、85周年記念館前庭と9号館前広場は、学園祭や避難訓練に利用できるスペースとして整備、多目的空間として利用している。建物内には可能な限りラウンジを設置しており、学生が利用している。

1. 学生の休息場所

キャンパスは自然環境に恵まれ保存樹木や低木も多く、教育と研究にふさわしい環境である。キャンパス屋外にはベンチを配し学生の休息や憩いの場としている。校舎の各階にも可能な限り、テーブル、イスを設置し、休憩時間に利用できるようにしている。場所によっては、LAN口を設け、パソコンの利用を可能としている。

2. 学生食堂

本学の学生食堂は業者に委託している。学生食堂は、学生・教職員の健康の維持・増進を図ることを目的として、栄養と衛生を充分考慮し、美味しい食事の提供に努めている。また、学生食堂内ラウンジでは学生・教職員の憩いの場として、軽食・ファーストフード形式のメニューを取り揃えている。また、卒業生が運営する喫茶コーナー「カフェ コクリコ」は、本格的なコーヒーと材料にこだわった手作りのお菓子が学生にも好評である。昼食時には、地域の業者の弁当販売もあり、学生に喜ばれている。

3. 売店

「ファミリーマート」が運営している売店を設置している。開店時間は午前8時から午後8時までとなっており、各学期はじめには教科書販売も行っている。コンビニエンスストアであるが、本部運営であり、品揃えや運営上の問題点など、総務課が中心になり、教育・学生支援センターと連携をとり、対応にあたっている。また、教職員で組織している食堂運営委員会でも対応について検討を行うなどの管理運営面に配慮している。その他に、卒業生が運営する「ショップ コクリコ」があり、文房具、白衣、雑貨などを扱っている。

4. 学生ホール

サークル合宿、学生の研究活動等支援のための宿泊施設である学生ホールロッキングエリアを設置している。管理は、教育・学生支援センター学生支援課が行っている。学生が宿泊できるよう、寝具・リネン・キッチン・食器・ランドリー・シャワールーム・ミーティングルーム・TV・ビデオ・冷蔵庫を設置している。特に、サークル合宿や服飾美術科のファッションショー学生の利用が多く、学内で宿泊を伴った合宿ができることは、学生間のコミュニケーションがより一層深まり、サークル活動の活性化にもつながっている。

5. 保健室

保健室には看護師が常駐し、病気やけがなどには的確な応急処置体制を整えている。また、日頃から学生の健康状態の把握に努める一方、4月の健康診断の結果に基づき学生への健康指導を行っている。さらに、管理栄養士による栄養相談も行っている。

6. 学生相談室

学生相談室には、面接室3室、コミュニティ・ルーム1室が用意され、カウンセラーが常駐し（専任の臨床心理士2名、嘱託の臨床心理士と精神保健福祉士が複数名）、学生・保護者の相談に応じており、学生生活上の悩みや不安について、学生が解決の糸口を見つめることができるようサポートしている。また、精神科医・婦人科医による定期相談日を設け、「身体の相談」「こころの相談」も実施している。

(4) 短期大学が設置する学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舎の斡旋の体制、通学のための便宜（通学バスの運行、駐輪場・駐車場の設置等）の概要を示して下さい。

大学敷地内に遠距離からの学生を対象とした188名収容の学生寮を設置している。学内設置による警備面の安心感や、寮費・食費等が比較的安価であるため入寮希望者が多く満室となっている。学寮規程を守り、集団生活によって自己の確立と正しい生活態度を身につけることができる。

また、大学に近い女子学生会館、学生専用マンションについて現地を確認した上で業者を選定し学生に紹介している。

大学内には5箇所の駐輪場を設置している。ただし、学生の車による通学は認めていないため学生のための駐車場はない。

〈参考資料〉V-2-③ アパート・学生マンション・学生会館等に関する案内

(5) 平成20年度の日本学生支援機構等の外部奨学金の取得状況を記述して下さい。また短期大学独自の奨学金等があればその概要を記述して下さい。

奨学金制度は、学業・人物ともに優秀でありながら、経済的理由により学費の支弁が困難と認められる学生を支援し、学生生活を継続させるために欠くことのできない重要な制度であると位置づけている。別表1に示すとおり、特に独立行政法人日本学生支援機構の奨学金[第一種及び第二種]は多くの学生が貸与を受けている。また、独立行政法人日本学生支援機構をはじめ地方自治団体、財団法人等の外部奨学金については奨学金専用の掲示板にて周知し、学生が採用の機会を失わないよう努めている。

本学では、別表2に示す本学独自の奨学金制度（渡辺学園関係奨学金）があり、より多くの学生に対応できるようになっている。

奨学金の募集は毎年4月に行われているが、この時期は年度始めであり、新入生にとって不慣れな中での手続きとなるため、締め切りに間に合わないことがないように、クラス担任との連携を深めて周知している。

また、平成9年度からは、卒業資格を得たにもかかわらず学費の納入ができないために除籍処分となる学生の救済を目的とした「渡辺学園貸与奨学金」が、平成10年度からは前記奨学金を在学時にも適用することとした「渡辺学園在学学生向け貸与奨学金」が設立さ

れている。さらに、平成12年度には、本学後援会の寄付金を原資とした「後援会奨学金」が「渡辺学園奨学金」の一種として設立された。

別表1 各種奨学金

平成20年9月1日現在

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	採用学生数(A)	在籍学生総数(B)	在学生数に対する比率 A/B*100	総額(C)	1件当たり支給額 C/A	備考
日本学生支援機構	学外	貸与	305	1,047	29.10	月額	第一種 自宅 53,000 自宅外 60,000 第二種 3万・5万・8万・10・12万より選択	

別表2 渡辺学園関係奨学金（平成20年度）

奨学金名称	対象	人数	支給・貸与額		開設年度
渡辺学園奨学金	大学・短大全年学	5名	支給	120,000	昭和57年
遠藤奨学金		2名	支給	120,000	昭和56年
鶴田奨学金		1名	支給	120,000	平成元年
緑恋会奨学金		3名	支給	80,000	昭和47年
相原奨学金		1名	支給	50,000	昭和46年
青木奨学金		1名	支給	50,000	昭和46年
木曾山奨学金		1名	支給	50,000	平成元年
石川梅子(むめ)奨学金	大学・短大全年学 (服飾美術学科・大学院各1名)	9名	支給	50,000	平成18年
後援会奨学金	各学年・科・留学生(大学・短大)成績優秀者 各1名	49名(8名)	支給	120,000	平成12年
中地・阿部奨学金	大学：児童学科3年 短大：保育科1年	4名(2名)	支給 (図書券)	25,000	平成11年
三木奨学金	留学生	5名	支給	50,000	平成6年
松井・ト部奨学金		1名	支給	50,000	平成7年
高橋奨学金	主として留学生	1名	支給	50,000	平成10年
後援会特別奨学金	保証人が死亡、または災害(火災・地震・風水害)に遭った学生	該当者	支給限度額	500,000	平成11年
後援会ドリームプラン奨学金	ユニークな計画の実現を支援するための奨学金	若干名	支給限度額	300,000	平成11年
渡辺学園貸与奨学金	短大2年	該当者	貸与	授業料未納相当額	平成9年
渡辺学園在学生向け貸与奨学金	短大1年	該当者	貸与極度額	500,000	平成10年

※人数欄の()内の人数は短期大学部の人数枠で内数である。

(6) 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制の概要を示して下さい。

保健センターに 保健室と学生相談室を設置している。

保健室では、専任看護師3名、嘱託看護師1名、事務職1名が勤務し対応している。定期健診を毎年4月に実施し、二次検診が必要とされる学生に対して、校医または他の医療機関を受診するよう指導している。また、健康診断結果報告書の個人配布時と二次検診対応時に、結果の説明や保健指導を実施している。さらに嘱託管理栄養士が月に3回栄養相談に応じている。

学生相談室では 常時カウンセラーが（専任・嘱託の臨床心理士・精神保健福祉士）、学生・教職員・保護者のメンタルケア／カウンセリングを行っている。また、嘱託の精神科医及び婦人科医による相談日も設けている。

(7) 学生支援のために学生個々の情報等を記録していれば、それらはどのように保管・保護されているかを記述して下さい。

教育・学生支援センターで保管・保護している学生個々の情報は、入学時に記入・提出させている「学籍カード」である。

「学籍カード」には学生本人の氏名、学歴、現住所の他、保証人(保護者)の氏名・住所・緊急連絡先等が記入されており、耐火書庫に厳重に保管している。

また、「学生カード」には、住所（周辺地図）、家族構成、趣味、性格自己評定などが記入され、クラス担任が研究室内の鍵付ロッカーまたは書庫に適切に保管・保護し、個々の学生に対する指導のため役立てている。

進路支援センターで扱っている学生個々の情報には入学後提出する「学生進路カード」があり、学生本人の氏名・現住所等のほか、家族状況、身体状況、卒業後の方針、個人面接の記録等が記入されており、鍵付ロッカーに厳重に保管・保護されている。

保健センターで扱っている学生個々の情報には、入学時に提出する「健康カード」がある。このカードには保健室の利用内容を記録し、クラス単位でケースに収納し保管している。卒業後は施錠できる書庫に5年間保管している。健康診断の内容は、コンピュータによりデータベース化している。そのデータは、FDまたはMOディスクに記録してディスク保管庫に施錠し、管理している。

学生相談室では、入学時に「カウンセリングカード」・「学生生活チェックリスト」を提出させ、個人情報データをデータ入力し管理している。これら個々の結果と面接記録とを合わせ、守秘義務を守るために専門スタッフによって管理し、施錠可能な保管庫で厳重に保管している。

〈参考資料〉 V-2-① 平成21年度入学手続の手引き（再掲）

V-2-② 平成21年度入学後の提出書類（再掲）

（学籍カード・学生カード・健康カード）

V-3 学生進路カード

V-4-① カウンセリングカード、V-4-② 学生生活チェックリスト

【進路支援について】

- (1) 下の進路状況表を例に、過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の就職状況を学科等ごとに記載して下さい。また進路一覧表等の印刷物があれば参考資料としてご準備下さい。

1. 本学の就職状況

平成18年度から平成20年度 保育科 進路状況表

(平成21年5月1日現在)

区分	18年度		19年度		20年度		
	人	%	人	%	人	%	
A 卒業者数	260		214		209		
B 就職希望者数	B/A	232	89.2%	194	90.7%	191	91.4%
C 就職決定者	C/B	223	96.1%	190	97.9%	189	99.0%
a うち学校で斡旋した就職者数	a/C	196	87.9%	162	85.3%	163	86.2%
b うち自己開拓分の就職者数	b/C	27	12.1%	28	14.7%	26	13.8%
D 就職未定者	D/B	9	3.9%	4	2.1%	2	1.0%
E 進学・留学者	E/A	16	6.2%	15	7.0%	12	5.7%
F その他	F/A	12	4.6%	5	2.3%	6	2.9%

平成18年度から平成20年度 栄養科 進路状況表

(平成21年5月1日現在)

区分	18年度		19年度		20年度		
	人	%	人	%	人	%	
A 卒業者数	176		178		181		
B 就職希望者数	B/A	128	72.7%	143	80.3%	145	80.1%
C 就職決定者	C/B	118	92.2%	140	97.9%	143	98.6%
a うち学校で斡旋した就職者数	a/C	111	94.1%	131	93.6%	132	92.3%
b うち自己開拓分の就職者数	b/C	7	5.9%	9	6.4%	11	7.7%
D 就職未定者	D/B	10	7.8%	3	2.1%	2	1.4%
E 進学・留学者	E/A	36	20.5%	29	16.3%	25	13.8%
F その他	F/A	12	6.8%	6	3.4%	11	6.1%

平成18年度から平成20年度 服飾美術科 進路状況表

(平成21年5月1日現在)

区分	18年度		19年度		20年度		
	人	%	人	%	人	%	
A 卒業者数	97		83		83		
B 就職希望者数	B/A	67	69.1%	51	61.4%	50	60.2%
C 就職決定者	C/B	51	76.1%	44	86.3%	44	88.0%
a うち学校で斡旋した就職者数	a/C	46	90.2%	44	100.0%	43	97.7%
b うち自己開拓分の就職者数	b/C	5	9.8%	0	0.0%	1	2.3%
D 就職未定者	D/B	16	23.9%	7	13.7%	6	12.0%
E 進学・留学者	E/A	21	21.6%	20	24.1%	17	20.5%
F その他	F/A	9	9.3%	12	14.5%	16	19.3%

(2) 学生の就職を支援する組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）の現状を記述して下さい。

1. 教職員の進路支援体制

本学の進路（就職・進学）支援は、短期大学・大学の合同組織である進路支援センターが行っている。在学生の進路だけでなく、当センターでは、高校生の入学前対応（進路相談・入試）から在学生の進路支援・卒業後の再就職対応・リカレント教育まで一人ひとりの生き方を一貫して対応する体制となっている。教員のセンター長が教授会及び各科長と連携をとりながら事務方の責任者が、職員（進路アドバイザー）や採用経験のある進路アドバイザー（企業人事部長、小学校長、保育園各担当者、現職栄養士）と共にきめ細やかな対応をしている。目標や夢を持って入学してきた学生が、充実した学生生活を過しながらその目的が叶えられるよう、多くのアドバイザーが各々の経験を基盤として就職ガイダンス、SPI対策講座や『この仕事に就くには講座』を担当している。さらに進路アドバイザーが学生の希望に応じて柔軟に個別対応できるようになっていることが大きな特色である。保育科、栄養科は実習指導及び実習が授業に組み込まれて、実習を通じて就業体験ができるので、就職試験対策に重点が置かれる。学外実習の少ない服飾美術科では、授業の中にキャリアデザイン科目が1年次の授業に組み込まれており、学生の就職意識形成をサポートしている。教員の中には資格取得＝就職ができるという考えの者が多少いるが、教員・職員・進路アドバイザーが連携して学生の目的を達成させたい。

2. 就職支援プログラム

本学の就職支援プログラムは学生の受講アンケート分析・就職決定状況や時流・社会の求めることを考慮しながら毎年見直しを行い、学生にとって望ましいプログラム作りができるよう努めている。

(3) 就職支援室、就職資料室等の現状を示し、学生にどのように就職情報等を提供しているかを記述して下さい。

1. 進路支援センター

・情報コーナー

進路支援センター内の進路情報コーナーに企業求人、専門職求人、公務員求人別に自由に閲覧できるようになっている。さらにセンター内に5台、自由に使用できるコンピュータ自習室に40台のパソコンが設置されている。パソコンの授業は、各科の共通科目の中にもパソコン応用として取り入れられており、近年のWebエントリーに対応できるよう指導体制がとられている。

・資料コーナー

会社四季報やWebエントリー資料、Uターン、Iターン情報就職関係雑誌・新聞などの就職に役立つ資料がいつでも自由に閲覧・コピーもできるようになっている。さらに

図書館にも就職関係雑誌や新聞が設置されている。

- ・OG情報

個人名を抜いたOGの就職活動報告記が10年分保存され、自由に閲覧・コピーができる。また、先輩訪問をしたい場合は、窓口申し出て情報を得ることができるようになっている。

2. 掲示板

- ・企業や地方自治体からの就職に関する告知印刷物やインターンシップ関係資料は、学生の目にふれやすい、建物外掲示板に掲示している。

(4) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の就職状況について、就職率及び就職先を学長等、学科長等はどのように受け止めているかを記述して下さい。

就職が厳しいと言われる中、本学の過去3ヶ年の就職状況は学科により多少ばらつきがあるものの、就職希望者の大半は卒業までに、卒業後の5月までにはほぼ全員が就職を決定している。しかし、経済状況の悪化に伴い今後は相当の困難が予想されるが、進路支援センターを中心として、就職委員会、各学科が連携し、全学的取組みを強化していく必要がある。

(5) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の進学（四年制大学、専門学校等）及び海外留学の実績について、その支援はどのような方法、体制で行ったかを記述して下さい。

本学では就職・進学を含む進路の説明を、保護者・新生が参加する入学式終了直後のガイダンスで行っている。ただし、本学に入学する学生は2年間で取得した資格や専門を生かして早く社会にでることを希望する者も多く、編入・専門学校への進学は、保育科で5%前後、栄養科で15%前後、服飾美術科で25%前後の実績である。特に編入では短大と同分野を持つ東京家政大学への編入を希望する者が大半であり、それらの学生に対応できるよう『併設短大推薦編入制度』を設け、優先的にさらに入学金も軽減して編入できるように配慮している。

他大学への編入や専門学校への進学は、送付されてくる募集要項等を学生が閲覧しやすいように公開し、相談にも対応している。

また、卒業後に海外留学を希望する学生に対しては、国際交流センターが相談に応じている。

〈参考資料〉 V-5-①～③ 卒業生進路状況（平成18年度～20年度）〈再掲〉

【多様な学生に対する支援について】

- (1) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生・科目等履修生の受け入れ状況を示し、その学習支援、生活支援はそれぞれどのような方法、体制で行っているかを記述して下さい。
 なお、学生数はいずれの年度も5月1日時点とします。

多様な学生の受け入れ状況（平成18年度～20年度）

平成21年5月1日現在

種別	18年度	19年度	20年度	計
留学生（人）	3	1	0	4
社会人（人）	5	8	9	22
帰国子女（人）	1	1	1	3
障害者（人）	1	2	0	3
長期履修学生（人）	—	—	—	—
科目等履修生（人）	11	3	3	17

1. 留学生の支援

入学後に留学生対象のオリエンテーションを実施し、履修方法、奨学金、学生生活上の諸注意等を詳しく説明している。日常的な留学生の生活上の悩みや相談には、各科のクラス担任や国際交流センター職員が常時懇切丁寧に対応している。

留学生向けの奨学制度として本学独自の渡辺学園関係奨学金（三木奨学金、松井・ト部奨学金、高橋奨学金）があり、4月に募集、その後選考の上奨学金を支給している。

独立行政法人日本学生支援機構の私費外国人留学生学習奨励費、民間財団の各種奨学金については、各留学生へ周知し採用の機会を失わないよう努めている。

2. 社会人学生の支援

社会人入学は、入学時に満26歳以上の者で、社会活動の経験を持つ勉学意欲の旺盛な女子に対して大学の門戸を開放することを目的として実施している。社会人学生の支援のための特別なシステムを有してはいないが、社会人だからということで特別扱いすることはなく、むしろ社会人経験を他の学生に伝えてもらえるよう、協力を願う形で、教員と社会人学生の交流を持つよう努めている。

3. 帰国子女の支援

現在は、特別な支援を要する学生の在籍はないが、支援が必要な学生が入学した場合は、それぞれの部署で適切に支援する。

4. 障害者の支援

ここ数年の間に建築した新築建物は基準等により、できるだけ障害者の利用に配慮して、エレベーターや自動扉・点字ブロック・身障者トイレ・廊下手摺りを設置したバリアフリー対応になっているが、昭和40～50年代建築された既存の建物7棟はエレベーターの設備がないため、早急に対策に取り組む必要がある。

5. 長期履修学生の支援

本学には長期履修学生の受け入れ制度は設けていない。

6. 科目等履修生の支援

科目等履修生規程を設けて学生の受け入れを行っている。科目等履修生証を交付し、本人からの請求があるときには単位認定証明書または科目等履修証明書を交付する。

資格取得を希望する場合には、事前に学生支援課、教員養成教育推進室及び各学科担当教員が個別に履修指導を行っている。

【特記事項について】

- (1) この《V学生支援》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば、学生の個人情報保護への取組み、成績不良者への支援、長期欠席者への援助、学生に対する表彰制度等、学生支援について努力していることがあれば記述して下さい。

学生の個人情報保護への取組みとしては、公共性を有する教育事業者として、個人情報の保護は重要な社会的責務であるとの認識から、「学校法人渡辺学園 個人情報の保護に関する規程」として学生等の個人情報の適正な取扱いを全学的に定めるとともに、「個人情報保護委員会」を全学的に組織し、個人情報の適正な運用等について協議・検討することとしている。

成績不良者への支援として、卒業学年の学生が前期終了時点で単位不足となった場合、個別に相談し、状況によって後期での特別履修を認め、卒業に必要な不足単位を修得するための再チャレンジ制度を設けている。

留学生の修学については、特に長期欠席者がでないよう、各学科に依頼して年4回の定期的な出席調査を行うとともに学習態度・成績にも注意を払い、各学科の国際交流委員やクラス担任及び国際交流センター職員が学習・生活上の相談に応じている。

学生に対する表彰制度としては、競技会、審査会等で優秀な成績を修め、または展示会、演奏会、ボランティア活動等で際立って活躍した個人及びサークル団体に対し、励みとなるよう表彰を行い、今後なお一層のサークル活動の活性化を図ることを目的とした「公認サークル表彰制度」を設けている。また、自己中心的な世相の中で他人に対する善行、たとえば救急救命やボランティア等の活動を行った者で、特に表彰に値すると認められた者に与えるものとして「渡辺学園 善行賞」を設けている。さらに、各学科・各学年の成績優秀者に対して、今後より一層の学業の励みとなるよう12万円の奨励金を支給する「渡辺学園 後援会奨学金」制度を設けている。

学生相談室では入学時に提出された「カウンセリングカード」「学生生活チェックリスト」に基づいて、サポートの必要性が高い学生をリストアップし、“学生相談室利用のお誘い”を個人宛に送付し、メンタルヘルスの予防的観点から学生支援活動を行っている。また、学生同士が交流できるグループワークや、学生生活に役立つセミナー等を企画している。

本学では、教職員、保護者、卒業生組織が中心となって学生の各出身地域に出向き、地域で活躍する有識者、卒業生、高校教員等を招き、学習支援や進路支援を行うことにより、地域でのUターン就職も応援する地区懇談会を平成15年度より実施してきた。平成19

年度に、この取組みを「出身地域へのアウトリーチによる自立支援－地方の時代を支える人材育成プラン」という名称で、文部科学省による「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に申請を行い採択された。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし。

〈添付資料〉 1. 短期大学案内

【入学に関する支援について】(1)

1. 大学で何を学び卒業後どう生きるか2010（再掲）

〈参考資料〉 2. 募集要項、入学願書等

【入学に関する支援について】(2)・(4)

V-1 平成21年度（2009年度）入学試験要項（入学願書を含む。）

3. 入学手続き者に対する入学までの情報提供のための印刷物等

【入学に関する支援について】(5)

V-2-① 平成21年度入学手続きの手引き

V-2-② 平成21年度入学後の提出書類

V-2-③ アパート・学生マンション・学生会館等に関する案内

4. 学習や科目選択のための印刷物

【学習支援について】(2)

V-3 平成21年度 時間割表

【添付資料2. ポータルの手引き&Web 教務システムの手引き(学生編)】

5. 学生支援のための学生の個人情報記録する様式

【学生生活支援体制について】(7)

V-2-① 平成21年度入学手続きの手引き（再掲）

V-2-② 平成21年度入学後の提出書類（再掲）

(学籍カード・学生カード・健康カード)

V-3 学生進路カード

V-4-① カウンセリングカード

V-4-② 学生生活チェックリスト

6. 進路一覧表等の実績（過去3ヶ年）についての印刷物

【進路支援】(1)

V-5-①～③ 卒業生進路状況（平成18年度～20年度）

《VI 研究》

【教員の研究活動全般について】

(1) 次の「専任教員の研究実績表」を例にして過去3ケ年（平成18年度～20年度）の専任教員の研究状況を記載し、その成果について記述して下さい。

平成18年度～20年度 専任教員の研究実績表

学科等名	氏名	職名	研究業績				国際的 活動の 有無	社会的 活動の 有無	備考
			著作数	論文数	学会等 発表数	その他			
保育科	大澤 力	教授	3	2	9	10	無	有	
	細田淳子	教授	2	2	4	14	有	有	
	本間真宏	教授	—	4	—	—	無	無	
	篠田左多江	教授	5	1	1	—	有	有	
	井戸裕子	准教授	—	—	6	7	無	有	
	是澤優子	准教授	1	4	—	2	無	無	
	坂入 明	准教授	—	—	2	—	無	無	
	鈴木裕子	准教授	3	3	1	—	無	有	
	高橋裕子	准教授	—	2	—	—	無	無	
	西海聡子	准教授	4	6	7	5	無	有	
	平澤尚孝	准教授	1	1	—	—	無	有	
	百瀬靖子	准教授	—	2	—	1	無	無	
	梅谷千代子	講師	—	—	—	6	無	有	
	尾崎 司	講師	—	2	4	3	無	有	
佐伯一弥	講師	4	2	—	4	無	有		
栄養科	舘野つや子	教授	—	4	—	—	無	無	
	青木幸子	教授	4	9	1	2	無	有	
	岡 純	教授	1	1	—	1	無	有	
	松本睦子	教授	—	—	—	—	無	有	
	宮尾茂雄	教授	5	4	3	18	有	有	
	出海みどり	准教授	—	—	—	—	無	有	
	土屋京子	准教授	—	—	4	—	無	無	
	林あつみ	准教授	—	3	3	—	無	無	
服飾美術科	塩入輝恵	助教	1	2	4	3	無	有	
	桃木美恵	教授	1	—	—	16	無	有	
	小林泰子	教授	—	3	5	3	無	有	
	石久保鈴子	准教授	—	—	—	3	無	有	
	雲田直子	准教授	—	—	—	—	無	無	
	田中早苗	講師	—	1	—	—	無	有	
知野恵子	講師	—	1	2	—	無	無		

授業担当、学生指導などの業務も多い中で、学会発表、論文投稿、著作など、研究活動も活発に行われている。一部、業績の少ない教員もいるが、学内での教員研究成果発表会も活発化しており、今後が期待される。

〈参考資料〉 III-1 教員の個人調書

〈①履歴書、②研究業績書、③担当授業科目名等、④その他〉（前掲）

(2) 教員個人の研究活動の状況を公開していれば、その取組みの概要を記述し、公開している印刷物等を訪問調査の際にご準備下さい。

併設大学と共同で毎年2冊発行する研究紀要、各教員の学会発表、論文、講演等の業績を記載した毎年刊行の学園年報、年度末に開催される教員研究成果発表会等に教員の研究活動が公開されている。〈参考資料〉 VI-1-①～③ 学園年報（平成17年度～19年度）

(3) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の科学研究費補助金の申請・採択等、外部からの研究資金の調達状況（件数）を一覧表にして下さい。

外部研究資金の申請・採択状況（平成18年度～20年度） (件数)

外部資金調達先等	18年度		19年度		20年度	
	申請	採択	申請	採択	申請	採択
科学研究費補助金	1	1	2	1	0	0

(4) 学科等ごとのグループ研究や共同研究、短期大学もしくは学科等の教育に係る研究の状況について記述して下さい。

各学科とも他大学または、本学教員と共同研究を行って、学会発表、学会誌等への投稿を行っている。組織的な学科等ごとのグループ研究や共同研究は行われていないが、大学の教員等を含めた共同研究は盛んに行われており、特に学内では経常費補助金特別補助を利用し、地域共同研究経費として補助を行うなど大学として研究活動を奨励している。

【研究のための条件について】

(1) 研究費（研究旅費を含む）についての支給規程等（年間の支出限度額等が記載されているもの）を整備していれば訪問調査時に拝見します。なお規程等を整備していない場合は、過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の決算書から研究に係る経費を項目（研究費、研究旅費、研究に係る施設、機器・備品等の整備費、研究に係る図書費等）ごとに抽出し一覧表にして参考資料として準備して下さい。

〈参考資料〉 VI-2 大学・短期大学部・研究所の教育・研究費の使途について
(規程集P. 117～130-4)

VI-3 学校法人渡辺学園国内出張旅費規程

VI-4 学校法人渡辺学園海外出張旅費規程(渡辺学園規程集P. 287～300)

(2) 教員の研究成果を発表する機会(学内発表、研究紀要・論文集の発行等)の確保について、その概要を説明して下さい。なお過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の研究紀要・論文集を訪問調査の際に拝見いたしますのでご準備下さい。

学内発表としては毎年3月初めに大学・短期大学共同で全学的な教員研究成果発表会と、学科による研究発表会が開催されている。全学で行われる教員研究成果発表会は学内で研究助成金を獲得した教員、研究活動奨励費を受けた助手、助教及び希望教員を発表対象者として行われる。学科ごとに行われる研究発表会は、特に若い教員の研究推進、新規採用教員、学位を取得した教員の研究内容の公開を目的に行われている。研究紀要、博物館紀要等が、年1回発行されており、教員の昇任審査の点数の対象ともなっており、積極的に投稿している教員もいる。

〈参考資料〉 VI-5-①～③ 東京家政大学研究紀要(第46集～48集、自然科学・人文社会科学)

(3) 教員の研究に係る機器、備品、図書等の整備状況について、平成20年度の決算よりその支出状況を記述して下さい。また訪問調査の際の校舎等案内時に教員の研究に係る機器、備品、図書等の状況を説明して下さい。

平成20年度の教育研究用機器備品の支出は以下の通りである。

教育研究用機器備品	16,868,287 円
図書	11,411,711 円
合計	28,279,998 円

(4) 教員の教員室、研究室または研修室、実験室等の状況を記述して下さい。なお訪問調査の際に研究室等をご案内願います。

教員1人に対して基本備品、研究用の機器、図書、学内用LAN等を整備した専用研究室と学生指導室が与えられている。また、実験・実習系の教員は実験実習室、実験実習準備室を所有している。

(5) 教員の研修日等、研究時間の確保の状況について記述して下さい。

各教員は週1日の研究日が定められており、その他の日は講義、演習、実験、実習の授業形態をとわず一律週6コマの授業を担当、学生指導、及び会議等の時間以外は基本的に

研究のための時間として確保されている。

【特記事項について】

(1) この《VI研究》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教員の研究について努力していることがあれば記述して下さい。

多くの教員が研究紀要への投稿、学会発表を行っている。その研究活動が活発化するような互恵的な関係作りに注意を払っている。

本学には、大学・短大等の教員が共同利用する生活科学研究所が設置されており、毎年3件の共同研究が採択され、活発な共同研究活動が進められている。研究成果は年度末に学内発表、および審査報文として投稿が義務づけられており、短期大学教員の研究の活性化にもつながっている。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点を求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし。

〈参考資料〉 1. 教員個人の研究業績書（過去3ヶ年）

【教員の研究活動全般について】(1)

Ⅲ-1 教員の個人調書（前掲）

（①履歴書、②研究業績書、③担当授業科目名等、④その他）

2. 教員の研究活動について公開している印刷物等（過去3ヶ年）

【教員の研究活動全般について】(2)

VI-1-①～③ 学園年報（平成17年度～19年度）

3. 研究費（研究旅費を含む）等の支給規程等

【研究のための条件について】(1)

VI-2 大学・短期大学部・研究所の教育・研究費の使途について

（規程集P. 117～130-4）

VI-3 学校法人渡辺学園国内出張旅費規程

VI-4 学校法人渡辺学園海外出張旅費規程

（渡辺学園規程集P. 287～P. 300）

4. 過去3ヶ年の研究紀要・論文集

【研究のための条件について】(2)

VI-5-①～③ 東京家政大学研究紀要

（第46集～48集、自然科学・人文社会科学）

《Ⅶ 社会的活動》

【社会的活動（国際的活動は別項で記述）への取組みについて】

(1) 社会的活動への取組みについて、その理念や方針等、教育・研究における位置づけについて、短期大学ではどのように考え、また今後どのように取り組む予定かを記述して下さい。

本学の社会的活動への取組みとしては、大学の知的資源を社会と地域へ還元する一環として、生涯学習センターによる各種公開講座の実施、大学創立120周年を機に地域と大学を結ぶ窓口として設置したヒューマンライフ支援センター(以下「ヒューリップ」という。)における様々な社会的活動を主な活動として挙げることもできる。

これらは、本学が長年にわたり培ってきた家政学等専門分野の知的資源を、地域社会に還元することを目的としたものであり、特に、ヒューリップは「地域のニーズに学生の学びで応える」をモットーとして、学生たちが授業だけでは得難い社会での実践教育の在り方を試行する場としても機能している。

ヒューリップが主催する後述の「すくすくサロン」や「食育事業」等の活動を通して、各学科の学びを横断的に捉え、学科の枠を超えて学生の意欲と実践が形となって展開できるよう支援している。

今後も、社会的活動については、学生の学びを活かしたより充実したプログラムを実施していきたい。

(2) 社会人受け入れの状況について、生涯学習の観点から短期大学では社会人の受け入れを今後どのように考えているかを記述して下さい。

本学の入学試験では社会入試を実施している。社会人の受け入れは社会的に重要な役割を果たしている。今後は、18歳人口が減少する傾向にあり、高齢化社会が進みつつある現状をふまえて、短期大学での社会人受け入れにより教育年齢層の幅を広げていくのも短期大学の存続を考えた一つと考える。

〈添付資料〉 9. 平成21年度社会人特別入学試験募集要項(1期)・(2期)

(3) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)に短期大学が行った地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等の実施状況を記述して下さい。

社会に向けた講座は、板橋区と共催の公開講座を年1回実施している。正規授業の開放は各学科とも内容が資格取得が中心であり、開放は難しい。

今後は、生涯学習センターで実施している各種公開講座を地域社会の意見等も取り入れ、地域社会に役立つ内容としていきたい。

(4) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の短期大学と地域社会（自治体、商工業、教育機関、その他団体等）との交流、連携等の活動について記述して下さい。

正課外活動の一環として公認サークルである児童文化研究会・児童音楽研究会・吹奏楽部・マンドリンクラブ・ハンドベル部・チアリーディング・軽音楽部等が、地域の病院・施設・保育園・幼稚園・町内会等の依頼に協力し、交流を図っている。また、学生赤十字奉仕団は赤十字献血活動のお手伝いや身体障害者との交流活動を行っている。

学内では環境サークル・ジアスがペットボトルキャップを回収、地域の福祉施設と連携し、再資源化費用を「世界の子どもにワクチンを日本委員会JVC」に寄付し、感謝状を授与された。また、NPO法人「緑のカーテン応援団」の指導のもと夏場に学生食堂の室温を下げる取組みを行っている。

その他、新校地は地域住民の緊急避難場所として使用できるように計画しており、今後さらに地域社会と連携が図れるものと期待される。

【学生の社会的活動について】

(1) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の学生による地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等社会的活動の状況を記述して下さい。

本学の学生の地域貢献の取組みは、授業内での活動やサークル活動、自主的なボランティア活動を通して行われている。特に保育科の学生は、卒業後に幼稚園や保育所に勤務する者が多く、具体的なビジョンを持っている。そこで限られた時間の中で、謝意的活動を行うことを奨励している。また、栄養科の学生は食育活動としてのメニュー開発や農林水産省主催のイベントへの参加など、人数的には少ないが学びの中でのかわり活動を行っている。

前述のとおり、大学としての様々な地域貢献の窓口である、ヒューマンライフ支援センター行事として、「地域の子育て支援活動」、学生企画である東武百貨店の「メニュー開発」地域連携事業としての各種イベント等への参加募集を行っている。

地域からのボランティア情報は掲示板に掲載または、メールで直接学生に配信している。このボランティアを行う場合は、ボランティア保険への加入を進めている。また、ボランティア手帳を配布し、活動に対する計画、実施、振り返りをするよう指導している。

これらの活動は教育・学生支援センター職員、授業担当者、ヒューマンライフ支援センター教職員ならびに運営委員会教員によりバックアップ体制がとられている。

(2) 短期大学では学生の地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等についてどのように考え、どのように評価しているか記述して下さい。

本学には、明確な目標を持って入学してくる学生が多い。「女性の自主自律」の建学の精神に則り、将来の職業を視野に入れながら、地域貢献活動やボランティアを活動に感心を

もって入学してくる学生もいる。学生個人の社会貢献活動については、入学直後から様々な方法で周知している。これまで継続してきた各科、各サークル等による活動実績を評価し、今後も継続させるとともに教職員が連携して学生の社会的貢献活動を支援していきたい。

【国際交流・協力への取組みについて】

(1) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の学生の海外教育機関等への派遣（留学〈長期・短期〉を含む）の状況を記述して下さい。

下表に示すとおり、平成18年度と19年度には国際交流センターが実施する海外研修プログラムの中の短期プログラム（2～6週間）に15～20名の短期大学の学生が参加している。

このほかに、中・長期語学研修プログラム(2～6ヶ月)があるが、短期大学の2年間という限られた在学期間のためか、これまでのところ参加希望者がいない。

研 修 名	年 度			備 考
	18年度	19年度	20年度	
箱根グリーンセミナー	2	5	0	8月（3泊4日）
マニトバ大学短期語学研修	3	3	中止	8月～9月（6週間）
チチェスター大学語学研修	1	1	0	8月（3週間）
ヨークカレッジ服飾美術&英語研修	3	2	1	8月（4週間）
韓国文化・美術研修	5	0	0	9月（8日間）
クイーンズランド大学幼児教育&英語研修	4	6	7	3月（2週間）
ワイカト大学語学研修	4	2	1	2月～3月（4週間）
クイーンズランド大学環境保全&英語研修	19年度 開 始	0	中止	3月（2週間）
シアトルパシフィック大学栄養&英語研修	19年度 開 始	2	3	2月（2週間）

〈参考資料〉 VII 海外研修募集要項

(2) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の短期大学と海外教育機関等との交流の状況を記述して下さい。

学生の派遣先の海外提携校とは、安全かつ教育効果の大きいプログラムにするため密接に連絡を取り合っている。具体的には、短期海外研修(夏期及び春期休暇中に実施)は参加人数も比較的多いため、各研修ごとに1～3名の引率教員が同行するが、引率者は現地において研修実施校の教職員と当該研修について密に連絡を取り合う。また、海外の研修実施校の大部分が毎年本学を訪問し、本学の国際交流センターの教職員達とより良い研修を目指して意見を交換している。

(3) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況を記述して下さい。

本学の教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況は下表のとおりである。半年または1年間の海外研修派遣(留学)の制度は整備されているが、過去3年間に留学の実績はない。海外派遣は学生の語学研修の引率、学術教育調査・研究のための海外派遣が主な目的であり、国際会議出席等の欄には、学会発表及び学会参加の件数を記入した。

教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況(平成18年度～20年度)

区分 / 年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
留 学	0	0	0
海 外 派 遣	10	7	6
国際会議出席等	6	1	2

【特記事項について】

(1) この《Ⅶ社会的活動》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば高大連携等の他の教育機関との連携、外国人への日本語教育等、社会的活動について努力していることがあれば記述して下さい。

本学では、学校法人が学生の社会的活動を支援する取組みの一環として、ボランティア活動、地域活動、地域貢献等の社会的活動に積極的に取組み顕著な功績を積んだ学生を表彰する「善行賞」の制度を設けており、学位授与式の中で理事長より表彰を行うこととしている。

また、ヒューマンライフ支援センターでは、「すくすくサロン」で企画した講座の情報を、附属幼稚園やナースリールームの保護者にも提供するなどして、子育て支援を軸とした他部署との連携を図っている。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特にない。

〈添付資料〉 1. 社会人受け入れについての印刷物等

【社会的活動（国際的活動は別項で記述）への取組みについて】 (2)

9. 平成21年度社会人特別入学試験募集要項（1期）・（2期）

〈参考資料〉 2. 海外留学希望者に向けた印刷物等

【国際交流・協力への取組みについて】 (1)

Ⅶ 海外研修募集要項

《Ⅷ 管理運営》

【法人組織の管理運営体制について】

(1) 短期大学を設置する法人のトップである理事長は、短期大学の運営に対して適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る重要事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで理事長はどのように関与しているかを、できれば理事長自身が率直に現状を記述して下さい。

学校法人渡辺学園の管理運営体制は、寄附行為に定めるとおり、理事が構成（第7条）され、理事会が設けられ（第10条）、その理事の互選により理事長が選出されている。

理事長はこの法人を代表（第9条）し、理事長を中心とした理事会のもと、各学校を設置し、事務組織を置き、管理運営する体制が整えられており、リーダーシップは適切に発揮されている。 〈添付資料〉10. 学校法人渡辺学園寄附行為(渡辺学園規程集P.5～12)

(2) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の理事会の開催状況（主な議案、理事の出席状況等を含む）を下表を例に開催日順に記述して下さい。加えて理事会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。平成21年5月1日現在の理事・監事・評議員名簿等を準備し、理事の構成に著しい偏りがないことをお示し下さい。また理事会議録は必要に応じて閲覧いたします。

1 理事会開催状況（平成18年度～20年度）

年	月	日	主な議案	出席者数	定数
18	4	25	・板橋キャンパス再開発計画に関する件 ・大学14・15号棟の建築計画に関する件	10	10
18	5	23	・平成17年度決算に関する件 ・平成17年度事業報告書に関する件 ・家政学部服飾美術学科及び短期大学部服飾美術科の収容定員変更に関する件	10	10
18	6	27	・平成19年度大学・短大の学費等に関する件 ・大学1号館前庭整備に関する件	10	10
18	7	25	・大学14・15号棟新築工事基本設計に関する件 ・平成18年度補正予算の編成に関する件	10	10
18	9	5	・平成14・15号棟新築工事請負業者決定に関する件 ・大学6号館耐震改修工事見積業者選定に関する件	10	10
18	9	26	・平成19年度学費等（附属学校）の改定に関する件 ・電子掲示板システム導入に関する件	10	10
18	10	24	・平成19年度当初予算編成方針に関する件 ・平成19年度短大保育科カリキュラム変更に関する件	10	10
18	11	28	・平成18年度補正予算に関する件 ・東京家政大学短期大学部学則一部変更に関する件	10	10

18	12	19	・教職専門職大学院等研究検討会設立に関する件 ・隣接国有地に係る未利用国有地等の取得要望に対する通知及び普通財産売払申請書提出に関する件	10	10
19	1	30	・助教・期限付助教・助手・期限付助手に係る規程等の改正に関する件 ・平成19年度渡辺学園奨学基金の支給額に関する件 ・大学・短期大学の改組転換に関する件	10	10
19	2	21	・普通財産売払申請書提出に関する件	10	10
19	2	27	・平成19年度課程費の徴収額等に関する件 ・平成19年度予算ヒアリング結果取りまとめに関する件	10	10
19	3	5	・隣接国有地購入に関する件	10	10
19	3	26	・隣接国有地購入に係る売払価格の入札結果及び国有財産売買契約書締結に関する件	10	10
19	3	27	・平成19年度事業計画に関する件 ・平成19年度予算に関する件 ・短期大学部学則の一部変更に関する件	10	10
19	4	24	・平成20年度入学検定料に関する件 ・第2号基本金組入れ計画の変更に関する件	10	10
19	5	22	・平成18年度事業報告に関する件 ・平成18年度決算に関する件	10	10
19	6	26	・国際コミュニケーション科の学生募集停止の届出に関する件 ・平成20年度大学・短大の学費等に関する件	10	10
19	7	24	・学長候補者推薦委員会の設置に関する件 ・平成19年度補正予算の編成に関する件	10	10
19	9	25	・学長候補者推薦委員会の委員の指名に関する件	10	10
19	10	23	・隣接地の基本計画書に関する件 ・平成20年度当初予算編成方針に関する件	10	10
19	11	26	・監事選任に関する件 ・平成19年度補正予算に関する件	10	10
19	11	27	・監事選任に関する件 ・平成19年度補正予算に関する件 ・隣接地建物建築計画に関する件	10	10
19	12	20	・学長候補者に関する件	10	10
19	12	20	・学長任命に関する件 ・学園食堂の業者選定に関する件 ・隣接地建築工事見積り業者選定に関する件	10	10
20	1	29	・平成19年度渡辺学園善行賞に関する件	10	10
20	2	26	・平成20年度教職等課程費の徴収額等に関する件 ・平成20年度予算ヒアリング結果取りまとめに関する件 ・平成20年度渡辺学園奨学基金の支給額に関する件	10	10
20	3	24	・平成20年度事業計画に関する件 ・平成20年度当初予算に関する件	10	10
20	3	25	・平成20年度事業計画に関する件 ・平成20年度当初予算に関する件 ・短期大学部学則の一部変更に関する件	10	10
20	4	22	・新校地整備計画工事請負金額に関する件 ・平成21年度入学検定料に関する件 ・平成21年度学科設置及び名称変更に関する件 ・平成21年度大学の収容定員増に関する件	9	10

20	5	27	・平成 21 年度入学検定料に関する件	9	10
20	5	27	・平成 19 年度事業報告書に関する件 ・平成 19 年度決算に関する件 ・寄附行為第 7 条第 1 項第 4 号に規定する理事の選任に関する件	9	10
20	6	3	・第 20 期理事会への引継ぎ事項に関する件	9	10
20	6	10	・寄附行為第 9 条第 3 号に規定する理事長職務代理者の指名に関する件 ・寄附行為第 15 条第 1 項第 3 号に規定する評議員の推薦に関する件 ・寄附行為第 8 条第 1 項に規定する監事の推薦に関する件 ・第 20 期理事会の運営等に関する件	10	10
20	6	24	・監事の選任に関する件 ・新校地の土壌汚染対策に関する件 ・平成 21 年度大学・短大の学費等に関する件	10	10
20	7	22	・平成 20 年度補正予算の編成に関する件	10	10
20	9	30	・新校地の土壌汚染に伴う費用に関する件 ・教員免許更新講習会実施組織に関する件 ・特任教授に関する規程改正に関する件	10	10
20	10	28	・平成 21 年度当初予算編成方針に関する件 ・大学・短大専任教員の定年制改正案に関する件	10	10
20	11	25	・平成 20 年度補正予算に関する件 ・改組転換に伴う寄附行為変更に関する件 ・教育・学生支援センター設置に関する件	10	10
20	12	16	・新校地土壌汚染対策工事に係る損害賠償請求について（報告）	10	10
21	1	27	・狭山校舎の平成 21 年度使用計画等に関する件 ・平成 20 年度善行賞に関する件	9	10
21	2	24	・平成 21 年度奨学基金の支給額に関する件 ・平成 21 年度教職等課程費の徴収額等に関する件	10	10
21	3	23	・平成 21 年度事業計画及び同当初予算に関する件 ・東京家政大学短期大学部学則変更に関する件 ・共同教職研究科設置に係る寄附行為変更に関する件	10	10

2 寄附行為上の規定

理事会は、毎月 1 回理事長が招集し、議長となって開催される。理事会は寄附行為第 10 条において、学校法人の業務を決し、理事の業務の執行を監督するほか、予算及び決算に関する事項等について掌理することと規定されている。

理事の定数は、同第 6 条で 10 人と規定しており、選任条項は同第 7 条で下記のとおり定めている。

1. 東京家政大学長及び東京家政大学附属女子高等学校長 2 人
2. 専任教職員の互選により選出された評議員のうちから互選された者 2 人
3. この法人の設置する学校を卒業し、年齢 25 年以上の者で渡辺学園緑窓会の推薦により選出された評議員のうちから投票により選任された者 2 人
4. 学識経験者のうちから理事会において選任された者 2 人
5. この法人に特に関係ある者のうちから理事の協議により選任された者 2 人

任期は、同第13条に、3年で、再任されることができると定められている。
 (参考資料) VIII-1 理事・監事・評議員名簿(平成21年5月1日現在)
 VIII-2 理事会議事録(平成20年度)

(3) 理事会の下に理事会の業務を一部委任する常任理事会、幹部会等を置いている場合は、その名称と根拠規程、理事会との関係、構成メンバー等を記述して下さい。

理事会の下に常務理事会を設け、運営している。

- 1 名称 常務理事会
- 2 根拠規定、理事会との関係 寄附行為第9条第4項及び第5項で規定
 - ①理事長はこの法人の事務を分掌させるために、理事会の同意を得て、理事のうち若干人を常務理事に委嘱することができる(第4項)。
 - ②常務理事は、理事長を補佐し、理事会の決議に従い業務を分担処理する(第5項)。
- 3 構成メンバー 理事長と常務理事6人で運営されており、総務部長、総務課長が庶務を担当している。

(4) 監事の業務についての寄附行為上の規定、平成20年度における監事の業務執行状況について、できれば監事自身が率直に現状を記述して下さい。

監事については、寄附行為第8条に基づき選任され、同第11条に基づく職務を行っている。そのため、理事会に出席し、意見陳述するほか、監事監査を行いその結果については、監事の監査報告書として理事会及び評議員会に報告のうえ、学園のホームページに掲載し、公開している。

(5) 平成20年度の評議員会の開催状況(主な議案、評議員の出席状況等を含む)を開催日順に記述し、評議員会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。

評議員会は寄附行為の規定に基づいて、毎年3月、5月及び11月に例会を開き、その他必要に応じて臨時会を開催している。また、評議員会は理事会の諮問機関として十分その機能を果たしている。

1 評議員会開催状況(平成20年度)

年	月	日	主な議案	出席者数	定数
20	5	27	・平成19年度事業報告書に関する件 ・平成19年度決算書に関する件	22	22人以上29人以内
20	6	23	・議長選出の件 ・監事選任に関する件	25	22人以上29人以内
20	11	25	・平成20年度補正予算に関する件 ・改組転換に伴う寄附行為変更に関する件	25	22人以上29人以内
21	3	23	・平成21年度事業計画に関する件 ・平成21年度当初予算に関する件 ・共同教職研究科設置に係る寄附行為変更に関する件	26	22人以上29人以内

2 寄附行為上の規定

評議員会は、理事長が評議員会議長と協議のうえ、例会として毎年3月、5月及び11月に招集し開催している。予算、借入金、重要な資産の処分に関する事項及び事業計画等については、同第29条で、理事長があらかじめ評議員会の意見を聞くことと定めている。評議員の定数は、同第14条で、評議員22人以上29人以内と規定している。

(6) 法人の管理運営について今後改善や変更をしたいと考えている事項があれば記述して下さい。また法人が抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。

1. 学園を取巻く状況は年々厳しくなっているが、“ピンチはチャンス”の言に抛り、128年の歴史と伝統をふまえて、一層社会的評価を高めるために、教職員、役員一体となって、前向きに教育研究活動を支える財政基盤の強化を目指し、全力をあげて取り組む方針
2. 狭山校地の再開発に向けての具体的施策の決定と実施
3. 板橋校地の大学、短大、附属学校の施設、設備の整備状況の見直し
4. 大学・短大教員の定年制の見直し及び給与等労働条件の見直し
5. 財政状況の悪化に対し、問題点の洗い出しなど収支構造の改善を目指す

【教授会等の運営体制について】

(1) 短期大学の教育・研究上のトップである学長は、短期大学の教育活動全般について適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る教育・研究上の事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで学長はどのように関与しているかを、できれば学長自身が率直に現状を記述して下さい。なお学長選考規程等があれば訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。

学長は原則として年2回以上(重要案件がある場合は、その都度)開催される全学教授会を招集し、議事の提案、審議及び採決について適切な役割を果たしている。全学教授会は全学(家政学部、人文学部、短期大学部)にわたる教育・研究及びそれらの組織・運営に関する意思決定機関である。また、学部長、各学科長、教育・学生支援センター所長、進路支援センター所長、図書館長等をメンバーとする協議会(または拡大協議会)を毎月開催し、家政学部、人文学部、大学院、短期大学部にわたる教育・研究を遂行するための連絡・調整を行い、教育・研究上の事務処理に関する事項について審議し、議長としてリーダーシップを発揮して運営している。

短期大学と大学は別組織であるが、本学では教育理念(建学の精神)及び生活信条を共有しているため学長は短期大学長と大学長を兼ねており、全学的にわたりリーダーシップを発揮しやすい体制となっている。短期大学の各学科の教育目標・人材養成の目的は明確に定められており、自律的に運営されているため、学長兼務による弊害はない。

また、学長として法人理事も兼ね、教学部門の長として法人経営に関わるとともに、より良い教育・研究環境の整備のために法人に財政的支援の要請を行うなどの役割を積極的に果たしている。

〈参考資料〉Ⅷ-3-① 学長選考規程、Ⅷ-3-② 学長選考規程実施細則(規程集P.31～34)

(2) 教授会についての学則上の規定(教授会で議すべき事項等を含む)、平成20年度における開催状況(主な議案、構成メンバー、出席状況等を含む)を年月日の順に記述して下さい。

なお、学則を添付して下さい。

教授会については、学則第67条に規定されており、これに基づいて、東京家政大学短期大学部教授会規程を制定している。

〈添付資料〉11. 東京家政大学短期大学部学則

- 第67条 本学に教授会をおく。教授会は学長、教授、准教授及び講師をもって組織する。
- 2 教授会は、別に定める教授会規程により教育及び研究に関する事項について審議決定する。
- 3 審議事項は、次のとおりである。
- 1) 教育・研究及びその施設・設備の計画及び運営に関する事項
 - 2) 教育課程及び授業科目の学年配当に関する事項
 - 3) 学生の入学、退学、転学、留学、休学及び卒業等に関する事項
 - 4) 学生の賞罰に関する事項
 - 5) 学習の評価及び課程修了の認定に関する事項
 - 6) 学生の学園生活に関する事項
 - 7) 教員の人事に関する事項
 - 8) 学長候補者の選考に関する事項
 - 9) 図書館長候補者の選考に関する事項
 - 10) 部長及び寮監長等の承認に関する事項
 - 11) 名誉教授推薦に関する事項
 - 12) 学則の適用及び改正に関する事項
 - 13) 学長から諮問された事項
 - 14) その他教授会が必要と認めた事項

教授会開催状況 (平成20年度)

年	月	日	主な議案		出席者数	定数
20	4	1	議案	議事録承認、学籍異動、学会等の会場借用	34	35
			報告	平成19年度年度末卒業判定、各種奨学金、平成20年度サークル一斉勧誘、サークル合宿・学外活動		
20	4	23	議案	議事録承認、教員人事、学籍異動、実習・学外授業実施計画、平成20年度 大学・短大栄養教諭教育実習計画、学会等の会場借用	32	35
			報告	平成20年度緑苑祭、平成20年度クラス委員交流会(狭山校舎)、平成20年度クラス委員一覧、平成20年度前期定期教室等借用、平成19年度後期成績訂正願及び成績評価及び成績評価問い合わせ、平成19年度公開講座受講生、地域連携協力推進センター運営委員等、人間文化研究所「学内プロジェクト研究」募集		

20	5	28	議案	議事録承認、教員人事、平成20年度室名変更、平成20年度 中学校・高等学校教育実習計画、学外授業、学会等の会場借用、授業科目に係わる履修の選択自由度	31	35
			報告	所属長不在時の職務代行、平成20年度正課外活動費、サークル合宿・学外活動等一覧、平成20年度前期定期体育館借用、サークル名変更、第1回テーブルマナー講座、実用英語検定試験実施、平成20年度短期外国人留学生支援制度(日本学生支援機構)候補者の推薦、平成20年度留学生交流行事(留学生友好会活動)、生活科学研究所コンクール、臨床相談センター紀要第九集原稿募集		
20	6	25	議案	議事録承認、学外授業	34	35
			報告	各種奨学金、平成20年度緑苑祭、平成20年度第1回教養講座、サークル合宿・学外活動等、学会等の会場借用、服飾美術科 第6回ファッションショー実施、平成20年度日本学生支援機構短期外国人留学生支援制度候補者推薦結果、平成20年度海外・国内研修参加者、平成20年度オーストラリア・クイーンズランド大学環境保全&英語研修及びカナダ・マニトバ大学短期語学研修の休止、2008 年度前期オープンカレッジ講座申込状況、夏期集中講座(医療事務講座)、板橋・狭山校舎喫煙場所		
20	8	4	議案	議事録承認、学外授業、学会等の会場借用	19	35
			報告	科長選考、フードスペシャリスト規定改正に伴う規程科目変更、フードスペシャリスト資格認定試験受験対策講座、各種奨学金、平成20年度第1回テーブルマナー講座の結果、サークル合宿・学外活動、公認サークルの同好会から部への昇格、学生アルバイト情報ネットワーク化、インターンシップ参加学生、平成20年度留学生歓迎バス旅行の実施、東京都教職員研修センター委託事業実施、学会等の会場借用		
20	9	10	議案	議事録承認、学籍異動、平成20年度科目等履修願出	30	35
			報告	平成21年度入学試験日程、H20オープンキャンパス参加状況		
20	9	24	議案	議事録承認、教員人事、学外授業、学会等の会場借用、平成21年度短大栄養・服飾(1期)合否判定、学籍異動、平成21年度服飾美術科カリキュラム改定、平成20年度介護等体験実施計画概要、平成20年度後期栄養士実習、学会等の会場借用	33	35
			報告	科長選考結果、平成21年度推薦入試・特別入試業務分担、平成20年度緑苑祭(板橋校舎)、サークル合宿・学外活動、平成20年度後期定期教室等借用、各種奨学金、2008年度後期オープンカレッジ講座開講、板橋区教育委員会共催大学公開講座開講、食リンピックの開催、臨床相談センター臨床心理教育研修会開催		
20	10	22	議案	議事録承認、教員人事、学籍異動、平成21 年度特別入試(編入・学士・帰国子女・社会人1期・短期大学士・留学生1期)合否判定、校外実習、学会等の会場借用、同好会設立願	31	35
			報告	フレッシュマンセミナー、平成20年度緑苑祭、サークル合宿・学外活動等、平成20年度第2回テーブルマナー講座、平成20年度第1回教養講座、各種奨学金、学会等の会場借用、生活科学をテーマとする研究・作品コンクール結果、人間文化研究所主催講演会、人間文化研究所公開講座		
20	11	5	議案	議事録承認、平成21年度推薦入試(附属・指定校1期・一般)合否判定	34	35
			報告	平成21年度入学試験業務分担一覧、平成21年度大学入試センター試験及びセンター試験準備日(1/16)・実施日(1/17・18)の入構		
20	11	26	議案	認、教員人事、平成21 年度在学生、新入生オリエンテーション等日程表、学外授業、学会等の会場借用	32	35
			報告	平成20年度第2回教養講座、平成20年度緑苑祭、サークル合宿・学外活動、平成20年度公認サークルの表彰、平成21年度学生定期健康診断実施、平成20年度国際交流センター主催留学生交流行事クリスマスパーティー実施		
20	12	4	議案	議事録承認、平成21年度指定校推薦2期短大服飾、AO入試短大服飾2期合否判定、役職者指名	30	35
			報告	学会等の会場借用、平成20年度善行賞		
20	12	17	議案	議事録承認、教員人事、学籍異動、「化学」学外見学、	32	35

20	12	17	報告	科長選考、サークル合宿・学外活動等一覧、平成20年度海外研修参加者決定、平成20年度オーストラリア・ニューキャッスル大学交換留学(派遣)の休止、2008年度後期オープンカレッジ講座開講状況、2009年度オープンカレッジ開講講座(案)について、生活科学研究所研究生募集について、生活科学研究所自主研究募集について、学会等の会場借用		
21	1	28	議案	議事録承認、一般入試1期地区合否判定、教員人事、『教職に関する科目』教育課程表、平成22年度保育科カリキュラム改定、平成20年度学位授与式及び平成21年度入学式、保育実習(校外)	27	35
			報告	平成21年度非常勤講師の所属名、科長選考結果、平成21年度東京都保育士実技試験、学会等の会場借用、サークル合宿・学外活動、平成20年度サークルリーダーズトレーニング実施、平成20年度第2回テーブルマナー講座、平成20年度公認サークルの表彰、各種奨学金、平20年度アメリカ・シアトルパシフィック大学栄養&英語研修の引率者決定		
21	2	6	議案	議事録承認、平成21年度一般入試2期、センター利用入試A日程、社会人・留学生2期合否判定、平成22年度入試に向けてのオープンキャンパス等日程	27	35
			報告	なし		
21	2	13	議案	議事録承認、平成21年度センター利用入試B日程合否判定	28	35
			報告	学会等の会場借用、就職状況と卒業学年の修学指導		
21	2	23	議案	議事録承認、平成21年度一般入試3期合否判定、教員人事、学籍異動、同好会設立願、	28	35
			報告	平成21年度クラス担任、平成20年度第2回教養講座実施報告、平成20年度卒業パーティー開催状況、サークル合宿・学外活動等一覧、平成20年度サークルリーダーズトレーニング実施報告、各種奨学金、同好会廃部願、平成21年度国際交流センター海外・国内研修プログラム		
21	3	9	議案	議事録承認、平成20年度卒業判定、学籍異動	30	35
			報告	平成20年度学位授与式		
21	3	13	議案	議事録承認、平成21年度推薦入試(附属2期)センター利用入試C日程合否判定	25	35
			報告	学会等の会場借用		
21	3	16	議案	議事録承認、教員人事、学籍異動平成21年度科目等履修生願出	27	35
			報告	平成21年度シラバスの公開、平成20年度教職課程及び各種資格取得状況一覧、サークル合宿・学外活動等一覧、各種奨学金、平成21年度イギリス・ブラッドフォードカレッジ春期研修の実施、日本生涯発達学会設立準備研究会開催に伴う会場借用とご案内		

(3) 学長もしくは、教授会の下に教育・研究上の各種の委員会等を設置している場合は、その名称と根拠規程、主な業務、構成メンバー、平成20年度の開催状況等を記述して下さい。

本学は教授会のもとに、教育業務を円滑に推進し、学生が円滑にして健全な学園生活を営むことができるように図り、学生の諸活動に係わる事項を企画・審議すること等を目的として各種委員会を設置している。各種委員会は、それぞれの根拠規程に基づき、原則として月1回定例の会議を開催している。また、委員会は併設の東京家政大学の各委員会と合同で開催されている。委員の任期は2年間とされており、委員会において審議・決定された事項は必要に応じて教授会の議題もしくは報告事項として提出され、2年の任期が満了する年度の最終教授会において2年間の活動報告を行っている。

教育・研究上の各種委員会

委員会名称	根拠規程	主な業務	構成メンバー(開催状況)
教務委員会	教務委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・単位の認定と判定に関すること ・卒業に際しての単位の認定と卒業判定に関すること ・資格課程の履修に関すること ・科目等履修生の授業科目履修に関すること ・教育課程の計画および実施に関すること ・学則に関すること 	<p>各科の互選による教員、教育・学生支援センター所長、教育・学生支援センター事務部長及び学生支援課長により構成。</p> <p>(定例委員会10回・分科会5回)</p>
学生委員会	学生委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・学生行事等これに類する学生に関わる事項 ・渡辺学園奨学金及び日本学生支援機構の奨学生の選考に関する事項 ・学生生活実態調査の企画と実施 ・その他学生生活に関する事項 	<p>各科の互選による教員、教育・学生支援センター所長、教育・学生支援センター事務部長及び学生支援課長により構成。</p> <p>(定例委員会11回)</p>
入学試験委員会	入学試験委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・各種入学試験に関すること ・学生の募集に関すること ・その他必要な事項等 	<p>各科の互選による教員、進路支援センター所長、進路支援センター事務部長及び進路支援センター事務長により構成。</p> <p>(定例委員会10回)</p>
入学試験合否判定会	入学試験合否判定会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・各種入学試験の合否判定に関すること ・その他必要な事項等 	<p>学長、各科長、入学試験委員長、各科の互選による教員及び進路支援センター所長により構成。</p> <p>平成20年度は9回開催された。</p>
研究紀要編集委員会	研究紀要編集委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・研究紀要の編集・刊行に関すること ・その他必要な事項等 	<p>各科の互選による教員及び図書館長により構成。</p> <p>委員会は必要に応じて開催され、平成20年度は2回開催された。</p>
就職委員会	就職委員会規程	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の進路、就職に関すること ・求人開拓に関すること ・その他就職に関すること 	<p>各科の互選による教員、進路支援センター所長、進路支援センター事務部長及び進路支援センター事務長により構成。委員会は必要に応じて開催され、平成20年度は3回開催された。</p>

なお、上記の表に示した各種委員会のほかに、図書館、保健センター、国際交流センター、生涯学習センター等附置機関にも運営委員会が設置されており、それぞれの機関の円滑な運営及び重要な事項の審議にあたっている。

- 〈参考資料〉 VIII-4-① 教務委員会規程(規程集P.95～98)
VIII-4-② 学生委員会規程(規程集P.99～100)
VIII-4-③ 入学試験委員会規程(規程集P.101～102)
VIII-4-④ 入学試験合否判定会規程(規程集P.103～104)
VIII-4-⑤ 研究紀要編集委員会規程(規程集P.105～106)
VIII-4-⑥ 就職委員会規程(規程集P.107～108)
VIII-4-⑦ 各種委員会活動報告(平成18・19年度)

(4) 短期大学の運営全般について抱えている問題あるいは課題について差し支えがない範囲で記述して下さい。

四大志向が高まり、短大への志願者が年々減少している中、本学園では計画的に短大全体の定員を併設大学へ振り替えるなど適正規模に調整して従来の半分の学生数となった。今後も社会の動きや受験生動向を分析しながら、本学として教育の質の維持と適正規模を確認しながら運営する必要があると考えている。

さらに、四大志向と言われているが経済的不況の影響もあり、本学への直接求人では短大への需要が多く見られる。このような中、2年間の完結教育として社会に送り出すためには、全教職員が学生育てへの意識を統一し、一丸となって①専門教育の充実、②基礎学力の補完、③人間力の育成に努める必要があると考えている。

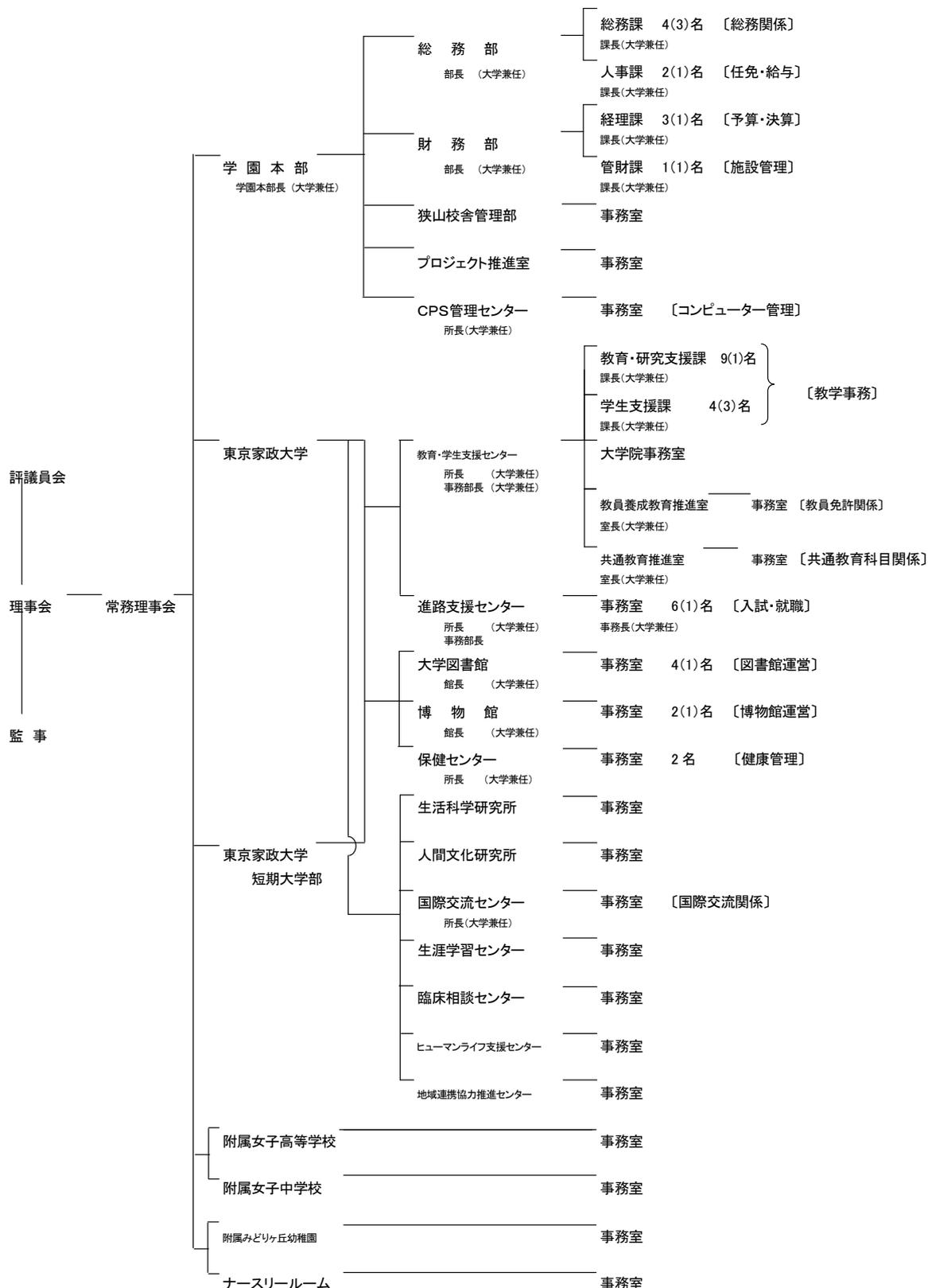
【事務組織について】

(1) 現在の法人全体の事務組織図を記載し、その中に短期大学の事務部門を記入して下さい。また組織図には短期大学の事務部門の役職名(課長、室長相当者以上。兼職の有無を含む)、各部門の人員(専任・兼任の別を含む)、各部門の主な業務を含めて記入して下さい。また事務組織が使用している部屋等は、機器・備品を含めて訪問調査の際にご案内いただきます。

法人の組織構成及び短期大学所属の職員数については、以下のとおりである。

事務組織図

平成21年5月1日現在



法人の事務組織のうち、短期大学・大学の事務組織については、それぞれに独立した事務部門をおくのではなく各部署が各学校の事務をまとめて担当している。上記組織図の職員数は各部署で短期大学部門に割り振りしている職員数であり、()内の人数は業務補助員の人数を記載した。

(2) 事務職員の任用（役職者の任免を含む）について現状を訪問調査時にご説明下さい。

事務職員の任用については、各部署からの要望と業務量・業務内容及び退職者の状況・学園事務組織全体の在り方等を総合的に勘案し、「教職員の採用に関する基準」による新規採用や定期的な所属変更、「役職者等選考委員会規程」に基づく役職者の適切な配置等を実施している。

(3) 事務組織について整備している諸規程名を列記して下さい。なお諸規程等は訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。

〈参考資料〉 VIII-5 学校法人渡辺学園事務組織規程(渡辺学園規程集 P. 121～136)

VIII-6 学校法人渡辺学園文書取扱規程(渡辺学園規程集 P. 163～170)

VIII-7 学校法人渡辺学園公印規程(渡辺学園規程集 P. 171～178)

これらの規程に基づき、各所属長の指揮監督のもと適切に業務を行っている。

(4) 決裁処理の概要と流れ、また公印や重要書類（学籍簿等）の管理、防災の状況、情報システムの安全対策等の現状を記述して下さい。

1. 決裁処理

「学校法人渡辺学園文書取扱規程」に従って、案件ごとに原議書を起案し、必要に応じて関係部署の合議を得て、常務理事及び理事長によって決裁処理が適性に行われている。また、重要案件については所属長等の判断により、常務理事会、評議員会・理事会等の上位議決機関において承認（決裁）されている。

2. 公印の管理

「学校法人渡辺学園公印規程」により定められた公印管理責任者が適切に管理している。

3. 重要書類の管理

学籍簿等重要度の高い書類は耐火倉庫に保管し、それ以外の書類は施錠された倉庫等に保管している。また、保管にあたっては、個人情報の保護に努めている。

4. 防災の状況

規程に定められた消防計画に基づき、予防管理のための組織として、各教室、実験・実習室、研究室、事務室等各部屋に防火管理者・火元責任者を選任し、火災予防及び地震時の出火防止を図っている。

また、夜間には警備員が施錠の点検及び火気使用場所の点検を実施し、予防管理に努めている。

5. 情報システムの安全対策

事務処理用コンピュータのデータは、10号館4階サーバ室にすべてのデータを一括保管して、毎日バックアップを取りデータを保管している。

不正アクセス対策としては、学園内LANと外部インターネットの間にファイアーウォールを設けて外部からの侵入を防いでいる。また、学内ではアクティブディレクトリーを導入し、ID・パスワードによる認証方式を行い不正アクセスを防いでいる。

情報システムのセキュリティでは、すべての事務職員用コンピュータにウイルス対策ソフトのSymantec AntiVirusを導入して、毎日サーバからウイルス定義ファイルを配布更新してウイルス防止対策を行っている。

(5) 事務職員は教員や学生から支持され信頼されているか、できれば事務組織の責任者(事務局長等)が現状を率直に記述して下さい。

各事務組織においては、可能な限り昼休憩の時間帯も当番職員を配置し対応している。特に、学生と深く関わりのある教学系の部署では、複数の当番職員を置き、学生がいつ窓口に来てもしっかり対応できる体制をとり、学生支援の充実に努めている。

本学が昭和46年以来5～6年ごとに実施して来た「学生意識生活調査」の平成16年度に実施した調査結果では、事務の窓口対応や学生サービスに対する評価は、5段階評価による学科別の平均値は2.8～3.1となっている。今後SD研修等を通して評価を高める努力をしていきたい。

(6) 事務組織のスタッフ・ディベロップメント(SD)活動(業務の見直しや事務処理の改善等、授業改善を支援する職員等の研修等、事務職員の能力開発、内部研修、外部への研修等)の現状を記述して下さい。

平成17年から学園に「事務改善等ワーキンググループ」を設け、各部署から1名ずつの委員を選出して事務改善に関する事項を調査・検討し、改善対策を実施している。

これまで文書のA判化、Webを利用した出退勤管理方法の改善、学内通知文書・資料・申請書等の大学・短大ホームページを利用したペーパーレス化などに取り組んできた。

内部研修としては、毎年夏期休業中に希望者を対象にWord・Excelを始めとしたパソコン研修を行っている。また、外部研修には、延べ223人(大学部門所属の職員等を含む。)の職員が参加している(平成19年度学園年報より)。

(7) 短期大学の事務組織が抱えている問題あるいは課題について差し支えがなければ記述して下さい。

特にない。

【人事管理について】

(1) 教職員の就業について、現在、短期大学が抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。なお教職員の就業についての規程(就業規則、給与規程等)を訪問調査の際にご準備下さい。

学園教職員の就業に関する諸規程(就業規則、育児休業・介護休業関係規程、給与規程、定年規程、退職金規程等)は「渡辺学園規程集」として加除式の冊子にまとめ、専任教職員全員に配付し、周知を図るとともに、変更・訂正があった場合は、追録を配付して、規程の内容が最新の状態を保つよう適正に処理している。

(参考資料) VIII-8 学校法人渡辺学園就業規則(渡辺学園規程集 P.201～213)

VIII-9 学校法人渡辺学園給与規程(渡辺学園規程集 P.251～264)

(2) 法人(理事長及び理事会等)と短期大学教職員の関係について、できれば理事長及び学長がそれぞれ記述して下さい。

理事長：法人と短期大学教職員との連携については、短期大学の重要事項は教授会にて審議された後、理事会にて審議・決議されており、理事会の決議事項等については月例の部課長等連絡会にて詳細な報告がなされている。

改組等の重要案件については、教授会において理事長が出席し、法人の考え方を説明するとともに教員の意見を直接聴取している。また、法人と教職員の意見交換の場として、年頭の「新年交歓会」をはじめとして、教員研究会及び終了後の懇親会等の場を設けて相互に意思疎通を図っている。教職員組合とも、おおむね良好な関係を維持している。

学長：法人との連携については、学長が理事を兼ねていることもあり、理事長や理事会の意向を逐次、全学教授会、協議会等において教員に報告しており、短期大学の運営に正確に反映されていると認識している。年に一度の教員研究会においては、事務職員も参加しており、活発に意見交換を実施している。以上のとおり法人と教職員の関係は良好であるが、今後とも法人、教員、職員が三位一体となり、本学の社会的使命と財政の健全性について推進させて行く必要があると考えている。

(3) 教員と事務職員との関係について、できれば学科長等及び事務局長がそれぞれ記述して下さい。

保育科は教員と事務職員の連携は、委員会を通してお互いに意見を出し合い、スムーズに流れている。特に教育・学生支援センターに学科担当の事務職員が配置され、書類の配布、提出をスムーズに行っている。教員も教育・研究のみならず、事務部署より周知される事項を参考に教育運営にあたっている。

栄養科には、教育・学生支援センター所属の事務職員が配置されており、教員と事務職員の連携は密に図られており、教員は教育・研究、学生指導に専念できる体制ができている。

る。

服飾美術科では、教員は学生の教育を職員はそれぞれの担当の仕事を別々に行っているのではなく、より良い学生の育成、大学の繁栄を目指して、両者が連携して仕事に励んでいると考えている。

総務部長：大学・短大の学科ごとに事務職員（教育・学生支援センター所属）を配置し、緊密に連携を図るとともに、大学・短大の協議会・全学教授会には、事務職を代表し、総務部長がオブザーバーとして参加している。また、教務委員会を始め、各種教学系委員会などの事務局には、当該事務部門があたり、資料作成・議事録作成・決定事項の実施運用等に当たっている。

(4) 教職員の健康管理、就業環境の改善、就業時間の順守等の現状を率直に記述して下さい。

全職員に定期健康診断（4月～9月）の通知文を配布。期限後には未受診者へ文書で受診の勧奨をしている。また、有機溶剤特殊健康診断、VDT健康診断を実施している。

35歳未満の教職員については、原則として学園負担で血液検査・尿検査等の定期健康診断を実施し、35歳以上の教職員については、日本私立学校振興・共済事業団の人間ドック利用費用補助事業に該当する人間ドックによる定期健康診断を受診するよう通知している。人間ドックの場合、自己負担相当額の一部を学園が補助しており、提携医療機関では自己負担なしで人間ドックを利用できるようにして、教職員の健康管理に配慮している。健康診断結果により、再検査、精密検査が必要な者に対しては、医療機関受診と結果の提出を求めて、教職員の健康状態の把握に努めている。情報機器操作担当者にはVDT検診を、一部有機溶剤を使用している研究室勤務者には有機溶剤検診を実施している。

さらに、健康衛生管理委員会を定期的に開催し、学内の禁煙・分煙対策、実験実習に使用する化学物質の管理状況、長時間労働対策等についても検討し、教職員の健康管理に注意を払うとともに、原則、月1回の産業医による職場巡視を行っている。

また、平成19年7月からはIDカードを利用してタイムレコーダーに記録された職員の出退勤データをWeb化し、勤務状況や出退勤関係の諸届を、管理職および教職員1人1人が自分自身で即時に把握できるシステムを導入することで、長時間労働による健康被害が起こらないよう、就業時間の遵守の徹底に努めている。

なお、教員の就業時間については、教育のみならず研究も行わなくてはならない職種の特殊性から、必ずしも就業規則に記載された就業時間には合致していない。

これについては、実態に合わせた就業規則の変更を含め、今後、検討すべき課題である。

【特記事項について】

(1) この《Ⅷ管理運営》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、管理運営について努力していることがあれば記述して下さい。

事務職員で月46時間以上の法定外超過勤務者については、過重労働による健康被害を未然に防ぐため、人事課長から保健センター所長に報告し、情報の共有を行っている。

特に、1ヶ月の法定外超過勤務時間の合計が100時間を超える者に対しては、保健センター所長が、その実情について相談し問題があれば人事課に報告している。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点を求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし。

- 〈添付資料〉 1. 寄附行為 【法人組織の管理運営体制について】 (1)～(5)
- 1 0. 学校法人渡辺学園寄附行為(渡辺学園規程集P. 5～12)
2. 学則 【教授会等の運営体制について】 (2)
- 1 1. 東京家政大学短期大学部学則(渡辺学園規程集P. 83～102)
- 〈参考資料〉 3. 現在の理事・監事・評議員名簿【法人組織の管理運営体制について】 (2)
- VIII-1 理事・監事・評議員名簿 (平成21年5月1日現在)
4. 平成20年度の理事会議事録【法人組織の管理運営体制について】 (2)
- VIII-2 理事会議事録 (平成20年度)
5. 学長選考規程 【教授会等の運営体制について】 (1)
- VIII-3-① 学長選考規程(規程集P. 31～32)
 - VIII-3-② 学長選考規程実施細則(規程集P. 33～34)
6. 委員会規程等 【教授会等の運営体制について】 (3)
- VIII-4-① 教務委員会規程(規程集P. 95～98)
 - VIII-4-② 学生委員会規程(規程集P. 99～100)
 - VIII-4-③ 入学試験委員会規程(規程集P. 101～102)
 - VIII-4-④ 入学試験合否判定会規程(規程集P. 103～104)
 - VIII-4-⑤ 研究紀要編集委員会規程(規程集P. 105～106)
 - VIII-4-⑥ 就職委員会規程(規程集P. 107～108)
 - VIII-4-⑦ 各種委員会活動報告 (平成18・19年度)
7. 事務組織についての諸規程 【事務組織】 (3)
- VIII-5 学校法人渡辺学園事務組織規程(渡辺学園規程集P. 121～136)
 - VIII-6 学校法人渡辺学園文書取扱規程
 - VIII-7 学校法人渡辺学園公印規程
8. 教職員の就業についての規程 【人事管理について】 (1)
- VIII-8 学校法人渡辺学園就業規則(渡辺学園規程集P. 201～213)
 - VIII-9 学校法人渡辺学園給与規程(渡辺学園規程集P. 251～264)

《Ⅸ 財務》

【財務運営について】

(1) 学校法人もしくは短期大学において「中・長期の財務計画」を策定している場合は、計画の名称、策定した経緯等を簡潔に記述して下さい。なお中・長期の財務計画は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

中・長期の財務計画は、現在作成されていない。

(2) 学校法人及び短期大学の毎年度の事業計画及び予算決定に至る過程、手続きを簡潔に記述して下さい。

理事会は10月に次年度の予算方針を決定し、11月に各予算部門（予算を編成及び執行をする部署）へ予算計画書（案）の作成を指示。各予算部門では事業計画を作成するとともに、教育研究経費・管理経費・施設関係・設備関係の各支出にかかわる予算計画書（案）をとりまとめ、予算部門の長及び担当理事の承認を受け財務部経理課へ提出する。短大の教育研究経費は教育・学生支援センターにおいて取りまとめ拡大協議会を経て経理課へ報告される。また、学納金収入は財務部経理課（以下経理課という。）、人件費は総務部人事課、学園全体の施設関係支出は財務部管財課で予算部門の長と担当理事のもとで事業計画及び予算計画書（案）が取りまとめられ、経理課へ提出される。

予算計画書（案）の提出を受け、経理課において査定と集計を行った後、全ての予算部門と各予算部門の担当理事（予算要求をする側）を交え、理事長・財務担当理事・常務理事のヒアリング（予算要求案についての内容聴取）による理事査定を行い、経理課で学校法人会計基準に準拠した当初予算原案を作成し、3月上旬の常務理事会の審議を経て、3月下旬の評議員会に諮問の後、理事会の承認を経て当初予算が決定する。

(3) 決定した予算の短期大学各部門への伝達方法、予算執行に係る経理、出納の業務の流れを必要な承認手続きを含めて簡潔に記述して下さい。なお経理規程等の財務諸規程について、整備している規程名を列記して下さい。財務諸規程は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

決定した当初予算は3月下旬に各予算部門へ通知する。また、短大教員の教育研究費については、4月上旬に各学科の科長をとおして予算の執行及び支払原議書（予算執行の際記入する稟議書）の記入の仕方についての注意を添えて通知する。

各予算部門では事業計画により業務遂行とともに発生する支払を当該予算部門の長の承認のもと支払原議書を、証憑書類を添付して起案し経理課へ回付する。また、短大の教員研究費、教育研究維持・充実費などの教育研究予算の執行は教員が「大学・短期大学部・研究所の教育・研究費の使途について」等の規程に則り行い、その支払は各教員が証憑書類を添付して支払原議書を起案し、所属する科長の承認を経て経理課へ回付される。短大

のその他の教育研究経費予算は教育・学生支援センターが管理し、規程に従って配分・執行される。各予算部門及び教員から回付された支払原議書は、決裁の後、財務部長の承認を経て支払が行われる。予算の執行状況管理の原則は各予算担当部門及び教員の責任となるが、その予算管理の補助として、毎月、経理課より各予算部門及び各教員宛に予算の執行状況表を配付・周知している。

予算編成時に部署別執行状況を一覧にするとともに、部署別の過去3年間の執行状況を表にして把握できるようにしている。

試算表は毎月作成し、金融資産の保有形態一覧である現金・預金一覧表とともに経理責任者をとおして理事長に報告している。

- 〈参考資料〉 IX-2-① 学校法人渡辺学園経理規程
 IX-2-② 学校法人渡辺学園預り金取扱規程
 IX-2-③ 学校法人渡辺学園手数料規程
 IX-2-④ 学校法人渡辺学園固定資産管理規程

(4) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の公認会計士監査状況の概要を開催日順に記述して下さい。公認会計士の監査と監事がどのように連携しているか、また公認会計士から指摘を受けた事項があれば、その対応について記述して下さい。

公認会計士による監査実施状況（平成18年度～20年度）

年	月	日	概要	備考
平成18年度				
平成 18	10	30～11/1	期間監査・監査対象期間 4月～9月・3日間	※
19	1	24～26	期間監査・監査対象期間 10月～12月・3日間	
19	2	26	狭山校舎小口現金、切手及び現物監査等	
19	4	4	平成18年度期末現金、預金監査・1日間	
19	4	23～26	期間監査・監査対象期間 1月～3月・4日間	
19	5	9	平成18年度決算監査・1日間	
平成19年度				
平成 19	10	29～31	期間監査・監査対象期間 4月～9月・3日間	※
20	1	28～30	期間監査・監査対象期間 10月～12月・3日間	
20	2	25	狭山校舎小口現金、切手及び現物監査等	
20	4	3	平成19年度期末現金、預金監査・1日間	
20	4	24～28	期間監査・監査対象期間 1月～3月・4日間	
20	5	8	平成19年度決算監査・1日間	

平成20年度					
平成	20	10	22～24	期間監査・監査対象期間4月～9月・3日間	※
	21	1	26～28	期間監査・監査対象期間10月～12月・3日間	
	21	2	27	狭山校舎小口現金、切手及び現物監査等	
	21	4	3	平成20年度期末現金、預金監査・1日間	
	21	4	24～28	期間監査・監査対象期間1月～3月・4日間	
	21	5	9	平成20年度決算監査・1日間	

※ =狭山校舎での実査で1日間実施。それ以外は板橋校舎で監査を実施。

なお、監査対象期間は重点的に監査をする期間を示したものである。

監査法人と監事の連携は、毎年決算監査の前後に意見交換の機会を設けるほか、必要により別に機会を設けている。これは監事監査の一環として定例化しており、期間監査の充実と監事機能の充実を目的としている。

授業料や貸与奨学金等の未収について徴収不能引当金規程を設けるよう指摘を受け検討している。

(5) 財務情報の公開は今までどのように行ってきたか、また私立学校法第47条第2項に基づき、財務情報の公開をどのように実施しているか。それぞれの概要を記述して下さい。

私立学校法の改正に伴い、利害関係者へ財務情報の公開が義務付けられたことに伴い、平成17年度に「学校法人渡辺学園財産目録等閲覧規程」が作成され、公開が義務付けられている財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監事監査報告書を所定の手続きを経て閲覧できるようにした。この制度については制度発足当初から学園ホームページに掲載し周知している。また、平成18年度から財務情報を学園ホームページに掲載している。

(6) 寄附行為に基づき、どのような基本方針で資金等の保有と運用を考えているか簡潔に記述して下さい。なお資金等の保有と運用に関する規程等が整備されていれば、訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

資産は定期預金・有価証券（国債・地方債・格付けの高い事業債）を中心に保有している。また、運用は財務部担当で元本の安全性を第一に運用商品を検討・選定し、財務担当理事及び理事長の決済により運用している。資産運用規程は現在ないが作成を検討している。

(7) 寄附金・学校債の募集を行っていればその概要を記述して下さい。なお寄附金・学校債の募集についての印刷物等を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

寄附金・学校債の募集は行っていない。

【財務体質の健全性と教育研究経費について】

(1) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の資金収支計算書・消費収支計算書の概要を、別紙様式1にしたがって作成し、添付して下さい。

〈添付資料〉 12. 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の収支計算書の概要(別紙様式1)

(2) 学校法人の貸借対照表の概要(平成21年3月31日現在)を、別紙様式2にしたがって作成し、添付して下さい。

〈添付資料〉 13. 平成20年度末の貸借対照表の概要

(3) 財産目録及び計算書類(資金収支計算書、資金収支内訳表・人件費支出内訳表・消費収支計算書・消費収支内訳表・貸借対照表・固定資産明細表・借入金明細表・基本金明細表)について、過去3ヶ年(平成18年度～20年度)分を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

〈参考資料〉 IX-1 財産目録及び計算書類(平成18年度～20年度)

(4) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の短期大学における教育研究経費比率(消費収支計算書の教育研究経費を帰属収入で除した比率)を、小数点以下第2位を四捨五入し第1位まで求め記述して下さい。

教育研究経費比率(平成18年度～20年度)

区分	18年度	19年度	20年度
教育研究経費支出 (a)	569,370 千円	489,326 千円	439,857千円
帰属収入 (b)	1,729,768 千円	1,685,146 千円	1,492,872千円
教育研究経費比率 (a)/(b)	32.9%	29.0%	29.5%

【施設設備の管理について】

- (1) 固定資産管理規程、図書管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、施設設備等の管理に関する諸規程を、財務諸規程を含めて一覧表として示して下さい。なお整備した諸規程を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

〈参考資料〉

区 分	規程等名称
(1) 財務規程	IX-2-① 学校法人渡辺学園 経理規程
(2) 固定資産管理規程	IX-2-④ 学校法人渡辺学園 固定資産管理規程
(3) 消耗品及び貯蔵品管理規程	同 上
(4) 図書館管理規程	IX-2-⑤ 東京家政大学・東京家政大学短期大学部図書館規程
(5) 施設設備等の管理に関する規程	IX-2-⑥ 学校法人渡辺学園 消防計画第2章予防管理対策（第9条～第17条）

- (2) 火災等の災害対策等、以下の危機管理対策について現状を簡潔に記述して下さい。
- ① 火災等の災害対策
 - ② 防犯対策
 - ③ 学生、教職員の避難訓練等の対策
 - ④ コンピュータのセキュリティ対策
 - ⑤ 省エネ及び地球環境保全対策
 - ⑥ その他

1. 火災等の災害対策

学園として、予防管理対策・自衛消防活動・震災対策、防災教育及び訓練等、その他の災害活動対策からなる消防計画を定め、防火管理者を中心として火災・震災その他の災害対策の業務を行っている。また、防火管理業務については、各所属長からなる防火管理委員会を年1回は開催し、対策等の検討を行っている。現在、教職員、学生向け災害時の危機管理マニュアルの作成を検討している。

2. 防犯対策

構内の警備を警備会社へ委託し、24時間体制で警備を行っている。正門と横門に守衛室を設置、警備員が常駐し、教職員や学生・生徒の入構と退構の管理を行い、来訪者には記帳と入構証の着用を義務づけている。

また、構内に7台の監視カメラを設置し、日中・夜間の定期巡回も行き、安全対策を図っている。

3. 学生、教職員の避難訓練等の対策

年1回は授業時間中に、学生・教職員が参加して、地震から火災発生を想定した避難訓練を実施している。訓練当日は、自衛消防隊各係を中心に避難誘導を行い、地元消防

署の協力を得て、消火器の使い方や AED の操作方法・応急救護の訓練も実施している。

4. コンピュータのセキュリティ対策

コンピュータシステムの円滑な管理・運営業務を担うための部署として、コンピュータシステム管理センター（以下「CPS管理センター」という。）を設置している。コンピュータのセキュリティ対策についても CPS 管理センターが中心となって対応しており、不正アクセス対策として、ファイアーウォールにより外部からの侵入を防いでいる。

5. 省エネ及び地球環境保全対策

「エネルギーの使用に関する法律（省エネ法）」に基づき、平成 18 年 7 月に第二種エネルギー管理指定工場の指定を受け、平成 19 年度より毎年、前年度エネルギー比 1%削減を目標とし、達成している。省エネ等については、エネルギー推進委員会を中心に、

6. その他（省エネ等の活動）

- (1) 照明・空調機・コンピュータ等のエネルギー使用機器のムダをなくすための広報誌及び掲示による活動。
- (2) 廃棄物の分別回収及び、備品・消耗品のリサイクルコーナー設置による廃棄物の削減。また、事務職員ワーキンググループによるペーパーレス化も行っている。
- (3) 緑の多いキャンパスを維持管理することで、CO₂ 削減に努めている。また、板橋区が推奨する緑のカーテンを、学生サークル活動により実施している。なお、学生サークル活動は学外の省エネ行事等に積極的に参加している。
- (4) 建物の建築及び改築時は、省エネに配慮した計画としている。また、設備・備品の新設・更新時は省エネ型の導入に努めている。

【特記事項について】

(1) この《IX財務》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、財務管理について努力していることがあれば記述して下さい。

特にない。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。
--

特にない。

〈添付資料〉 1. 資金収支計算書・消費収支計算書の概要（過去3ヶ年）

【財務体質の健全性と教育研究経費について】(1)

12. 過去3ヵ年(平成18年度～20年度)の収支計算書の概要(別紙様式1)

2. 貸借対照表の概要 【財務体質の健全性と教育研究経費について】(2)

13. 平成20年度末の貸借対照表の概要(別紙様式2)
- 〈参考資料〉 ※ 3. ～ 5. は該当する書類・規程がありません
6. 財産目録及び計算書類 (過去3ヶ年)
- 【財務体質の健全性と教育研究経費】 (3)
- IX-1 財産目録及び計算書類 (平成18年度～20年度)
7. 固定資産管理規程、図書管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、施設設備等の管理に関する諸規程、財務諸規程
- 【財務運営について】 (3)
- IX-2-① 学校法人渡辺学園 経理規程
- IX-2-② 学校法人渡辺学園預り金取扱規程
- IX-2-③ 学校法人渡辺学園手数料規程
- IX-2-④ 学校法人渡辺学園固定資産管理規程
- 【施設設備の管理について】 (1)
- IX-2-⑤ 東京家政大学・東京家政大学短期大学部図書館規程
・図書館規程に関する内規
- IX-2-⑥ 学校法人渡辺学園 消防計画 第2章予防管理対策(第9条～17条)

《X 改革・改善》

【自己点検・評価について】

(1) 短期大学では自己点検・評価を、短期大学の運営のなかでどのように位置づけているか、また自己点検・評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、自己点検・評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。

自己点検・評価は、本学の建学の精神及び設置の趣旨に則り、教育・研究機関として自らの社会的使命を達成しているかを検証及び担保する活動の機会と捉え、本学が将来にわたり教育研究機関として、維持・発展させ、大学の質の向上に役立てる上で、必要な活動である。

学則第1条の2の「教育研究水準の向上を図り、設置の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行う」に基づき、本学における、教育研究活動等について自ら点検・評価を行うため東京家政大学短期大学部自己評価実施委員会及び渡辺学園事務部門自己評価委員会を設置している。

今後は「東京家政大学短期大学部自己点検・評価実施委員会」を継続して組織し、「教育効果の達成」と「学生支援」を中心に建学の精神である「女性の自主自律」を達成すべく、毎年、自己点検・評価を実施し、改善・改革に真摯に取り組んでいく決意である。今回の自己点検・評価の効果が今後の礎となるよう臨んでいきたいと考える。

(2) 過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の自己点検・評価報告書の発行状況を記述して下さい。またその報告書の配付先の概要を記述して下さい。なお過去3ヶ年（平成18年度～20年度）にまとめられた自己点検・評価報告書を訪問調査の際にご準備下さい。

本学は短期大学設置基準が改正され、自己点検・評価の努力義務が規定された後、自己点検・評価を実施するための組織・規程等を策定し、自己点検・評価を行ってきた。

平成18年度には、総合教育開発センターを設置し、短期大学部として組織的に学生による授業アンケートを実施し、学生の実態を把握しニーズに応え、いかに教育水準を維持するかの検証を行った。

今後は「東京家政大学短期大学部自己評価実施委員会」を継続して組織し、「教育効果の達成」と「学生支援」を中心に建学の精神である「女性の自主自律」を達成すべく、毎年、自己点検・評価を実施し、改善・改革に真摯に取り組んでいく決意である。

〈参考資料〉 X 平成19年度自己評価委員会資料(抜粋)

【自己点検・評価の教職員の関与と活用について】

(1) 平成20年度までに行った自己点検・評価に関わった教職員の範囲を記述して下さい。また今後、どのような教職員の関わり方が望ましいと考えているかを記述して下さい。

これまでに実施した自己点検・評価の自己点検・評価委員会及び自己点検・評価実施委員会の構成メンバーは下記のとおりである。

平成21年度東京家政大学自己評価委員会委員等名簿

◎短期大学部自己評価実施委員会(6名)	
学長	木元 幸一
教育・学生支援センター所長	有田 政信
進路支援センター所長	中村 精二
保育科長	大澤 力
栄養科長	館野 つや子
服飾美術科長	桃木 美恵子

◎附属機関所属長等	
図書館長	山本 和人
博物館長	林 宏一
保健センター所長	市丸 雄平
国際交流センター所長	谷田 恵司
生涯学習センター所長	平澤 尚孝
ヒューマンライフ支援センター所長	木元 幸一
FD委員会委員長	高岸 徹
学園本部長・総務部長	佐野 清克
CPS管理センター所長	松木 孝幸
教育・学生支援センター事務部長	武政 明子
進路支援センター事務部長	岩井 絹江

自己点検・評価の事務は教育・学生支援センター教育・研究支援課が担当し、法人部門を含め教職員全員が関わっている。今後も自己点検・評価作業を通して蓄積されたノウハウを存分に活かし、今回同様短期大学部全ての教職員が相互理解のもと取り組むことが望ましいと考えている。

また、自己点検・評価にあたっては総合教育開発センター高等教育改善支援部門（平成21年度よりFD委員会として新たに発足した。）と密接な連携のもと、改革・改善にあたり、自己点検・評価結果を客観的に分析し、積極的な活用が不可欠であるとする。

(2) 平成20年度までに行った自己点検・評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。また今後、自己点検・評価の結果をどのように活用しようと考えているかについても記述して下さい。

これまでに実施した自己点検・評価結果については、課題を検討する各種委員会や学内研究会において検討を行ってきた。

今回の「自己点検・評価」は第三者評価を受ける。この評価結果については、結果を真摯に受け止め、教育水準の維持向上に努めるため、教員研究会などで活用し、必要事項については各種委員会で検討し、改善・改革を図ることとしたい。

【相互評価や外部評価について】

(1) 平成20年度までに行った相互評価及び外部評価の概要を示し、評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。

実績はない。

(2) 相互評価や外部評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、相互評価や外部評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。

相互評価及び外部評価を実施するための規程等の整備はできていない。

今後は、教育・研究活動の活性化及び教育水準の維持向上のためにも、同系短期大学との相互評価や外部評価員参加の外部評価が必要と思われる。早急に規程等の整備を含めこのことに積極的に取り組んでいきたい。

【第三者評価（認証評価）について】

(1) 第三者評価を実施するための学内組織の概要を記述して下さい。

本学では自己点検評価実施委員構成メンバーに加え、附置機関の所属長及び事務関連部署の部・課長等を含めた第三者評価委員会(名称は自己点検評価実施委員会)を設置した。学長が責任者となり、学長が推薦したALOを中心に第三者評価に関する任務にあたっている。

(2) 第三者評価にあたって短期大学の決意を述べて下さい。理事長、学長、各部門の長及びALO（第三者評価連絡調整責任者）がそれぞれ記述されても結構です。

本学は、明治14年に和洋裁縫伝習所として創立されて以来、「女性の自主自律」を建学の精神として、女子教育を推進してきた。昭和25年に新制の東京家政大学短期大学部として発足してからは、家政系の短期大学として、伝統を活かしながら、時代の要請に応えるべく、改革を繰り返しながら、優れた人材を育成し、数多くの卒業生を社会に送り出してきた。しかしながら、18歳人口の減少による受験生の四大志向のあおりを受け、定員確保が難しくなりつつある。この厳しい現状をふまえて、短期大学で細く長く学生の教育を継続していくために、短期大学における教育や研究の在り方を検討していくことが必要である。今回の第三者評価にあたり、評価結果を真摯に受け止め、短期大学として必要とされる、教育内容、研究、経営、教育環境等の改革・改善を行い、人材育成を行う教育機関として、社会的な要請に応えていきたい。

【特記事項について】

(1) この《X改革・改善》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば評価に関する教職員への研修の実施等、当該短期大学が改革・改善について努力していることがあれば記述して下さい。

毎年、9月半ばに教員研究会を開き、長期的な展望に立ち、教育改善等に関し、学外からの講師も交え、講演会、パネルディスカッション、グループ討論等を行っている。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特にない。

〈参考資料〉 1. 過去3ヶ年にまとめられた自己点検・評価報告書

【自己点検・評価について】(2)

X 平成19年度自己評価委員会資料（抜粋）

2. 相互評価、外部評価の実施についての規程等 ※未整備
3. 第三者評価の実施についての規程等 ※未整備

《将来計画の策定》

この「将来計画の策定」は自由記述です。したがって、必ずしも記述する必要はありません。しかし短期大学の現在を理解するためには、将来どのような方向に向かおうとしているのかを知ることも重要です。その意味で、短期大学の将来計画（中期・長期計画）がありましたら、差し支えのない範囲で記述して下さい。

東京家政大学短期大学部は、明治14年に創立された和洋裁縫伝習所を基盤とし、「女性の自主自律」を建学の精神として、また「愛情、勤勉、聡明」を生活信条として、優れた人材を育成し、数多くの卒業生を社会に送り出してきた。128年の伝統を活かし、かつ、時代の流れも読みながら、改革・改善を繰り返し、社会の要請に応えた人材の育成を行ってきた。そのため、保育士、栄養士、衣料管理士の資格を持った多くの卒業生が、教育界、産業界で活躍している。これらの卒業生に続く学生をこれからも育て、世に送り出していくことが、本学の使命と考える。短期大学が多くを学生を集めて潤っていた時代とは変わり、18歳人口の減少により、定員確保も難しい時代となり、定員削減も行ってきた。これにより、定員に見合う規模の教育環境で、きめ細やかな少人数教育ができるようになり、さまざまな目的を持って入学してきた学生に対し、希望に即した教育が可能になったと考える。今後、全学的に、少人数教育の徹底、教員の質の向上を目指し、学生と教員の意思疎通のある教育を目指していきたいと考える。さらに、今後、次のような改革を考えている。

短期大学に入学してくる学生の中には、用意可能な学費上の問題と、早く社会で働きたいということや、四年制大学の入試に失敗した場合などの理由を持つものがある。このうちの多くが、教育費の問題で入学してくる。しかし、最近、短期大学で興味を覚えた分野の専門学校に入学する学生が増えている。そこで、短期大学2年間の教育では、社会にでて専門家として活躍するには足りない技能や知識を習得できるリカレント教育や内部進学入門の門戸を広げる等の可能性を検討してみたい。

18歳人口の減少に対し、高齢化が加速している。この社会状況に合わせて、各大学が生涯学習センターを併設し、多彩な科目を用意している。本学は、生涯学習にも力を入れる。さらに、地域交流に積極的なヒューマンライフ支援センターも設置している。子どもから高齢者まで、気兼ねなく若い学生と一緒に学べるような教育環境を作り、子どもと高齢者を含めた地域交流を広げていきたい。